

令和4年度

岩手県農業研究センター 年報



令和5年10月



# 目 次

## I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 5
(3) 企画運営会議	I - 5
(4) 運営会議、室長会議	I - 6
(5) 委員会等の運営	I - 7
ア 公開行事企画運営委員会	
イ 飼料生産委員会	
(6) その他会議	I - 7
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 県内で開催された関係学会	

## II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
3 研究室・課の動き	II - 4
(1) 企画管理部	II - 4
(2) 生産基盤研究部	II - 5
(3) 園芸技術研究部	II - 6
(4) 生産環境研究部	II - 8
(5) 病害虫防除部	II - 9
(6) 畜産研究所	II - 10
(7) 県北農業研究所	II - 12
4 令和4年度試験研究課題	II - 14
(1) 細目課題分類	II - 14
(2) 試験研究課題一覧	II - 15
(3) 令和5年度からの試験研究を要望された課題とその措置一覧	II - 21

<b>5 共同研究等の推進</b>	II- 23
(1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II- 22
(2) イノベーション創出強化研究推進事業	II- 22
(3) 公設試等連携可能性調査	II- 23
(4) その他独法等からの委託	II- 23
(5) 民間委託試験	II- 24
(6) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II- 25
(7) 他の公設試との共同研究	II- 25
(8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)	II- 25
(9) その他共同研究	II- 26
(10) 産学官連携	II- 26
<b>6 現地試験の実施</b>	II- 27
<b>III 試験研究の成果</b>	
<b>1 試験研究成果</b>	III- 1
(1) 令和4年度成果数	III- 1
(2) 令和4年度成果名一覧	III- 2
<b>2 追跡評価</b>	III- 6
<b>3 東北農業研究成果</b>	III- 8
(1) 研究成果数	III- 8
(2) 研究成果名	III- 8
<b>IV 試験研究成果の発表</b>	
<b>1 試験成績書等刊行物</b>	IV- 1
<b>2 研究レポート</b>	IV- 2
<b>3 学会等研究報告</b>	IV- 4
(1) 学術論文	IV- 4
(2) 学会発表	IV- 5
<b>4 雑誌等掲載</b>	IV- 8
(1) 専門雑誌等	IV- 8
(2) 岩手の畜産	IV- 8
(3) その他の雑誌等	IV- 8
<b>5 新聞等掲載</b>	IV- 10
<b>6 テレビ・ラジオ放送</b>	IV- 12
(1) テレビ	IV- 12
(2) ラジオ	IV- 12
<b>7 指導資料等掲載</b>	IV- 13
<b>8 ホームページ</b>	IV- 15
<b>9 SNS</b>	IV- 15
(1) Twitter	IV- 15
(2) Facebook	IV- 15
<b>10 研究室だより</b>	IV- 16
(1) らぼ・れたあ	IV- 16
(2) ふおとらぼ	IV- 17

## V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応	V-	1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V-	7
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V-	14
4 春季一般公開及び一般公開デー	V-	14
5 技術セミナー等の開催	V-	14
6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者	V-	14
7 研修生の受け入れ	V-	15
(1) 海外研修	V-	15
(2) 短期研修生	V-	15
(3) 視察・体験学習の受け入れ	V-	15
ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの		
イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの		
ウ その他の視察・研修等に対応したもの		
8 協議会、委員会等委員	V-	18

## VI 職員研修

1 大学院派遣	VI-	1
2 海外派遣・研修	VI-	1
3 国内研修への派遣	VI-	1
(1) 依頼研究員	VI-	1
(2) 農林水産関係研究リーダー研修	VI-	1
(3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI-	1
(4) 農林水産関係研究者研修	VI-	1
(5) その他	VI-	2
4 所内研修等	VI-	5
5 所内セミナー等	VI-	6

## VII 試験研究以外の業務概要

1 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原原種の生産	VII-	1
2 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原種の生産	VII-	1
3 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子・種苗の配布	VII-	2
4 県有種雄牛の精液の供給	VII-	3
(1) 黒毛和種	VII-	3
(2) 日本短角種	VII-	3
5 種豚、種鶏等の配布	VII-	4
(1) 豚の配布	VII-	4
(2) 種鶏等の配布	VII-	4
6 寄託放牧	VII-	4
(1) 牛	VII-	4
(2) 馬	VII-	4

VIII	予算及び財産		
1	岩手県農業研究センター予算	.....	VIII- 1
2	建物、用地の面積及び飼養家畜数	.....	VIII- 2
	(1) 建物・用地の面積	.....	VIII- 2
	(2) 飼養家畜頭数	.....	VIII- 2
IX	沿革	.....	IX- 1

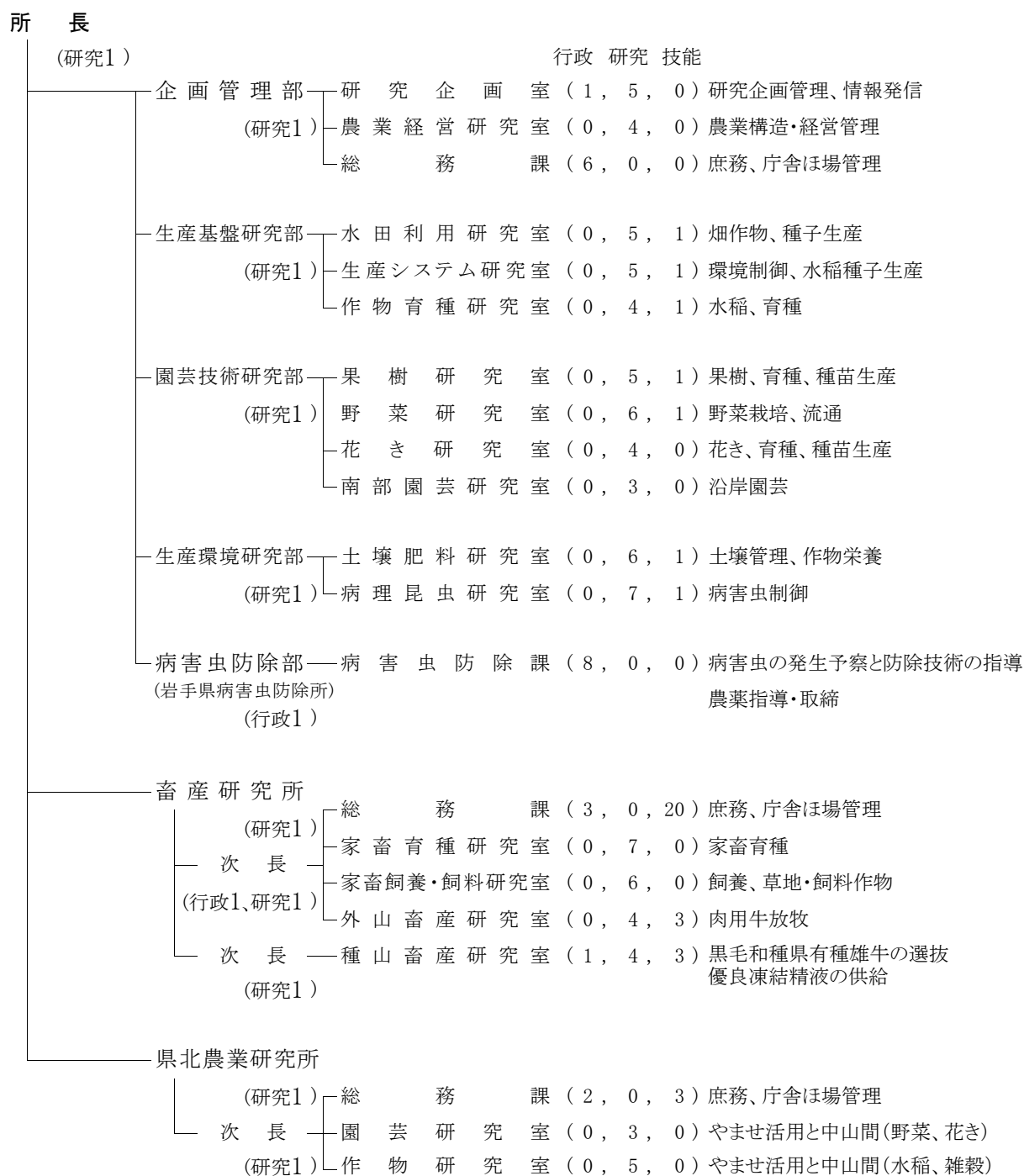
# I 農業研究センターの概要





# I 農業研究センターの概要

## 1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢市)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	16	0	4	0	1	2	23
研究	56	3	15	4	5	10	93
技能	7	0	20	3	3	3	36
合計	79	3	39	7	9	15	152

## 2 会議、委員会、部会等の運営

### (1) 農業試験研究推進会議等の開催

#### ア 新規試験研究課題の評価と選定

##### (ア) 第1回内部検討会議

###### a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R4.8.3(水)	R4.8.5(金)	R4.8.4(木)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	-	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	-
	農業大学校	-	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

###### b 協議事項

- (a) 令和5年度からの試験研究を要望された課題とその措置案について
- (b) 令和5年度新規試験研究課題案について

##### (イ) 第1回外部検討会議

- a コロナウイルス感染症対策のため試験研究アドバイザーへの書面による意見照会
- b 協議事項等
  - (a) 令和5年度新規試験研究課題案について

##### (ウ) 第1回評価調整会議

- a 開催日 令和4年9月27日(火)
- b 協議事項等
  - (a) 令和5年度からの試験研究を要望された課題とその措置案について
  - (b) 新規試験研究課題案について
- c 参集範囲  
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

## イ 試験研究成果の採択

### (ア) 第2回内部検討会議

#### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R4.12.6(火)	野菜: R4.12.12(月) 花き、果樹: R4.12.13(火)	R4.12.8(木)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○

###### b 協議事項

- (a) 令和4年度試験研究成果案について
- (b) 令和5年度試験研究課題案について

**(イ)第2回外部検討会議**

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R5.1.12(木)	野菜: R5.1.11(水) 花き、果樹: R5.1.16(月)	R5.1.13(金)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	—	○
	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	○	○	-
	(一社)岩手県植物防疫協会	○	○	-
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	-
	(公社)岩手県農業公社	-	-	○

b 協議事項

- (a) 令和4年度試験研究成果案について
- (b) 令和5年度試験研究課題案について

**(ウ)第2回評価調整会議**

a 開催日 令和5年1月31日(火)

b 協議事項

- (a) 令和4年度試験研究成果案について
- (b) 令和5年度試験研究課題案について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

**ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価**

**(ア)第3回内部検討会議**

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		R5.3.1(水)	R5.3.7(火)	R5.3.3(金)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	-	-	-
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 令和5年度試験研究課題(新規、変更課題)について
- (b) 病虫害防除技術情報について

**(イ)第3回評価調整会議**

a 開催日 令和5年3月14日(火)

b 協議事項

- (a) 令和5年度新規課題の事前評価について
- (b) 令和5年度継続課題の年度評価について
- (c) 令和4年度に実施する終了課題の事後評価について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長

## エ 岩手県農業技術開発会議

### (ア)第1回

- a 開催日 令和5年2月1日(水) 13:30～
- b 協議事項  
(a) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
- c 報告事項  
(a) 農業研究センターにおける試験研究成果について  
(b) 農業研究センターにおける新規課題の選定について  
(c) 生物工学研究センターにおける技術開発について  
(d) その他
- c 参集範囲  
(公財)岩手生物工学研究センター  
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校  
農業研究センター所長、各部長、各研究所長

### オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	外部検討会議出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部 准教授	-	○
	迫田 登稔	農研機構 東北農業研究センター 水田輪作研究領域 領域長	-	-
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅久 代表(雫石町)	-	○
	清水 一孝	株式会社西部開発農産 生産部 部長	-	○
	阿部 貴明	全農岩手県本部米穀部 次長	-	-
農産 (畑作)	関矢 博幸	農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 領域長	-	○
	熊谷 匡章	有限会社下館農産 代表取締役	-	○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程 教授	-	-
	岩波 宏	農研機構 果樹茶業研究部門 果樹生産研究領域 果樹スマート生産グループ・グループ長補佐	-	○
	佐々木 仁	全農岩手県本部 園芸部生産販売課 技術主管	-	○
	工藤 英夫	花巻市葡萄が丘農業研究所 所長	-	○
	山崎 安人	岩手県農業農村指導士(宮古市)	-	-
園芸 (野菜)	由比 進	岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター 教授	-	○
	室 崇人	農研機構 東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 野菜新造型グループ グループ長	-	○
	高橋 光朗	岩手県農業農村指導士(奥州市江刺)	-	○
	工藤 勝弘	岩手県農業農村指導士(八幡平市)	-	○
	鈴木 公	全農岩手県本部園芸部 次長	-	-
園芸 (花き)	稲本 勝彦	農研機構 野菜花き研究部門 施設生産システム研究領域 施設野菜花き生産管理システムグループ グループ長補佐	-	○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー 会長兼CEO	-	○
	高橋 亮	八幡平市花き研究開発センター 係長	-	-
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士	-	-
畜産	関矢 博幸	農研機構 東北農業研究センター 緩傾斜畑作研究領域 領域長	-	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	-	○
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程 教授	-	○
	大津 信一	全農岩手県本部畜産酪農部 次長兼生産指導課長	-	○
	丹菊 将貴	(独)家畜改良センター岩手牧場 場長	-	○
	保科 俊徳	岩手県青年農業士(奥州市前沢)	-	○
	田村 憲史	岩手県青年農業士(久慈市)	-	-
	嵯峨 裕紀	岩手県青年農業士(盛岡市)	-	○
			書面	21 名

## (2) 機関評価委員会

ア 開催日・場所 令和4年9月14日(水) 岩手県農業研究センター 畜産研究所(滝沢市)

イ 内容 (ア) 機関評価制度と評価結果への対応状況について

(イ) 各部・研究所における重点取組状況について

(ウ) 畜産研究所の視察

(エ) 意見交換

ウ 出席者

(ア) 機関評価委員(6人) 中野 正久 氏 (東北農業研究センター 研究推進部長)

高畑 義人 氏 (岩手大学 名誉教授)

新田 義修 氏 (岩手県立大学 研究・地域連携本部副本部長兼地域政策研究センター長兼総合政策研究科・総合政策学部 准教授)

佐竹 雅之 氏 (全農岩手県本部 副本部長)

青沼 純一 氏 (岩手県農業農村指導士協会 会長)

米倉 裕一 氏 (岩手県工業技術センター 理事)

(イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

## (3) 企画運営会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R4.7.26(火)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)岩手県農業研究センター 機関評価委員会「視察・懇談会」について (2)岩手県農業研究センター一般公開デーの開催について 2 連絡・報告事項 (1)鳥獣被害対策 について (2)試験研究推進会議第1回内部検討会議について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等
R4.9.27(火)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)勤務発明審査について (2)第2期AP具体的推進方策指標 農林水産業に関する研究開発件数について (3)試験研究成果の動画紹介について 2 連絡・報告事項 (1)業務方針進捗状況第2四半期実績について (2)令和4年度農業研究センター職員意識調査の実施について (3)全国農業関係試験研究場所長会アンケート調査について
R5.1.31(火)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)職員意識調査結果について (2)試験研究推進等に関係する要領の改正等について (3)東北農業試験研究推進会議の冬期会議の運営に関する意向確認について 2 連絡・報告事項 (1)全国農業関係試験研究場所長会アンケート調査結果について (2)令和5年度依頼研究員候補者の推薦について (3)令和5年度外部研究資金事業への応募・参加状況について (4)広報(らぼ・れたあ、SNS等)の実績(～第3四半期)について (5)2～3月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
R5.3.15(水)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議、連絡・報告事項 (1)職員意識調査で寄せられた意見・要望への対応について (2)農業研究センター所内コンペについて (3)令和5年度研究成果発表会について (4)試験研究推進等に関する要領の見直しについて (5)試験研究推進計画(R6～)の策定に係るスケジュールについて (6)企画運営会議等主要会議の年間スケジュールについて (7)「お手軽スマート農業シリーズ」の発信について

#### (4) 運営会議、室長会議

##### ア 本部運営会議

令和4年度開催回数23回

##### イ 本部室長会議

令和4年度開催回数1回

##### ウ 畜産研究所室長会議

原則月1回開催、令和4年度開催回数13回

##### エ 県北農業研究所企画調整会議

原則月1回開催、令和4年度開催回数15回

## (5) 委員会等の運営

### ア 公開行事企画運営委員会 (PR委員会)

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
R4.8.19	畜産研究所セミナー室	(1) 令和4年度の畜産研究所参観デーの内容について (2) 出務対応者、準備、撤収作業について

### イ 飼料生産委員会

開催月日	場所	内 容
R4.4.15	畜産研究所小会議室	(1) 令和3年度粗飼料供給実績について (2) 令和4年度粗飼料要望数量と供給見込数量について (3) 収穫時の作業協力体制について

## (6) その他会議

### ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R4.6.24	三会堂ビル 9階石垣記念ホール	全国農業関係試験研究場所長会総会 (1) 令和4年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 (2) 研究功労者表彰式

### イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R4.9.9	オンライン開催	情報提供 東北タマネギ生産促進研究開発プラットフォームの設立について 協議事項 (1) 水田活用の直接支払い交付金の見直しへの研究対応について (2) スマート農業研究の実施状況について

### ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
R4.6.17	東京都文京区 全国家電会館	1 協議 (1) 令和3年度事業報告及び収支決算に関する件 (2) 令和4年度事業計画及び収支予算に関する件 (3) 令和4年度会費の額及び徴収方法に関する件 2 その他 (1) 畜産研究功労者表彰 (2) 意見交換(豚熱と試験研究機関の取り組み 話題提供)

### エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
R4.9.16	オンライン開催	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究の実施状況について 3 連携(共同)研究の今後の希望について 4 意見交換会の企画案について 5 国・国研・独法に対する提案について 6 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 7 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 8 次期役員及び次回開催地(案)について

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
R4.9.5	盛岡市 (エスポワールいわて)	第1回防除指針作成会議(農業普及技術課主催) ・作成に係る基本方針の周知等
R4.10.27～28	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催) ・防除指針の原案及び要望事項の検討
R4.12	書面開催	令和5年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催) ・チェック結果の検討
R5.2.9	盛岡市 (エスポワールいわて)	第2回防除指針作成会議(農業普及技術課主催) ・防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
<b>【作物生産推進部会】</b>		
R4.9.1	オンライン開催 (東北農研)	○東北地域麦品種・系統検討会 1 各県の麦作概況 2 麦類の検討 3 冬作研究に関する情報交換
R5.1.24～25	盛岡市 (アイーナ)	○稲品種検討会 1) 研究成果情報の紹介と「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 2) 新品種および品種候補系統の概要紹介 3) 品種の作付け動向と要望される品種 4) 配付系統の試作結果と配付計画の検討 5) 水稻品種・育種に係る技術的課題の提案と検討 6) 特性比較連絡試験の検討 7) 育種関係情報交換
R5.1.24～25	盛岡市 (アイーナ)	○稲栽培研究会 1 研究会テーマ「水稻有機栽培の生産現場での取り組みと課題」 2 研究成果情報候補課題の検討 3 技術適課題の検討 4 重点検討事項「スマート農業技術の研究・普及の推進方向」
R5.1.24	盛岡市 (アイーナ)	○直播研究会 1 話題提供 「稲無コーティング種子の代かき同時直播栽培の普及拡大に向けた取り組み」 2 各県における水稻直播種栽培の生育概況とその対応について 3 総合討論
R5.1.25	盛岡市 (アイーナ)	○作物生産推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2023」候補の選定 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「「みどりの食料システム戦略」の推進に向けたスマート農業技術の研究と課題」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
R5.1.24	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物栽培研究会 1 情勢報告 畑作物栽培に関わる行政部局からの情報提供 2 重点検討事項「500kg/10aを目指した大豆極多収系統への期待と取組」 (1) 話題提供「大豆生産基盤強化のための極多収品種の育成」 (2) 話題提供「寒冷地向けの極多収大豆系統の開発」 (3) 総合討論 3 令和4年度研究成果情報候補等の検討



開催月日	場 所	内 容
<b>【作物生産推進部会】(続き)</b>		
R5.1.25	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物品種検討会 1 令和4年度研究成果情報候補(畑作物品種関係)の検討 2 「最新農業技術・品種2022」候補の選定 3 夏畑作物の有望品種・系統の成績および次年度配布計画の検討 (1)奨励品種の改廃・採用予定、有望品種・系統 (2)大豆の有望品種・系統(育成地)
R5.1.24～25	オンライン開催	○農業経営研究会 1 重点検討事項「みどりの食料システム戦略技術の横展開」 ・我が国の有機農業・有機食品産業の活性化に貢献する輸出拡大を見据えたビジネスモデル ・東北地域の有機農業生産者向けアンケートについて 2 令和4年度研究成果情報の検討 3 現場段階での重要な技術的課題の検討 4 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定
R5.1.24～25	盛岡市 (アイーナ)	○作業技術研究会 1 重点検討事項「スマート農機に関する研究および導入事例を踏まえた「みどりの食料システム戦略」実現に向けた展開方向に関する話題提供」 2 研究成果情報の検討・確認 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 5 令和4年度作業技術検討会(夏期)についての意見交換
R5.1.20	オンライン開催	○流通加工研究会 1 話題提供「農研機構食品研究部門における研究トピックス」 農研機構食品研究部門研究推進部長 石川 豊 氏 2 重要検討事項 「AI、ロボット、IoT等のスマート技術の活用に向けた流通加工研究の推進方向」 3 令和4年度成果情報の検討 4 現場段階での重要な技術的課題の検討 5 研究トピックの紹介
<b>【生産環境推進部会】</b>		
R4.7.7～8	山形テルサ	○土壌肥料研究会(夏期) 1 検討課題「コロナ禍期間中に得られた各機関の主な研究成果」 2 企画講演 「肥料高騰下において土壌肥料研究の果たす役割」 「肥料を巡る情勢と技術的対策」 JA全農耕種資材部肥料課 主席技術主管 加藤直人 氏 「日本と東北地方における養分の収支と利用効率」 農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 農業環境情報グループ 上級研究員 三島 慎一郎 氏 3 土壌肥料学会学会賞受賞者記念講演 「土壌中における有害元素の動態と作物吸収低減に関する研究」 東北大学 牧野知之 教授
R5.1.19～20	盛岡市 (アイーナ)	○土壌肥料研究会 1 重点検討事項「スマート農業技術を活用した有機物等の温度依存性資材の施用技術の高度化」 話題提供1 「メッシュ農業気象データを用いた水田地温の推定とその利用」 新潟県農業総合研究所基盤研究部専門研究員 本間利光 氏 話題提供2 寒地水田における尿素・ウレアホルムの肥効」 拓殖大学北海道短期大学准教授 岡田佳菜子 氏 2 各県・東北農研の取組状況と今後の研究方向

開催月日	場 所	内 容
<b>【生産環境推進部会】(続き)</b>		
R5.1.19～20	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>病虫害研究会</b> 1 重要検討事項「東北地域におけるスマート農業技術の研究・普及に対応した病虫害防除技術」 2 令和4年度研究成果情報候補の検討 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 令和5年度新規試験研究課題および令和4年度主要試験研究成績の検討 5 現場段階での重要な技術的課題の検討
R5.1.19	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>農業気象研究会</b> 1 検討事項「東北地域におけるスマート農業技術の研究・普及・極端気象への対応」 2 講演「2022年夏季の東北地方における高温や多雨の特徴と要因」 気象庁 大気海洋部気候情報課 佐藤 均 氏
R5.1.20	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>生産環境推進部会</b> 1 重点検討事項「東北地域の生産環境研究分野におけるスマート農業技術の実証成果と今後の研究・普及の推進方向」 話題提供 「大豆圃場の湿害リスク評価と課題」 農研機構東北農業研究センター緩傾斜畑作研究領域 藤竿 和彦 氏 「農地周辺の土地利用情報を用いた斑点米被害予測とハザードマップ」 農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域 田淵 研 氏 各県の取り組み状況と今後の研究方向 2 成果情報の検討および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 3 現場段階での重要な技術的課題の検討
<b>【畜産飼料作推進部会】</b>		
R5.1.24～25	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>畜産飼料作推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項 「東北地域の畜産飼料作研究分野におけるスマート農業技術の実証成果と今後の研究・普及の推進方向」 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補選定 4 令和5年度「主要新規試験計画」の検討
<b>【野菜花き推進部会】</b>		
R4.8.30～31	福島県南相馬市ほか	○ <b>野菜研究会(夏期)</b> 1 現地検討会 福島しろはとファーム 甘藷生産法人 2 研究会 担い手不足を解決するための機械化体系による大規模園芸経営について
R4.10.5～6	山形大学農学部(山形 県鶴岡市) …オンライン併用	○ <b>花き研究会</b> 1 検討課題 東北地方における夏秋期の花き品目について 2 「技術的課題(現場ニーズ)」の検討 3 現地検討会 担い手不足を解決するための機械化体系による大規模園芸経営について
R5.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>野菜花き推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項(野菜花き共通) 東北地域におけるスマート農業技術の実証成果と今後の研究・普及の推進方向 2 成果情報候補の検討結果の報告 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の検討

開催月日	場 所	内 容
<b>【果樹推進部会】</b>		
R5.1.25～26	盛岡市 (アイーナ)	<b>○果樹推進部会</b> 1 重点検討事項:「果樹作における気象災害への対応の現状とスマート農業技術の活用に向けた研究方向」 2 「みどりの食糧システム戦略」の実現等に資する現場段階での重要な技術的課題の検討 3 令和4年度研究成果情報の検討について 4 「みどりの食糧システム戦略」技術カタログ掲載候補成果の検討と選定 5 主要新規試験研究課題の検討 6 東北果樹研究会の開催報告および次年度の計画について 7 その他
<b>【研究戦略会議】</b>		
R4.10.25	オンライン開催	出席者: 所長、企画管理部長、研究企画室長 1 情報提供(農林水産省) 2 「国の施策で対応すべき技術的課題」候補の選定 3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログの掲載候補の選定 4 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた取組及び地域として重要な課題の検討 5 戦略目標(重点検討事項)の検討 東北地域におけるスマート農業技術の実証成果と今後の研究・普及の推進方向 6 その他
<b>【本会議】</b>		
R5.2.20	盛岡市 (東北農業研究センター) オンライン併用	出席者: 所長、企画管理部長(オンライン出席) 1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 東北地域におけるスマート農業技術の実証成果と今後の研究・普及の推進方向 3 その他

キ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
R4.8.2	岩手県農業研究センター	第73回全日本野菜品種審査会 タマネギ(春まき極早生)



## II 試験研究の推進



## II 試験研究の推進

### 1 研究活動の概要

県は、平成31年度から令和10年度までの10年間の計画となる「いわて県民計画」を平成31年2月に策定した。

この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部は、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」(以下「技術開発基本方針」という。)を策定した(令和2年3月)。

農業研究センターは、技術開発基本方針に基づき、令和5年度まで取り組む「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した(令和2年3月、研究期間は令和5年度までとして策定)。

技術開発基本方針の5つの農業技術開発の方向に即し、15分野43の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的かつ安定的に生産するために高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

令和4年度の試験研究にあたっては、以下の3つの基本方針に沿って、新規11、継続85、合計96(小課題数ベース、分野を重複する小課題はカウント)の研究課題に取り組んだ。

#### 1 県民視点の試験研究等業務の推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

#### 2 スピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、行政、普及、農業者と連携し一体的に推進
- ・連携強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

#### 3 業務の「見せる化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果・業務内容のPR及び視察等の受入れ

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産・園芸部門で32課題(うち新規4課題)、畜産部門で4課題(うち新規3課題)、合計36課題の共同研究に取り組んだ。なお、イノベーション創出強化研究推進事業では、「チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成」および「雑穀需要に応える短稈・多収アワ品種の育成と機械栽培体系の確立」の2課題で代表機関として取り組んだ。

知的財産では、飼料用米うるち水稻「たわわっこ」(登録番号 29254)および鉢物用りんどう「いわてあおりん」(登録番号 29279)が品種登録された。また、鉢物用りんどう「Bzc-1 mut1」を品種登録出願した。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部(試験研究推進アドバイザー・生産者等)の評価を経て、68の研究成果(普及区分12、指導区分32、行政区分11、研究区分13)にとりまとめた。

機関評価委員会(視察・懇談会)を9月14日に畜産研究所を会場として開催した。当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について視察、意見交換を行った。

## 2 トピックス

### (1)特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	(なし)	
種苗登録	水稻 たわわっこ 【登録番号 29254、登録 2022/6/9】 ・「早生の晩」、耐倒伏性「強」の飼料用米うるち品種	生産基盤研究部 作物育種研究室 【農研機構東北農業研究センター、岩手県共同出願】
	りんどう いわてあおりん 【登録番号 29279、登録 2022/7/11】 ・9月上旬咲きの鉢花向け青花品種	園芸技術研究部 花き研究室
	りんどう Bzc-1 mut1 【出願番号:第 36699 号、登録出願 2023/3/9】 ・鉢花向け濃桃色品種	園芸技術研究部 花き研究室

### (2)表彰等受賞状況

#### ア 令和4年度岩手県職員表彰(事績顕著者)

生産環境研究部 岩館康哉上席専門研究員、園芸技術研究部 山田修野菜研究室長、農業大学校 細川健上席講師は、ナス小陥没症の被害防止策の確立及びその普及により、本県農業の振興に貢献したとして表彰された(令和4年 11 月 7 日)。

#### イ 令和4年度農林水産部長職員表彰

生産環境研究部 加藤真城(前)上席専門研究員(現所属:二戸農業改良普及センター)及び県北農業研究所 羽田厚上席専門研究員は、土着天敵活用に適したりんご園下草管理技術の開発・普及に貢献したとして表彰された(令和4年 10 月 28 日)。

園芸技術研究部 小澤傑専門研究員及び小田島雅主査専門研究員は、「いわてあおりん」とセット販売が可能な鉢花向け濃桃色りんどう「Bzc-1 mut1」を育成し、花き振興に大きく貢献したとして表彰された(令和5年3月 27 日)。

生産環境研究部 桐山直盛上席専門研究員及び農業普及技術農業革新支援担当 葉上恒寿主査農業普及員(元生産環境研究部所属)は、本県水田における硫黄欠乏の発生リスクを解明し、本県農業の振興に貢献したとして表彰された(令和5年3月 27 日)。

また、畜産研究所種山畜産研究室は、全国和牛能力共進会での上位入賞に対する貢献が評価され、畜産課とともに表彰された(令和5年3月 27 日)。

#### ウ 全国農業関係試験研究場所長会研究功労者表彰

生産環境研究部 加藤真城(前)上席専門研究員(現所属:二戸農業改良普及センター)は、全国農業関係試験研究場所長会において令和4年度の研究功労者表彰を受賞した(令和4年6月 26 日)。

りんご重要害虫ハダニ類の天敵であるカブリダニ類の県内での発生種と発生推移、および土着カブリダニ類を保護するための下草管理方法を明らかにし、併せてカブリダニ類を保護する殺虫剤散布体系を提示したこと等が高く評価され表彰された。

#### エ 第 15 回北日本病害虫研究会賞(研究報文部門)

生産環境研究部病理昆虫研究室 猫塚修一上席専門研究員は、「北日本病害虫研究会報第 71 号」で発表した報文「リンゴ黒星病の発生に関するリスク要因分析」において、過去 30 年間の病害虫防除所によるリンゴ黒星病の発生状況を解析し、前年秋期の発生と感染好適日の早期出現に関連が認められ、これらをリスク要因として示したことが高く評価され、病害分野の研究報文部門を受賞した(令和5年2月 21 日)。



## オ 日本植物病理学会東北部会「地域貢献賞」

生産環境研究部病理昆虫研究室 岩舘康哉上席専門研究員は、「東北地域の果菜類に発生する難防除病害の生態と防除に関する研究」として地域貢献賞を受賞した(令和4年9月28日)。

これまで取り組んできた「キュウリホモブシス根腐病における転炉スラグを用いた総合防除技術の開発」および「ナス果実小陥没症の原因解明と防除対策の確立」が、東北地域の農業発展に大きく寄与したと高く評価され表彰された。

## カ 令和4年度東北農業試験研究協議会論文賞

令和元年度より制定されたもので、「東北農業研究第75号」に掲載された論文のうち、以下の者が論文賞を受賞した(令和5年4月)。

所属・職・氏名	部会名	論文名
園芸技術研究部 野菜研究室 佐々木達史、横田 啓	野菜花き	春まきタマネギ栽培における地干し乾燥時の収穫開始の目安

## キ 農林水産部政策提案型調査研究コンテスト「Wild Cup 2022」

岩手の農業をデラックスにして委員会(農業研究センター(代表:企画管理部 農業経営研究室長 前山 薫、発表者:主査専門研究員 及川奈実絵)、商工企画室、県南広域振興局農政部)は、「農業DXの加速化に向けて」のテーマで第3位を受賞した(令和4年8月10日)。

## ク 内部表彰

有益な研究・発明を行い優秀な成果をあげた職員や、事務の改善・効率化に貢献した職員、あるいは担当業務に熟練・精励し、長年に渡って職場に貢献した職員に対し、農業研究センター所長表彰、畜産研究所長表彰及び県北農業研究所長表彰を下記のとおり行った。

表彰名称	件数	表彰者数	表彰年月日
令和4年度第1回農業研究センター所長表彰	6	16	令和4年10月3日
令和4年度第2回農業研究センター所長表彰	17	26	令和5年3月1日
令和4年度第1回農業研究センター畜産研究所長表彰	2	47	令和4年10月26日
令和4年度第2回農業研究センター畜産研究所長表彰	5	26	令和5年2月28日
令和4年度農業研究センター県北農業研究所長表彰	7	15	令和5年3月30日

### 3 研究室・課の動き

#### (1) 企画管理部

##### 研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

##### <顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、農業普及技術課農業革新支援担当との作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会を9月14日に畜産研究所を会場として開催し、当センターに対する理解を深めていただき、今後における円滑な機関評価の実施につなげることを目的に当センターの研究実施状況等について説明、意見交換を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

##### <アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、34件(前年45件)であった。ホームページは、年間171ページの更新を行い、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間52件(前年46件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数313回、フォロワー増加数118名、同じくFacebookでは投稿数197回、フォロワー増加数41名であった。

##### <専門知識と技術を有する人材育成 ～ 新たに若手研究員を対象とした所内コンペを開催>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年策定、平成27年改定)に基づき、専門性の高い人材の育成に向け、各種研修等への参加を誘導した。また、研究員の自由な発案に基づく研究課題の設定を促すため、新たに若手研究員を対象とした所内コンペティションを4月27日に開催し、3課題を採択・予算配分したほか、センター内の学位取得者や論文査読経験のある職員15名を若手研究員育成サポーターとして設置し、若手研究員に対して論文投稿や学会発表を始めとした研究業務全般のアドバイスを行うなど、重点的に育成を図った。

なお、各分野の中核を担う研究員の計画的な育成をさらに効果的・効率的に進めるため、令和4年1月に農業研究センター研究員育成方針を策定(従来の農業研究センター研究員等育成プログラムは廃止)し、職員個々が研修計画を策定し実践するとともに、発展段階に応じた集合研修を企画・実施している。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

##### 農業経営研究室

「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、収益力の高い農業経営体の育成に向け、農業構造・経営管理分野の研究について、以下のとおり取り組んだ。

##### <収益性の高い農業経営モデルの提示>

「水田等を活用した野菜産地・経営体の取組及びマネジement手法の提示」では、集落営農法人等が土地利用野菜作の導入を検討する際に必要となる品目の特徴、作型、収支、目標単収等の情報を品目別にまとめた「水田転換畑を活用した野菜作導入・検討のための参考」、「先進産地の取組実態からみる野菜産地支援のポイント」を研究成果として提示した。

「集落営農組織の実態・課題を踏まえた経営維持・発展方向の提示」では、「集落営農法人における人材確保・定着に向けたポイント」等関連する3つの研究成果を提示した。

「スマート農業技術の導入・定着プロセスと利活用方策の提示」では、生産部会を中心としたデータ活用の取組に関して、宮崎県等の先行事例の取組実態の調査等を行った。

### <経営意思決定支援情報の提供>

「経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示」では、環境制御システムを導入した施設野菜(トマト)の技術体系データ作成に向け、資本装備、作業毎の作業時間、投下資材等の調査等を行った。

### <本県の農業構造の現状及び動向の提示>

「2020年農林業センサス等を活用した農業構造動向分析」では、「農林業センサス個票データを用いた「地域農業分析支援シート」及び「先進産地の取組実態からみる野菜産地支援のポイント」を研究成果として提示した。

## (2)生産基盤研究部

### 水田利用研究室

水稲・畑作物(麦類・大豆)の奨励品種決定調査、麦・大豆の作柄解析、麦・大豆の原種・原原種生産、農村整備分野の遠隔自動給排水システム・地下かんがいシステムの実証試験等に取り組んでいる。

#### <水稲品種>

水稲の奨励品種決定調査では、本調査において粳3系統を供試し、現地調査では粳を13か所で検討した。

水稲作用除草剤第2次適用性試験では、新たに開発された水稲の除草剤の効果の確認と雑草防除体系の確立のため、11剤を場内ほ場で試験した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・令和4年度における水稲奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果(行政)

#### <麦類>

麦類奨励品種決定調査では、小麦5系統を供試した。

ナンブコムギに縞萎縮病抵抗性を付与した系統の育成のため、場内にて東北農業研究センターとの共同研究で、縞萎縮病に強い個体の選抜に取り組んだ。

縞萎縮病に強く収量性が高い日本麺用品種「ナンブキラリ」について、播種量及び追肥時期・量試験に取り組んでいる。

麦類耐寒雪性検定試験では、現地ほ場(一戸町奥中山)において、育成地より配布を受けた108系統の雪腐病に対する耐性調査に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・縞萎縮病に強く多収で、製麺適性に優れる日本麺用小麦品種「ナンブキラリ」(普及)
- ・小麦種子検査の発芽試験のための種子休眠打破方法(指導)

#### <大豆>

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆3系統を供試した。

大豆「東北190号」のダイズシストセンチュウの抵抗性評価では、東北農業研究センターとの共同で、現地ほ場2か所(軽米町、雫石町)において現地栽培特性調査に取り組んだ。

#### <種子生産>

小麦は原種3品種を8.5t、原原種を0.6t生産した。大豆は原種2品種を2.5t、原原種2品種を0.1t生産した。

### <地下かんがいシステム・ほ場水管理システムの利用技術>

地下かんがいの利用技術では、タマネギでの営農実証を行うとともに、地下かんがいシステムによる暗渠管の清掃効果を検証した。

ほ場水管理システムの導入実証では、ほ場水管理システムを用いて生育時期に応じた水制御を行う可変水位区と、農家慣行による一定湛水区で生育・収量調査に取り組んだ。

### 生産システム研究室

水田農業の担い手である大規模経営体や集落営農等の意欲と能力のある農業経営体を支援し、収益性の向上を図るため、スマート農業技術の実証、水稲の作柄解析や優良な水稲原種・原原種の生産・供給に取り組んだ。

### <水稲栽培>

水稲の品質・食味向上のための技術や直播栽培技術の実証、作況調査及び現地生育データなど総合的な解析に取り組み、今年度は以下の4つの研究成果を公表・掲示した。

- ・ 岩手県の水稲主要3品種における刈取時期と品質・食味との関係(普及)
- ・ 根出し無コーティング種子を利用した代かき同時浅層土中播種栽培の特徴と管理のポイント(指導)
- ・ 令和4年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析(指導)
- ・ 水稲栽培における中干しが玄米品質に及ぼす影響(研究)

### <水稲種子生産>

原原種は、うるち4品種、もち1品種について約 250kg を生産した。また、原種は、うるち6品種、もち1品種について約 18t を生産した。

### <スマート農業・リモートセンシング技術>

導入しやすいスマート農業技術やリモートセンシング技術を活用した水稲生育診断技術の開発などに取り組み、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 活用しよう！農業分野で利用する低コスト RTK-GNSS 導入マニュアル(普及)
- ・ ほ場でも容易に実施できる無人航空機(ドローン)を利用した水稲リモートセンシング技術(指導)
- ・ 人工衛星を利用したリモートセンシングシステム「ザルビオ®」による水稲生育把握の可能性(研究)

## 作物育種研究室

### <水稲育種>

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組み、生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手 151 号」(「あきたこまち」並みの熟期で、収量性、耐冷性に優れた系統)、「岩手 152 号」(「ひとめぼれ」並みの熟期で、収量性、いもち病圃場抵抗性に優れた系統)、「岩手 153 号」(「きらほ」並の熟期で、いもち病圃場抵抗性に優れた多収のチルド米飯用低アミロース米系統)、「岩手 154号」(「きらほ」よりやや遅く、多収、大粒のチルド米飯用低アミロース系統)、「岩手 155 号」(「きらほ」よりやや遅く、多収のチルド米飯用低アミロース系統)、「岩手 156 号」(「きらほ」より遅く「ひとめぼれ」熟期の多収のチルド米飯用低アミロース系統)の6系統を選抜した。

隣接する(公財)岩手生物工学研究センターと連携してゲノム解析技術と独自の遺伝子資源の活用により、急務となっているスマート農業に適応した品種、中食・外食ニーズに対応した品種等の新たな価値を持つ育種素材の充実化に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・ 令和4年度水稲奨励品種決定調査 本調査・現地調査に新たに供試する系統(行政)
- ・ 令和4年度水稲奨励品種決定予備調査に新たに供試する「岩手 151 号」、「岩手 152 号」(行政)
- ・ 業務用チルド米飯用途向け新規系統「岩手 153 号」、「岩手 154 号」、「岩手 155 号」、「岩手 156 号」(行政)

### <チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成>

イノベーション創出強化研究推進事業応用研究ステージに採択された本課題において、当研究室長が研究代表者、研究員が課題責任者として研究推進にあたり、水稲籾非破壊分析法とゲノム育種を統合した水稲の高速成分育種法により、超多収低アミロース米の育成に取り組むと同時に、農芸化学や食品加工部門の研究者及び流通加工業者と連携し、社会実装を見据えた研究成果創出に取り組んだ。

### <精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稲品種の育成>

(公財)岩手生物工学研究センターとの連携のもと、「ひとめぼれ」の栽培特性(耐倒伏性、耐病性及び高温登熟耐性等)をゲノム育種で改良し、低コスト生産可能な安定した超多収良食味水稲品種の開発を目指し、宮城県と協力しながら効率的な系統育成に取り組んだ。

## (3)園芸技術研究部

### 果樹研究室

りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、その中でも9月下旬～10月上旬に収穫できる優良中生品種の開発を重点課題としている。

また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹の早期成園化や管理作業の省力化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・着色良好で果実品質に優れる中生のりんご品種「錦秋」(普及)
- ・果汁が多く食味良好な早生の西洋なし品種「ジェイドスイート」(普及)
- ・りんご園における土着カブリダニ類保護のための下草管理が樹体生育および果実品質等へ及ぼす影響(指導)
- ・ぶどう「サニールージュ」の早期ジベレリン処理技術における適正着房数(指導)

## 野菜研究室

“岩手県野菜生産振興計画”を踏まえ、本県の気象条件を活用した施設栽培作型、収量の安定向上対策や環境制御技術など、単収の向上、作業の効率化等を図るための栽培法の開発、さらに本県の水田農業に導入可能な土地利用型野菜について、機械化体系に適応可能な栽培技術の開発や高収益が期待できる新規品目の探索に関係機関・団体と連携して取り組んだ。

県内の民間企業が開発した小型炭酸ガス発生機を用いた炭酸ガス局所施用による「低コスト環境制御技術」の普及拡大に向け、県内の6経営体において技術実証を行うとともに、ピーマン栽培における環境制御技術の確立に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・雨よけ夏秋栽培ピーマンでの低コスト環境制御技術導入による増収効果(指導)
- ・ピーマンの収穫初期(5~6月)における、収穫後に発生する尻腐れ果の混入低減対策(指導)
- ・秋まきたまねぎ栽培における基肥窒素量減肥の可能性と追肥開始時期(指導)
- ・県南部の秋まきたまねぎ栽培に適する品種と定植時期(指導)
- ・秋まきたまねぎ栽培の1球重推定が可能となる生育指標(指導)
- ・秋まきたまねぎ栽培における畦間かん水の効果(指導)
- ・たまねぎ栽培における無人マルチローター(ドローン)防除の有効性(指導)

## 花き研究室

花きは、日本一の生産量を誇るりんどうに重点をおき、新品種の育成、種苗の安定生産・供給及び安定生産技術の開発に取り組んだ。

新品種の育成について、切り花向け品種は8月盆および9月彼岸の需要期に切れ目ない出荷を可能とする青色系品種のラインナップを揃えるため、複数品種の育成に取り組んだ。品質が低下している既存品種を花色、花型、草姿などの品質が優れた品種に置き換えていくため、本年度も有望なF<sub>1</sub>系統の特性検定を実施した。また、鉢花向け品種は、令和元年度に成果公表した新奇性の高い青色系八重咲き品種「いわて八重の輝きブルー」に続く、桃色系、白色系の有望系統等を中心に特性検定を実施した。

種苗の安定生産・供給については、これまでに育成した県品種の親系統の維持等に取り組んだ。本年度は、(公社)農産物改良種苗センターへの原種苗として、「ENG」等の種子系親系統である10系統と3年度に成果公表した鉢花向け品種「Bzc-1 mut1」の培養物原体を供給するとともに、採種ほ場の管理や採種技術等について指導を行った。

栽培技術については、育成品種の生態的特性や株養成技術のほか、昨年度特許を取得した「千鳥疎植栽培」の普及に向け、早生品種「いわて夏のあい」等での技術確立に取り組んだ。

加えて、今年度最終年となるイノベーション創出強化研究推進事業「りんどうの開花制御基盤技術の開発」(R2~4)においては(公財)岩手生物工学研究センターと連携し、重イオンビーム照射系統の中から開花期に特徴のある個体の選抜や既存の植調剤の開花への影響及びその要因解析等に取り組んだ。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・りんどう早生品種「いわて夏のあい」における千鳥疎植栽培の軽労・増収効果(普及)
- ・りんどう千鳥疎植栽培における株の肥大効果(指導)
- ・令和4年度りんどう奨励品種決定試験・現地適応性試験結果(行政)
- ・令和5年度りんどう奨励品種決定試験・現地適応性試験に新たに供試する系統(行政)
- ・りんどう未受精胚珠培養の改良(研究)
- ・りんどう極早生品種「いわて夢あおい」の全茎収穫栽培法における開花期前進効果の解析(研究)

## 南部園芸研究室

陸前高田市において沿岸地域の夏季冷涼・冬季温暖な気象特性を活かした園芸産地の育成と、東日本大震災津波(H23.3.11)からの農業復興支援を目的とした技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

いちごの品種比較試験については、東北農業研究センターとの共同研究により、夏秋どり作型に適した四季成り性系統の選定を実施した。また、促成栽培向けでは既存品種の中から、本県での栽培に適し、収量性に優れ、省力性の高い品種を選定するための試験に取り組んだ。

いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改善については、貯水槽に溶出した肥料養分を均一化する方法について検討を行い、ベンチの改修により追肥作業の省力化も図られることを確認した。また、新しいベンチ構造に対応した施肥方法について検討を行った。

いちご夏秋作型における秋期収量向上対策については、四季成り性品種「なつあかり」のLED電球による電照方法や最適な花房管理方法等の検討を行った。

また、農研機構東北農業研究センターとの共同育種により開発した四季成り性いちごの新品種「夏のしずく」(品種登録出願中)について、収量ポテンシャルを最大に引き出し、安定生産が可能となる栽培方法の検討を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・収量が多く、収穫・調製労力が軽減可能な促成栽培用いちご品種「恋みのり」(普及)
- ・夏秋どり栽培向け四季成り性いちご品種「夏のしずく」(普及)
- ・いちご低コスト閉鎖型高設栽培システムにおける培地無加温条件に対応するための改修方法(指導)

現地指導では、気仙地域3市町、JA、農業改良普及センター等の関係機関と連携し、陸前高田市大規模園芸施設(米崎)におけるいちご栽培指導、リアスターファーム(ほ場:陸前高田市、大船渡市)におけるいちご栽培勉強会の実施などを支援した。

## (4) 生産環境研究部

### 土壌肥料研究室

土壌養分の蓄積及び不足に対応した効率的な施肥管理技術の開発、有機物及び未利用資源を有効活用するための技術開発、高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立、農産物の安全性を確保するための栽培管理手法の開発を柱とした研究課題に取り組んだ。

令和4年度は、県内水田においては灌漑水からの硫黄供給により、水稻の硫黄欠乏症の発生リスクが高いと想定される地点が少ないことを明らかにしたほか、春まきたまねぎ栽培における窒素追肥の最適な時期やリン酸施肥の効果を明らかにした。また、水田における基肥施用から荒代掻きまでの日数が長いと施肥窒素の溶脱等が進み、水稻の生育・収量に影響することを、単年度試験ではあるが確認し、東北各県からも注目された。

このほか、水田および露地野菜畑における有機物連用試験において、土壌での炭素貯留による地球温暖化への影響把握の基礎データを提供しているほか、水稻主要品種に適応したドローンによる効率的な生育栄養診断技術の確立、プラスチック被膜を使用しない緩効性肥料などの実用性試験を実施した。

また、国のプロジェクト研究やイノベーション創出強化研究推進事業の共同研究に参画し、玄米中の無機ヒ素濃度低減に向けた栽培管理方法の試験、AI(人工知能)を活用した土壌分類支援技術開発や窒素動態モデル開発に向け土壌断面調査(県中部103点)や無機態窒素発現に係る試験を実施した。

なお、国が「みどりの食料システム戦略」において打ち出した化学肥料使用の低減や脱炭素の目標、肥料関係団体による「緩効性肥料におけるプラスチック被膜殻の海洋流出防止に向けた取組方針」、国際的な肥料価格高騰といった、土壌肥料分野を取り巻く環境の大きな変化が進むなか、作物の収量・品質を維持しながら施肥コストを低減させるための簡易な土壌分析法や、緑肥を活用した地力維持といった、これまでの研究成果が雑誌掲載や報道を通じて注目された。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・県内水田における灌漑水からの硫黄供給量(指導)
- ・春まきたまねぎ栽培における窒素追肥の最適時期(指導)
- ・水田転換畑での春まきたまねぎ栽培におけるリン酸施肥効果(指導)
- ・基肥施用から荒代掻きまでの日数が水稻生育に及ぼす影響(研究)

## 病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術（IPM）の開発に取り組んだほか、本県の病害虫防除指導の技術指針である「岩手県農作物病害虫雑草防除指針」の原案作成や、これらの基礎資料となる新農薬の効果検定等にも取り組んでいる。

令和4年度は、斑点米カメムシ類の現地での発生状況や斑点米被害率調査、ダイズ紫斑病や黒根腐病を対象とした新たな防除方法の検討、施設トマトでの主要害虫に対する総合防除技術の確立、リンゴ褐斑病及び黒星病を対象とした春季の防除体系の再構築、近年発生時期が早期化していたリンドウ黒斑病の生態解明と防除試験等を実施した。

また、国の委託プロジェクト研究による省力的 IPM を実現する病害虫予報技術の開発、イノベーション創出強化研究推進事業による AI を活用した病害発生予測に係る共同研究、ビール醸造組合の委託事業としてホップの新規殺ダニ剤の登録推進に係る防除試験・作残試料調製等を実施した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・リンドウ黒斑病の発生生態と重点防除時期（普及）
- ・リンゴ黒星病とモニリア病を同時防除できる重点防除時期「花蕾着色期」（普及）
- ・クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴（指導）
- ・転炉スラグを用いた土壌 pH 改良によるピーマン青枯病の被害軽減（指導）
- ・岩手県内のトマトうどんこ病菌の発生菌種と感染好適温湿度条件（指導）
- ・AI による病害発生予測システムによるトマトうどんこ病の発生予測と予測に基づいた防除の実証（指導）
- ・りんご幼木における急性衰弱症の診断ポイントと改植時での当面の対策（指導）
- ・リンゴ褐斑病の一次感染開始時期の早期化と今後の防除対策（指導）

## (5) 病害虫防除部

### 病害虫防除課

#### <病害虫発生予察>

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察等の調査を行い、定期情報7回、注意報6回、特殊報1回に加え、防除速報17回を発行した。これらの情報については、印刷物のほか、メールリストによる配信、いわてアグリベンチャーネットへの掲載、マスコミ活用等により、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

情報の種類		発行回数	内 容
発生予察情報	定期情報	7	3～10月
	注意報	6 (前年比1減)	水稻：いもち病・斑点米カメムシ類、 りんご：黒星病、ハダニ類(3)
	警報	0	
	特殊報	1 (前年同)	きく：クロゲハナアザミウマ
病害虫防除速報	—	17 (前年比4増)	・水稻（8回）：細菌病類、斑点米カメムシ類3、 いもち病（取置苗・葉・穂2） ・小麦（1回）：赤かび病 ・りんご（4回）：黒星病、褐斑病、ハダニ類、キンモンホソガ ・きゅうり（2回）：炭疽病 ・りんどう（2回）：リンドウホソハマキ、花腐菌核病

#### <病害虫防除指導>

本県の病害虫等の発生実態に応じた効果的・効率的な総合防除の実施を推進するため、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら病害虫防除指導に取り組んだ。今年度の実績は、病害虫防除実績検討会を開催して主要病害虫の発生要因解析と次年度の防除対策について関係機関・団体と共有し、今後の地域防除体制の資とした。

水稻の病害虫防除指導においては、各地方の病害虫防除協議会、JA 稲作部会等が中心となり、病害虫防除所が発行する発生予察情報を活用した防除指導が実施された。加えて、経験の浅い若手指導者等を対象とした「病害虫防除指導者研修会」を開催し、いもち病の見分け方や防除対策等を指導した(6/10、36名)。現地調査では、斑点米カメムシ類、いもち病が広域で発生したことに加え、気象の影響でいもち病の発生好適条件が続いたことから、7/14 斑点米カメムシ類、7/20 穂いもち病の注意報を発表したほか、調査結果に基づき防除速報も発表して防除の徹底を呼び掛けた。また、巡回調査地点の農

家 83 件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、気象の影響でりんごの展葉が早まり、黒星病の感染時期も早まることが懸念された。また、現地調査ではリンゴハダニが多発していたことから、4/4に黒星病とリンゴハダニの注意報を発表して適期防除を呼び掛けた。その後の調査ではナミハダニの多発もみられたことから、4/28と7/28に注意報を発表して防除を呼び掛けた。ハダニ類以外では、キンモンホソガが多発したため防除速報を発表した。なお、りんごの防除実績は、県内 79 の共同防除組合等から収集し、次年度の防除計画の改善に資した。

野菜・花きについては、きゅうりでは早期に炭疽病の発生が見られたことから、7/8と8/10 に防除速報を発表して速やかな防除を呼び掛けた。なお、防除実績を野菜 20 件、りんどう 11 件の農家から収集し、次年度の防除計画の策定に資した。

病害虫診断については、74 件の依頼に対応した。今年度はさくのかの栽培圃場において、クロゲハナアザミウマによる葉の被害が初めて確認されたことから、他県における発生事例を参考に防除対策を指導するとともに、10/26 に特殊報を発表し、関係機関等に注意喚起した。

#### <農薬適正使用指導>

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する「農薬適正販売・使用研修会」を開催している。例年は6月に開催していたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により開催を 10 月に延期した。開催にあたっては、受付時の検温と手指消毒、会場内でのマスク着用、参加人数の制限等、感染防止対策を講じた(10/21、受講者 167 名)。

また、農薬取締法に基づき 339 件の農薬販売者への立入検査を実施したほか、農薬使用基準違反の確認された使用者に対し3件の現地指導を行った。

### (6) 畜産研究所

#### 家畜育種研究室

##### <家畜育種>

(肉用牛) 優秀な種雄牛を造成するため現場後代検定用牛5頭を選抜し、R 元年交配種雄牛5頭の現場後代検定成績を公表した。また、黒毛和種肥育専業経営体の肥育期間短縮技術の確立と、日本短角種の出荷調整による損失軽減のための長期肥育試験の取組が順調に進み、それぞれ、2回目肥育試験を実施している。

(養豚) バークシャー種の産肉能力向上のために種豚群の改良のため外部から精液を導入し新たな種豚候補群の生産と生産農場向けの肥育豚の可食肉量を増加させる蛋白質給与体系の確立に取り組んでいる。

(養鶏) 地域飼料(玄米とくず大豆)を有効活用した南部かしわへの長期給与実証試験を実施し、地域飼料を用いた南部かしわの発育と産肉性のモデルを作成した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・日本短角種産肉能力検定(直接法)成績 (行政)
- ・日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績 (行政)
- ・ふすま給与が日本短角種牛肉嗜好性へ及ぼす影響(研究)
- ・黒毛和種去勢肥育牛における良好な発育を確保するための肥育前期飼養管理手法の検討(研究)

##### <家畜工学>

(遺伝子解析) 県内黒毛和種集団における新細かさ指数の遺伝率(0.45)が判明し、枝肉形質と脂肪交雑の細かさを同時に改良可能であること、及び新細かさ指数が 80 以上の枝肉は、枝肉単価へのプラスの影響があることを明らかにした。

また、モモ抜けの画像解析値と目視評価は正の相関があること、また、モモ抜けの遺伝率(0.24)が判明し、高い正の遺伝相関があるロース芯面積、BMS No.等の枝肉形質を改良していくことでモモ抜けも望ましい方向へ改良できる可能性を明らかにした。他方、ゲノムワイド関連解析では、脂肪交雑形状に有意に関連する SNP は確認できなかった。

(繁殖) 寒冷期の妊娠末期および授乳期は、通常の増飼に加えてエネルギー消費量の増加を考慮し増給することで、分娩後の子宮環境回復の早期化、受胎率の向上および空胎日数の短縮が期待できること。また、分娩後の子宮環境回復の判定は、分娩後 4 週で子宮内膜細胞中の PMN 6 %未満が指標となり、分娩後 4 週で栄養度の低下および PMN 6 %以上を示す牛への子宮内薬液注入により繁殖成績の改善が期待できることを明らかにした。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果を公表した。

- ・黒毛和種における繁殖成績向上のための分娩後の子宮環境回復指標と早期回復技術(指導)
- ・黒毛和種における分娩間隔短縮のための寒冷期飼料給与プログラム(指導)
- ・岩手県内黒毛和種集団における脂肪交雑の細かさ(新細かさ指数)に係る遺伝的パラメーターおよび育種価の推定(行政)



- ・岩手県内黒毛和種集団におけるウチモモの脂肪交雑割合と目視評価の関係及びモモ抜けの遺伝的パラメーターの推定(研究)

## 家畜飼養・飼料研究室

### <家畜飼養>

生体センサーを活用した乳用牛群管理技術の開発については、反芻時間とその増減率から、ケトosis及び低カルシウム血症の一部を分娩前に予測できる可能性があることを明らかにし研究成果(区分:研究)に取りまとめた。また、乳用牛群検定データの解析による酪農の生産性向上要因の分析と活用では、大規模経営ほど、産乳及び繁殖成績は良好で、経営体要因(飼養管理上の選択肢)毎、または組合せ別に成績を分析し特徴を明らかにした。繋留飼養の搾乳牛における効果的なTMR給与方法の確立では、日内の各時間における行動開始数と持続時間の関係を分析し、採食と反芻行動の特徴を明らかにした。

また、乳用牛群検定情報分析センターとして、現地の指導機関向けに「岩手県における乳用牛群検定成績のまとめ」の令和2、3年版を取りまとめたほか、地域別、市町村別生産成績速報を概ね隔月の頻度で提供した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・反芻行動のモニタリングによる乳用経産牛の周産期疾病早期予測の可能性(研究)

### <飼料生産>

トモロコシ市販品種の特性比較では、早生6、中晩生6品種を検討し、県推奨品種候補とするための生育、収量データを収集した。寒地型イネ科牧草の特性比較では、ペレニアルライグラス(PR)とオーチャードグラス(OG)について、PRは晩生3品種の利用1年目の生育、収量特性データ、OGは播種当年の生育データを収集した。いずれの草種とも次年度も継続調査する。採草地におけるワルナスビ防除体系の確立では、選択制除草剤とOGの被陰効果並びに草地更新手法の検討に加え、除草剤の効果を高める展着剤加用を検討したが、いずれも防除効果は低いと判断された。温暖化に対応した採草地管理については、OG及びチモシーの播種晩限期、更新翌年の肥培管理方法、夏季高温を考慮した刈取間隔を検証し、OG経年草地における刈取管理が収量や植生維持に与える影響について取りまとめ、研究成果(区分:指導)として公表した。多年生ライグラスを利用した追播技術の確立では、所内に実規模の試験ほを設置し追播したPR新品種「夏ごしペレ」の播種当年の定着、初期生育が良好なことを確認した。

また、飼料高騰対策のために、アルファルファ栽培や飼料畑の二毛作等に対する既往成果の知見提供や研修会への講師派遣等を行った。さらに、岩手県コントラクター等利用推進協議会に参画し、県内コントラクターのオペレータ確保、育成に向けた活動を支援した。県内で取組が増えつつある子実用トモロコシについて、東北農業研究センターが主宰する水稲乾田直播・子実用トモロコシ普及促進会に参画し、情報収集を行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・高温期を回避したオーチャードグラスの刈取管理法(指導)
- ・採草地における耕起や除草剤散布に対するワルナスビの生態反応(研究)

### <牧草の放射線対策>

先端プロ実証研究において、除染草地の簡易更新時に利用した土壌改良カリ資材の牧草中放射性セシウム(RCs)濃度の抑制や牧草のテタニー比への影響を調査し、利用4年目ではいずれも有意差はないものの塩化カリ区のRCs濃度が高く維持された。また、同研究では耕起困難草地の放牧利用における、カリの肥効の持続性や施肥労力の省力化をねらいとした緩効性肥料の施肥効果を検討するため、草地利用2年目の収量、牧草及び土壌のRCs濃度、成分データ等を収集した。

## 外山畜産研究室

### <子牛の生産状況>

外山畜産研究室では繁殖雌牛75頭(黒毛和種36頭、日本短角種39頭)を飼養している。黒毛和種では、生産された子牛のうち24頭を1頭当たり平均520千円で販売した。(3月1日現在)

同様に日本短角種の子牛は33頭を出荷し、1頭当たり平均価格は263千円であった。

### <成果の発信状況>

放牧牛群管理における準天頂衛星対応トラッキングサービス(測位情報)の応用について、草丈と放牧牛の移動距離の関係をもとにした転牧指標を検討したところ、測位情報から得られた放牧牛の1時間当たりの移動距離及びエネルギー指標とな

るNEFAは、草が豊富な夏季には、大きな変動を示さなかったが、秋季に草丈が概ね20cmより短くなるとともにNEFAは基準を上回った。1時間当たり移動距離は、転牧後60-80mと長い傾向を示したが、その後一旦減少(37-40m)したのち、草丈が20cm以下となるとNEFAの上昇とともに再度上昇に転じ、転牧14-15日後には70-100mと著しく増加した。これらのことから、放牧牛の移動距離の増加は転牧時期の指標となり、入牧後減少したのち増加に転じたタイミングが目安となると推察された。

また、種雄牛の乗駕行動と測位情報から得られた雌雄の位置関係に基づく交配日の推定を検討したところ、乗駕行動の判定は、加速度のみで行うと乗駕発見指数52.8であったが、これに測位情報から算出した移動速度を指標として、横臥行動を除外することで、乗駕発見指数は60.8と増加し実用レベルとなった。これらのことから乗駕行動の判定は加速度値と移動速度を組み合わせることで実用レベルとなり、その時の雌雄の位置関係から乗駕対象雌牛が判定可能であることを明らかにした。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・放牧牛の移動距離の増加を目安とした転牧指標(指導)
- ・加速度、位置情報をもとにした日本短角種放牧雌牛の交配日推定(研究)
- ・日本短角種妊娠牛における乳汁中及び血清中PAG(妊娠関連糖蛋白:Pregnancy Associated Glycoprotein)濃度の推移と分娩日予測(研究)

### <寄託放牧の状況>

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5月24日から10月21日まで150日間放牧を実施し、生産者4戸から繁殖牛47頭と子牛32頭受入れた。

また、馬については5月17日から10月14日まで150日間放牧を実施し、雌馬5頭、雄馬1頭、子馬4頭を受入れた。今年度は新型コロナウイルスの影響で中止されていた「チャグチャグ馬っこ」が3年ぶりに開催された。この伝統行事で行進した馬たちを預かり、適切な管理に努めることを通じて伝統行事の支援の意義を強く感じた。

## 種山畜産研究室

黒毛和種改良事業の一環として県内産黒毛和種種雄牛候補牛7頭を選定し直接検定を実施した。また、令和3年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補牛3頭(「光乃雲」、「勝美国」及び「真里隼」)を選抜した。現場後代検定については令和3年度に検定を開始した4頭の種雄牛候補の枝肉成績が判明し、「美津貴」を基幹種雄牛に選抜した。

また、第12回全国和牛能力共進会第1区(若雄の部)に「百合光(現:光乃雲)」を出品し、全国第3位相当の優等賞3席を獲得した。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・黒毛和種県産種雄牛「百合花智(ゆりはなとも)」「菊百合福(きくゆりふく)」「星乃栄(ほしのさかえ)」の作出(普及)
- ・黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績(行政)
- ・黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績(行政)

### <たねやま営業部の取組>

専任職員又は研究員が、(一社)岩手県畜産協会が行う凍結精液の配送業務に同行して家畜人工授精師等へPRを行ったほか、大規模生産農場を個別訪問して情報提供する等、販売活動に取り組んだ。また、PRに活用するための情報収集にも取組み、県有種雄牛産子の一般肥育農家での肥育成績を収集するとともに、枝肉共励会における成績も調査した。

- ・配送業務に同行してのPR: 110日(のべ229か所、2月末時点)
- ・大規模生産農場を個別訪問してのPR: のべ7農場
- ・研修会等での情報発信: 4回
- ・県有種雄牛産子の肥育成績の収集: 271件
- ・枝肉共励会の成績の調査: 27件

## (7) 県北農業研究所

### 園芸研究室

県北・沿岸地域の冷涼気象や中山間地域の立地条件に対応した野菜の安定生産技術の確立に向け、各種試験研究を実施した。令和3年2月に北いわて型スマート農業技術を確立するため、高度な環境制御が可能な「環境制御型園芸温室」が竣工し、令和3年度から「施設きゅうり栽培に適した環境制御技術の確立」に向けた栽培試験を開始した。具体的には、「環境制御型園

芸温室」でのきゅうり長期どり栽培体系における木質バイオマスエネルギー等を活用した暖房コスト低減技術の開発、並びに、所内及び現地(二戸市)の既存のパイプハウスでの小型光合成促進機の導入によるCO<sub>2</sub>施用法の実証試験を実施した。

また、「雨よけほうれんそうにおけるミストによる簡易環境制御技術の開発」に向け、農業普及技術課農業革新支援担当や久慈、八幡平農業普及センターと連携して、ミスト制御による増収効果と品質向上効果について前年度に引き続き検証し、夏期高温時(特に、8～9月収穫)の単収向上及び品質の安定化に取り組んだ。

露地の主要品目であるキャベツについて、重要病害である根こぶ病対策として、既存の抵抗性品種の栽培特性を把握すること、および県内で発生している根こぶ病の病原型を明らかにすることで、抵抗性品種を有効に用いた根こぶ病対策の確立を目的として、現地における栽培状況も確認しながら実施した。

以上の取組の中から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・施設きゅうりにおける小型光合成促進機の導入効果(指導)
- ・県北地域で発生しているキャベツ根こぶ病菌の病原型判別(研究)

## 作物研究室

先端技術を活用した農産物の高付加価値化を図る新品種育成と革新的な技術体系の確立に向けて、「イノベーション創出強化研究推進事業(開発研究ステージ)『雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発』」に取り組んだ。有望品種「アワ岩手糯 11 号」を育成し、所内並びに現地2か所(軽米、花巻)での特性評価を行うとともに、(一社)日本雑穀協会や(公財)岩手生物工学研究センターとの連携により、加工特性評価、機能性評価を行い、令和4年度の奨励品種会議に提案し採用となった。

雑穀の原種生産では、あわ1品種(ゆいこがね)を採種した。

中山間地域における生産性・収益性の高い組織営農技術の開発と土地利用型品目の導入に向けて、水稻、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試系統の特性を把握した。水稻は、岩手 141 号を有望視して栽培法の予備試験を行うとともに、水稻早生品種の担当者打合せを通じて今後の水稻育種推進の方向性の確認を行った。大豆は、東北 190 号の現地試験により主要特性並びにダイズシストセンチュウに対する抵抗性の評価を行った。東北 190 号の品種名は「リョウユウ」に決定し、農研機構によって品種登録出願された。生産システム研究室と連名で令和4年産の水稻作柄要因として解析した(R4研究成果)。

リモートセンシングによる水稻生育診断技術の開発について、ドローンによる幼穂形成期前と成熟期前の画像撮影を行い、幼穂形成期の生育量推定と成熟期の推定並びにタンパク含量推定の検討を行った。

県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立に向けて、RTK-GNSS 方式の自動操舵機器の傾斜地適応性や、機器の違いによる測位精度の確認を行うとともに、雑穀、露地野菜の機械除草技術への利用法について検討を行った。

また、農業機械技術クラスター事業「雑穀類対応コンバインの開発」について、たかきび、えごま、アマランサスを対象にした汎用コンバイン改良機(試作1号機)の開発を行い、適応性を評価した。

その他、研究課題や地域課題、その解決策について共有を目的に、各種研修会等への参加も積極的に行った。

以上の取組から、今年度は以下の研究成果をとりまとめた。

- ・短稈・多収の糯あわ品種「アワ岩手糯 11 号」の育成と品種特性を活かした栽培法(普及)

#### 4 令和4年度試験研究課題

##### (1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		農業構造・経営管理	生産工学	水稻	畑作物	特産作物	果樹	野菜	花き	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	畜産環境
企画管理部	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	5	5														
生産基盤研究部	41	1	2	26	9	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0
水田利用研究室	20	1	2	6	9			1			1					
生産システム研究室	10			9							1					
作物育種研究室	11			11												
園芸技術研究部	62	1	0	0	0	0	24	21	12	0	4	0	0	0	0	0
果樹研究室	26						24				2					
野菜研究室	15	1						13			1					
花き研究室	13								12		1					
南部園芸研究室	8							8								
生産環境研究部	32	1	0	1	2	0	1	3	0	9	15	0	0	0	0	0
土壌肥料研究室	14	1		1	1			2		9						
病理昆虫研究室	18				1		1	1			15					
畜産研究所	31	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	15	2	10	0
家畜育種研究室	12												10	2		
家畜飼養・飼料研究室	12									1		3	1		7	
外山畜産研究室	3														3	
種山畜産研究室	4												4			
県北農業研究所	25	0	3	8	4	4	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0
園芸研究室	6		1					4			1					
作物研究室	19		2	8	4	4					1					
総計	196	8	5	35	15	4	25	29	12	10	23	3	15	2	10	0

- ※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上  
 2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上  
 3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に( )表記
- ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示  
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業  
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【農業経営研究室】</b>						
農業経営	1	(R3-1)集落営農組織の実態・課題を踏まえた経営維持・発展方向の提示	R3	R5	県単	農業経営
農業経営	2	(R3-2)経営環境の変化に対応した農業技術体系データの提示	R3	R7	県単	農業経営
農業経営	3	(R3-3)2020年農林業センサス等を活用した農業構造動向分析	R3	R5	県単	農業経営
農業経営	4	(R3-4)スマート農業技術の導入・定着プロセスと利活用方策の提示	R3	R5	県単	農業経営
農業経営	5	(R3-19)水田等を活用した野菜産地・経営体の取組及びマネジメント手法の提示	R3	R7	県単	農業経営/野菜/土壌肥料
<b>【生産基盤研究部水田利用研究室】</b>						
水田利用	6	(803)水稲奨励品種決定調査	H14	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(803-1000)予備調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-2000)本調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-3000)水稲奨励品種決定調査現地調査	H14	R5	県単	水田利用
水田利用		(803-4000)有望系統の栽培法	H14	R5	県単	水田利用/作物
水田利用	7	(807)水田雑草の効率的防除技術の開発	H14	R5	民間委託	水田利用/作物
水田利用		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	R5	民間委託	水田利用/作物
水田利用		(807-3000)畦畔雑草の草刈り方法	R3	R5	民間委託	水田利用
水田利用	8	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	R5	独法等委託	水田利用
水田利用	9	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	R5	県単	水田利用/作物
水田利用	10	(891)畑作物原々種・原種生産	H22	R5	県単	水田利用
水田利用	11	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H19	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H23	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	H23	R5	県単	水田利用
水田利用	12	(H19-13)麦類の奨励品種決定調査及び有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用/作物
水田利用		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	H26	R5	県単	水田利用
水田利用		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	R5	県単	水田利用
水田利用	13	(H30-02)岩手県の水田に適した地下かんがいシステムの利用技術の確立	H30	R6	県単/令達	水田利用
水田利用		(H30-02-3000)ほ場水管理システムの導入実証	R4	R5	令達	水田利用
水田利用		(H30-02-4000)地下かんがいシステムほ場の機能維持に資する管理方法の実証	R4	R6	令達	水田利用
水田利用	14	(R2-1-2000)水田転換畑における土地利用型野菜の土壌管理技術	R2	R4	県単	水田利用/野菜/土壌肥料
水田利用	15	(R2-4)小麦「ナンピキラリ」の高品質安定栽培法	R2	R4	県単	水田利用/土壌肥料/病理昆虫

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【生産基盤研究部生産システム研究室】</b>						
生産システム	16	(61)水稲原々種生産	S22	R5	県単	生産システム
生産システム	17	(62)水稲原種生産	S29	R5	県単	生産システム
生産システム	18	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-1000)水稲作況調査	H14	R5	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	R5	県単	生産システム/作物
生産システム		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	R5	県単	生産システム/作物
生産システム	19	(R2-9)岩手県における水稲無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培技術の実証	R2	R4	独法等委託	生産システム
生産システム	20	(R3-5)リモートセンシングによる水稲生育診断技術の開発	R3	R5	県単	生産システム/土壌肥料/作物
生産システム		(R3-5-1000)ドローンによる生育診断技術の確立	R3	R5	県単	生産システム/土壌肥料/作物
生産システム		(R3-5-2000)ドローンによる玄米タンパク質含有率及び成熟期推定技術の確立	R3	R5	県単	生産システム/作物
生産システム		(R3-5-3000)衛星画像による生育状況の把握及び活用法の検討	R3	R5	県単	生産システム
<b>【生産基盤研究部作物育種研究室】</b>						
作物育種	21	(H30-22)イネ冷害におけるエピジェネティックな制御機構の解明	H30	R4	独法等委託	作物育種
作物育種	22	(H31-07)多様なニーズに対応する水稲品種の育成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-1000)交配母本評価と交配	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-2000)初期世代養成	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-3000)個体選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-4000)系統選抜	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-5000)生産力検定試験	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-6000)特性検定試験	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-7000)DNAマーカー等先端技術利用	R1	R5	令達	作物育種
作物育種		(H31-07-8000)育成系統採種	R1	R5	令達	作物育種
作物育種	23	(R2-8)チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミロース米系統の早期育成	R2	R4	独法等委託	作物育種
作物育種		(R2-8-1000)コンビニエンスストアチルド米飯に適する超多収低アミロース米系統の育成	R2	R4	独法等委託	作物育種
作物育種	24	(R3-22)精緻なゲム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稲品種の育成	R3	R7	独法等委託	作物育種
<b>【園芸技術部果樹研究室】</b>						
果樹	25	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	R5	民間委託/令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	R5	民間委託	果樹
果樹	26	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	R5	県単/民間委託	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	R5	県単	果樹
果樹	27	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	R5	令達	果樹
果樹	28	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単・独法等委託	果樹
果樹		(H26-15-1000)早期多収・省力化を目指した栽培法の確立	H26	R10	県単	果樹
果樹	29	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	R6	県単/独法等委託	果樹/病理昆虫
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態把握	H27	R6	県単/独法等委託	果樹
果樹		(H27-24-2000)病害による「JM7」台木利用樹衰弱症状の対策	H28	R6	県単	果樹/病理昆虫
果樹	30	(H30-17)生食用ぶどう品種の育成・選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-17-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単	果樹
果樹		(H30-17-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法等委託	果樹
果樹		(H30-17-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	令達/独法等委託	果樹
果樹		(H30-17-4000)耐寒性品種の育成及び選抜	H30	R4	令達	果樹

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸技術部果樹研究室】</b> (続き)						
果樹	31	(H30-18)醸造用ぶどう品種の選抜と栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-18-1000)優良品種の特性把握及び選抜	H30	R4	県単/令達	果樹
果樹		(H30-18-2000)系統適応性検定試験	H30	R4	独法委託	果樹
果樹		(H30-18-3000)安定・省力栽培技術の確立	H30	R4	県単/令達/独法委託	果樹
果樹		(H30-18-4000)優良品種の垣根栽培の実証	H30	R4	令達/独法委託	果樹
果樹	32	(H31-10)本県に適したりんご優良品種の開発・導入	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-1000)多様なニーズに適合した県オリジナルりんご品種の育成	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-2000)国育成系統適応性試験(盛岡72~74号)	R1	R10	令達	果樹
果樹		(H31-10-3000)国内外導入品種の選抜	R1	R10	令達	果樹
果樹	33	(H31-11)特産果樹の優良品種の選抜	H30	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H30	R10	県単	果樹
果樹		(H31-11-2000)西洋なしの優良品種の選抜	H30	R10	県単	果樹
果樹	34	(R3-8)ブルーベリーにおける省力的な簡易剪定技術の確立	R3	R7	県単	果樹
果樹	35	(R4-6)りんごオリジナル品種などの省力・低コスト・高品質安定生産技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-2000)優良品種の栽培技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
果樹		(R4-6-3000)優良品種の摘花剤及び摘果剤利用技術の確立	R4	R10	県単/民間委託	果樹
<b>【園芸技術部野菜研究室】</b>						
野菜	36	(R2-1)水田転換畑を活用した土地利用型野菜の安定生産技術の確立	R2	R4	県単	野菜/土壌肥料/病理昆虫
野菜		(R2-1-1000)長期安定出荷のための水田たまねぎ栽培技術の確立	R2	R4	県単	野菜/土壌肥料
野菜		(R2-1-3000)たまねぎにおける効率的防除技術の確立(ドローン防除)	R2	R4	県単	野菜/病理昆虫
野菜		(R2-1-4000)たまねぎを中心に水田転換畑を活用した新たな土地利用型野菜の探索	R2	R4	県単	野菜
野菜		(R2-1-6000)タマネギセット栽培管理技術の開発	R3	R5	県単	野菜
野菜	37	(R3-7)施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	県単/令達/国庫/独法委託	野菜
野菜		(R3-7-1000)効率的な局所施用システムの構築	R3	R4	県単/国庫	野菜
野菜		(R3-7-2000)主要果菜における主要作型での局所施用効果の解明	R3	R5	県単	野菜
野菜		(R3-7-3000)局所施用システムの現地実証	R3	R5	令達	野菜
野菜		(R3-7-4000)トマト周年栽培における局所加温技術の開発	R3	R5	県単/令達	野菜
野菜		(R3-7-5000)キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	R3	R7	国庫委託	野菜
野菜	38	(R3-9)夏秋ピーマン安定生産技術の確立	R3	R7	県単/令達	野菜
野菜		(R3-9-1000)夏秋栽培における尻腐れ症対策技術の確立	R3	R7	県単	野菜
野菜		(R3-9-2000)大規模経営での導入を想定した省力的な整枝・誘引方法	R3	R7	県単	野菜
野菜		(R3-9-3000)環境制御機器導入効果の検討	R3	R5	令達	野菜
<b>【園芸技術部花き研究室】</b>						
花き	39	(843)りんどうの育成と生理生態の解明	H14	R5	県単	花き
花き		(843-1000)作況調査	H14	R5	県単	花き
花き		(843-2000)塊茎・越冬芽等の形態形成機構と制御条件の解明	H14	R5	県単	花き
花き		(843-3000)栽培に関わる形質や生理障害等に及ぼす要因解明	H14	R5	県単	花き
花き	40	(H30-06)産地を強化するリンドウの品種育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-1000)親系統の育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-2000)親系統の維持	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-3000)青系切花物日需要品種群と新形質リンドウの育成	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-4000)未受精胚珠培養等による純系リンドウの作出	H30	R4	令達	花き
花き		(H30-06-6000)花持ちが良く、省力栽培に適したりんどう育種素材の作出	R1	R5	独法等委託	花き

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸技術部花き研究室】(続き)</b>						
花き	41	(H31-12)りんどうの革新的な栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-1000)需要期向け切り花りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き		(H31-12-2000)鉢物りんどうの栽培技術の開発	R1	R5	県単	花き
花き	42	(R2-11)りんどうの開花制御基盤技術の開発	R2	R4	独法等委託	花き
花き		(R2-11-1000)りんどうの光周性に関するDNAマーカーを利用した育種母本の選抜	R2	R4	独法等委託	花き
花き		(R2-11-2000)光周性りんどうの開花制御に対する薬剤処理の有効性の確認	R2	R4	独法等委託	花き
<b>【園芸技術部南部園芸研究室】</b>						
南部園芸	43	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	R8	県単	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	R8	県単	南部園芸
南部園芸		(H25-03-5000)地域適応性の高い促成栽培向けいちご品種の選定	R1	R7	県単	南部園芸
南部園芸	44	(H29-01)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	R4	県単	南部園芸
南部園芸		(H29-01-1000)いちご閉鎖型高設栽培システムの管理方法の改良	H29	R4	県単	南部園芸
南部園芸		(H29-01-2000)いちご閉鎖型高設栽培システムのベンチ改善	R2	R4	県単	南部園芸
南部園芸	45	(R3-10)いちご夏秋作型における秋期収量向上のための草勢維持管理技術の開発	R3	R7	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-1000)電照用電球のLED代替技術の検証	R3	R5	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-2000)草勢維持のための株管理手法の改良	R4	R6	県単	南部園芸
南部園芸		(R3-10-3000)定植苗の芽数増加手法の開発	R4	R6	県単	南部園芸
南部園芸	46	(R4-7)いちごの夏秋どり栽培における安定生産技術の開発	R4	R6	独法等委託	南部園芸
<b>【生産環境研究部土壌肥料研究室】</b>						
土壌肥料	47	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	R5	県単	土壌肥料
土壌肥料	48	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	R12	県単	土壌肥料
土壌肥料	49	(H16-22)新肥料の実用化	H16	R7	民間委託	土壌肥料
土壌肥料	50	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	R8	国庫委託	土壌肥料
土壌肥料	51	(H30-26)省力的かつ実効性の高いコメ中無機と素濃度低減技術の開発	H30	R4	独法等委託	土壌肥料
土壌肥料	52	(H31-01)水田土壌中の可給態硫黄の実態と水稻生育改善対策	R1	R3	県単	土壌肥料
土壌肥料	53	(R2-10)革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	R2	R4	独法等委託	土壌肥料
土壌肥料	54	(R4-5)基肥施用から荒代掻きまでの日数が水稻生育に及ぼす影響の解明	R4	R7	県単	土壌肥料
<b>【生産環境研究部病理昆虫研究室】</b>						
病理昆虫	55	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	H9	R5	民間委託	作物/園芸
病理昆虫		(402-4000)生産環境研究部	H9	R5	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)園芸技術研究部	H16	R5	民間委託	果樹
病理昆虫	56	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	R5	令達	病理昆虫
病理昆虫	57	(H30-05)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫/果樹
病理昆虫		(H30-05-1000)りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係	H30	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-05-2000)りんご園地における下草管理による生育への影響	H30	R4	国庫補助	病理昆虫/果樹
病理昆虫	58	(H30-10)地域特産物における新防除資材の実用化	H30	R5	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-10-1000)(野菜における新防除資材の実用化)	H30	R5	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-10-2000)(花きにおける新防除資材の実用化)	H30	R5	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-10-3000)(果樹における新防除資材の実用化)	H30	R5	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H30-10-4000)(その他作物における新防除資材の実用化)	H30	R5	国庫補助	病理昆虫



主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【生産環境研究部病理昆虫研究室】(続き)</b>						
病理昆虫	59	(H30-28)トマトうどんこ病発生予測システムの実用化	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-1000)感染好適条件の解明	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫		(H30-28-2000)ほ場における発病予測機能の検証	H30	R4	独法等委託	病理昆虫
病理昆虫	60	(R2-5)ダイズ紫斑病におけるQol耐性菌の簡便で迅速な薬剤感受性検定手法及び防除体系の確立	R2	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	61	(R2-6)リンゴ褐斑病を中心とした春季の防除体系の再検討	R2	R4	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	62	(R3-20)殺虫剤を使用しない斑点米カメムシ総合防除体系の検討	R3	R5	国庫委託	病理昆虫/水田利用/生産システム
病理昆虫		(R3-20-1000)畦畔管理体系の確立	R3	R5	国庫委託	病理昆虫/水田利用
病理昆虫		(R3-20-2000)割れ粒に関する品種特性の把握	R3	R5	国庫委託	病理昆虫/生産システム
病理昆虫	63	(R4-1)農業だけに頼らない施設トマトの害虫防除技術の開発	R4	R6	国庫委託	病理昆虫
病理昆虫	64	(R4-8)斑点米カメムシ類の発生予測システムの実用化	R4	R8	独法等委託	病理昆虫
<b>【畜産研究所家畜育種研究室】</b>						
家畜育種	65	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	R10	令達	家畜育種
家畜育種	66	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	R10	令達	家畜育種
家畜育種	67	(H30-13)種雄牛選抜におけるゲノム育種価の実用化	H30	R4	令達	家畜育種/種山畜産
家畜育種	68	(H31-04)牛枝肉の画像解析による脂肪交雑形状評価方法の検証	R1	R4	令達	家畜育種
家畜育種	69	(H31-05)黒毛和種における分娩間隔短縮のための子宮回復の評価基準の作成と早期回復技術の確立	R1	R4	県単	家畜育種
家畜育種	70	(R2-2)周年出荷のための日本短角種長期肥育技術の確立	R2	R6	県単	家畜育種
家畜育種	71	(R2-3)肥育前期に混合飼料を活用した黒毛和種肥育期間短縮技術の確立	R2	R6	県単	家畜育種
家畜育種	72	(R3-13)母系素材鶏を改良した南部かしわの特性および長期飼育技術の確立	R3	R5	県単	家畜育種
家畜育種	73	(R4-4)県内パークシャー種豚群の産肉能力向上と可食肉量を増加させる蛋白質給与体系の確立	R4	R6	県単	家畜育種
家畜育種	74	(R4-9)ゲノム情報を活用した日本短角種集団における遺伝的多様性の評価と近交回避交配法の確立	R4	R6	独法等委託	家畜育種
<b>【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】</b>						
家畜飼養・飼料		(H16-22-5000)畜産研究所担当	H20	R7	民間委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	75	(H30-12)採草地におけるワルナスビ防除体系の確立	H30	R4	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	76	(H31-03)生体センサーを活用した乳用牛群管理モニタリングシステムの開発	R1	R4	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	77	(R3-14)ペレニアルライグラス晩生優良品種の特性確認	R3	R5	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	78	(R3-15)飼料用とうもろこし市販品種の特性比較	R3	R6	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	79	(R3-16)温暖化に対応した採草地管理	R3	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	80	(R3-24)除染草地と耕起困難草地における放射性セシウム吸収抑制のための維持管理技術の開発	R3	R7	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	81	(R4-2)乳用牛群検定データの解析による酪農の生産性向上要因の分析と活用	R4	R6	令達	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	82	(R4-3)繋留飼養の搾乳牛における効果的なTMR給与方法の確立	R4	R7	県単	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	83	(R4-10)オーチャードグラス優良品種の特性確認	R4	R7	独法等委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	84	(R4-11)多年生ライグラス類を利用した追播技術の確立	R4	R8	独法等委託	家畜飼養・飼料
<b>【畜産研究所外山畜産研究室】</b>						
外山畜産	85	(R2-7)放牧牛における準天頂衛星対応トラッキングサービスの応用	R2	R4	県単	外山畜産
外山畜産	86	(R3-17)ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模放牧地の効率的植生診断技術の確立	R3	R5	県単	外山畜産
外山畜産	87	(R3-18)日本短角種における自然交配時の分娩時期の推定	R3	R6	県単	外山畜産
<b>【畜産研究所種山畜産研究室】</b>						
種山畜産	88	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	89	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	R5	県単	種山畜産/家畜育種
種山畜産	90	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	R5	県単	種山畜産

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【県北農業研究所園芸研究室】</b>						
園芸(県北)		(R3-6-2000)露地栽培野菜における高精度直播栽培体系の適用可能品目の探索	R3	R5	令達	園芸
園芸(県北)	91	(R3-11)県北地域の施設きゅうり等に適した環境制御技術の開発	R3	R5	国庫委託	園芸
園芸(県北)		(R3-11-1000)県北地域に適した低コスト暖房技術の開発	R3	R5	国庫委託	園芸
園芸(県北)		(R3-11-2000)県北地域のきゅうり等栽培に適したCO2施用法の開発	R3	R5	国庫委託	園芸
園芸(県北)	92	(R3-21)抵抗性品種によるキャベツ根こぶ病対策の確立	R3	R5	令達	園芸
園芸(県北)		(R3-21-1000)既存の抵抗性寒玉系品種の特性評価	R3	R5	令達	園芸
園芸(県北)		(R3-21-2000)病原型判別と抵抗性春系品種の抵抗性評価	R4	R4	独法等委託	園芸
<b>【県北農業研究所作物研究室】</b>						
作物(県北)	93	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	H16	R5	令達	作物
作物(県北)	94	(H31-08)収量・品質に優れた雑穀新品種の育成	R1	R5	令達	作物
作物(県北)		(H31-08-1000)雑穀新品種・系統の育成	R1	R5	令達	作物
作物(県北)		(H31-08-2000)アワ栽培方法の確立	R2	R4	令達	作物
作物(県北)		(H31-08-3000)アワ現地適応性評価	R2	R4	令達	作物
作物(県北)	95	(R3-6)県北地域における自動操舵農機を活用した高精度播種・機械除草技術の確立	R3	R5	令達	作物/園芸
作物(県北)		(R3-6-1000)雑穀における高精度直播栽培体系の確立	R3	R5	令達	作物
作物(県北)	96	(R3-25)雑穀類対応コンバインの開発と収穫適応性の評価	R3	R6	独法等委託	作物

## (3) 令和5年度からの試験研究を要望された課題とその措置一覧

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置 区分
1	農産	1	全農いわて	大豆の単収向上に向けた技術対策	○生産基盤研究部水田利用研究室 企画管理部農業経営研究室	B,C
2	農産	2	農業普及技術課	環境保全型稲作に対応した省力的雑草管理技術の確立	○生産基盤研究部生産システム研究室	A3(R6),C
3	農産	3	NOSAI岩手胆江地域センター	露地ブルー育苗（倒壊ハウスを利用した）の普及	○生産基盤研究部生産システム研究室	B
4	農産	4	全農いわて	水稻栽培における登熟期の高温対策	○生産基盤研究部生産システム研究室	B,C
5	農産	5	全農いわて	ひとめぼれ特A奪還に向けた技術対策	○生産基盤研究部生産システム研究室	B,C
6	農産	6	農業農村指導士協会	プラスチックを使用しない緩効性肥料の早期実用化	○生産環境研究部土壌肥料研究室	B
7	園芸	1	農業農村指導士協会	かん水設備によるりんご果実の品質向上及び収量改善による所得向上	○園芸技術研究部果樹研究室	C
8	園芸	2	全農いわて	りんご品種はるかに生じる内部褐変等の原因解明と防止対策	○園芸技術研究部果樹研究室	B,C
9	園芸	3	一関農業改良普及センター	りんごにおける葉面散布資材による凍霜害軽減効果	○園芸技術研究部果樹研究室	B
10	園芸	4	農業普及技術課	スマート農業技術の導入を見据えたりんご台木JM7に代わる台木品種の選抜と省力技術の開発	○園芸技術研究部果樹研究室	A3(R6),B
11	園芸	5	農業普及技術課	岩手県におけるぶどう「紅伊豆」のロケット仕立て栽培法の確立	○園芸技術研究部果樹研究室	A2(R7)
12	園芸	6	農業農村指導士協会	産地を強化する県オリジナル青色切り花りんどう品種の育成	○園芸技術研究部花き研究室	B
13	園芸	7	農業農村指導士協会	新たな需要・価値を創出する県オリジナルりんどう品種の育成	○園芸技術研究部花き研究室	B
14	園芸	8	農業農村指導士協会	トマトの高温期における着果安定技術	○園芸技術研究部野菜研究室	C,D
15	園芸	9	全農いわて	冷凍加工に適合する秋冬ブロッコリーの品種選定	○園芸技術研究部野菜研究室	A1,B
16	園芸	10	農業農村指導士協会	施設園芸における有機質資材による化学肥料の代替技術	○生産環境研究部土壌肥料研究室	C
17	園芸	11	八幡平農業改良普及センター	ホウレンソウケナガコナダニの効果的な防除体系の確立	○生産環境研究部病理昆虫研究室 県北農業研究所園芸研究室	C,D
18	畜産	1	全農いわて	子実用トウモロコシの栽培体系の確立	○畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 生産基盤研究部水田利用研究室	C

## 5 共同研究等の推進

### (1) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	農研機構(*)	R2~6	リンゴでの急性枯死症状の発生実態と対策技術の開発	果樹、病理昆虫
先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷技術の確立	農研機構(*)	R3~7	キュウリの局所炭酸ガス施用技術の開発	野菜
ゲノム編集技術を活用した農作物品種・育種素材の開発	(公財)岩手生物工学研究センター	R元~5	(1)リンドウにおけるゲノム編集の高度化技術の開発と利用 (2)リンドウ新規育種素材の開発と利用	花き
省力的かつ現場で使い易いコムの無機ヒ素低減技術の開発	農研機構(*)	H30~R4	水管理・資材施用によるヒ素・カドミウムの同時低減のための現場実行性の高い栽培管理技術の開発	土壌肥料
省力的なIPMを実現する病害虫予報技術の開発	農研機構(*)	R4~8	発生要因の解析と予測モデルの検証(イネミズ、ドロオイ、アカスジ、アカヒゲ)	病理昆虫
特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証委託事業	農研機構(*)	R3~7	草地における放射性セシウム吸収抑制技術の開発・実証と未除草地利用可否判断基準の策定	家畜飼養・飼料

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

### (2) イノベーション創出強化研究推進事業(委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
儲かる業務用米生産を実現する無コーティング種子湛水直播栽培技術の確立	農研機構(*)	R2~4	業務用米の無コーティング直播栽培による生産拡大に向けた、安定栽培技術の確立、適用地域の拡大、折りたたみ式ハローに対応した高能率な大型播種機の開発	生産システム
精緻なゲノム改良による低コスト生産可能な超多収良食味水稻品種の育成	(公財)岩手生物工学研究センター	R3~7	これまでに得られたゲノム情報と作出した育種素材を活用し、葉形態に関する遺伝子領域を集積させた系統の個葉光合成および乾物生産能力を明らかにするとともに、不良形質の発現を回避しながら有用形質関連遺伝子を集積する精緻なゲノム育種により迅速な品種育成と栽培特性把握を行う。	作物育種
チルド米飯ニーズと加工製造課題に即応する超多収低アミノ酸米系統の早期育成	岩手県	R2~4	(1)中食市場をけん引するコンビニエンスストア向けチルド米飯用の超多収低アミノ酸米系統の育成 (2)米飯の加工適性の向上や既存のコールドチェーンシステムへの適合性向上を目指し、中食市場における製造効率化と食品ロスの低減に寄与する技術の開発	作物育種
省力・大規模化と収穫・出荷期間の大幅拡大を可能とするタマネギセット栽培体系の構築	農研機構(*)	R3~6	セット春植および秋植栽培に適する品種・定植時期等の検討	野菜

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
中性園芸作物リンドウの開花制御基盤技術の開発	(公財)岩手生物工学研究センター	R2~4	りんどう生産上の大きな課題である需要期に合わせた供給の確実性を向上させるため、中性植物であるリンドウの開花制御技術の確立を目指す。	花き
施設園芸の主要病害発生予測AIによる総合的病害予測・防除支援ソフトウェア開発	公立大学法人秋田県立大学	H30~R4	トマトうどんこ病のほ場での実証	病理昆虫
革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発	農研機構(*)	R2~4	(1) AI搭載型土壌調査支援アプリ「e-壤図PRO」の開発 (2) 土壌温度・水分モデルの開発と見える化 (3) 土壌窒素動態モデルの開発と見える化	土壌肥料
越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発	農研機構(*)	R4~8	東北北部内陸部での採草利用の「草地メンテナンス」技術実証栽培を行うために、所内の経年採草地に、試験区を設置し、初期生育を調査する。	家畜飼養・飼料
キャベツの根こぶ病抵抗性品種開発のためのゲノム育種基盤の整備	国立大学法人岩手大学	R4	産地の発病圃場から栽培履歴、発病組織の収集、病原型の判別を行う。	県北園芸
雑穀需要に応える短稈・多収アワ品種の育成と機械栽培体系の確立	岩手県	R元~4	(1) アワ品種の育成 (2) アワ品種の多収栽培法と機械栽培体系の確立	県北作物

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

### (3) 公設試等連携可能性調査(県ふるさと振興部 10/10委託)

課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
ゲノム情報から解き明かす水稻品種「銀河のしずく」の優れた特性	(公財)岩手生物工学研究センター	R4	「銀河のしずく」が持つ多くの優良特性を利用した新品種開発を進めるため、優良特性の原因遺伝子領域の解明に取り組む。	作物育種
持続的な雑穀生産に向けた病害抵抗性遺伝子の同定と抵抗性遺伝子保有系統の探索	(公財)岩手生物工学研究センター	R4	あわにおけるいもち病抵抗性遺伝子本体を同定し、育種に利用可能な精度の高いDNAマーカーを開発する。	県北作物

### (4) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
スマート農業産地形成実証	農研機構(*)	R4~5	ICT利用による東北地域における畑作物(大豆・小麦)収量向上サービスの実証・実装	農業経営
スマート農業技術活用産地支援	テラスマイル株式会社	R4~5	・産地支援手引書の作成 ・データを活用した経営・技術支援	農業経営
受託研究	農研機構(*)	R2~6	耐病性に優れた府県向け高品質安定多収小麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

事業・課題名	代表機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	農研機構(*)	R2~6	耐病性に優れ安定多収で、高品質で加工適性に優れる精麦用大麦・裸麦品種育成に向けた有望系統の開発	水田利用
受託研究	農研機構(*)	R4	24時間稼働可能なコンバインの開発に関する研究	生産システム
受託研究	農研機構(*)	R4	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹
戦略的スマート農業技術等の開発・改良	農研機構(*)	R4~6	夏秋いちご「夏のしずく」による夏秋期の安定生産技術・病害虫防除技術確立	南部園芸
農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	東北農政局	H27~	農地管理実態調査 ・定点調査:水田4、普通畑11、草地9 ・基準点調査:水田、普通畑	土壌肥料
受託研究	農研機構(*)	R3~5	黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発	家畜育種
受託研究	農研機構(*)	R3~5	黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発	家畜育種
受託研究	農研機構(*)	R3~5	雑穀類対応コンバインの開発	県北作物

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

#### (5) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
全国農業システム化研究会実証調査	(一社)全国農業改良普及支援協会	アグリロボ田植機(無人仕様)での鉄コーティング直播播種作業による省力・コスト低減効果の検証	生産システム
令和4年度稲民間育成品種評価試験	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会	民間において育成された稲の品種に関する評価試験、育成品種に関する特性及び生産力等の解明	作物育種
野菜新品種系統委託試験	(一社)日本種苗協会	岩手県におけるタマネギの新品種・系統の生育適正、斉一性等の比較検討	野菜
環境保全を配慮した生産技術の評価・確立	(公社)農林水産・食品産業技術振興協会(新稲作研究会)	「岩手県の水稲栽培におけるリモートセンシング結果を用いた生育診断技術の確立	土壌肥料
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病害虫の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
プログラムマネージャー(PM)の育成・活躍推進プログラム	国立研究開発法人科学技術振興機構	製鋼スラグ活用によるトマト青枯病耐病効果メカニズム解明及び製鋼スラグ肥料普及プログラム推進	病理昆虫
日本短角種高品質赤肉生産開発事業	国立大学法人東北大学(JRA事業)	SNP情報を利用した日本短角種の選抜手法の確立	家畜育種

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
ゲノム情報を活用した日本短角種集団における遺伝的多様性の評価と近交回避交配法の確立	国立大学法人 東北大学 (JRA事業)	産地間の遺伝的関連性と遺伝的多様性の評価。近交回避のための交配法の確立	家畜育種
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	農薬及び植物調節剤等の効果判定	病理昆虫、水田利用、生産システム、果樹、野菜、県北作物、県北園芸
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、小麦、大豆、りんご、トマト、レタス、タマネギ(春まき)、キャベツ、オーチャードグラス	水田利用、生産システム、果樹、野菜、土壌肥料、県北園芸、家畜飼養・飼料

#### (6) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物育種
重イオンビーム照射によるブルーベリー変異体獲得に関する研究 ※大和造園土木株式会社との3者契約	生物資源研究部	H29～ R4	ブルーベリーへの重粒子線照射を行って、生物影響と突然変異誘起率の検討を行う。至適条件を決定後、有用変異系統の作出を試みる。	果樹
リンドウの新品種開発支援・促進技術の開発 リンドウ等の新規有用遺伝資源の開発	園芸資源研究部	R元～5	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 安定栽培に寄与する情報として生理・生態の解明 重イオンビームを利用した花色・花形・開花期・耐病性等の有用形質に関わる新規育種素材の開発	花き
現場ニーズに対応した即応的 植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部	R元～5	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)の感染実験系の確立と耐病性研究への利用	病理昆虫
雑穀における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	R元～5	ゲノム解析技術をアワ、キビ、タカキビ、ヒエなどイネ科雑穀に適用し、農業上重要形質に関わる有用遺伝子を同定し、その機能を解明する。	県北作物

#### (7) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹

#### (8) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)

開催月日	場所	内容
R4.9.21	岩手大学	「農場マネジメントと飼養衛生管理」
R5.2.20	岩手大学	「令和4年度 成果発表会およびJRA畜産振興事業にかかるBLV研修会」

### (9) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
生物遺伝資源交換に関する研究協定	農研機構(*)	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	農研機構(*)	H27～ R4	「東北195号」を縞萎縮病抵抗性遺伝資源とし、「ナンブコムギ」を連続戻し交配することにより、「ナンブコムギ」と同等の品質で縞萎縮病抵抗性を有する系統を育成する。	水田利用
水稲いもち病圃場抵抗性検定の東北地域向け基準品種の追加策定	農研機構(*)、青森県産業技術研究センター農林総合研究所(**)、宮城県古川農業試験場、秋田県農業試験場、山形県、福島県	R3～5	今後の稲いもち病抵抗性評価で正確性を期すため、未だ基準品種が策定されていない真性抵抗性遺伝子型「 <i>Pii</i> 」「 <i>Pik</i> 」「 <i>Pib</i> 」等に対応する基準品種の追加策定を行う。	作物育種
日本ワインのテロワールの解明	日本ワイナリー協会(独立行政法人酒類総合研究所)	R3～5	岩手県内のワイン用ブドウの生育、及び熟期の果実成分に関する調査	果樹
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	農研機構(*)、宮城県農業・園芸総合研究所	R元～8	岩手県および宮城県における地域適応性等に基づく系統選抜を実施し、寒冷地において安定生産を可能とするイチゴ品種の育成を推進する。	南部園芸
ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模放牧地の効率的植生診断技術の確立	岩手大学	R3～5	ドローンを活用したリモートセンシングによる大規模放牧地の効率的植生診断技術の確立	外山畜産

\* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

\*\* 地方独立行政法人

### (10) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	R4.6.27	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	令和3年度活動報告および4年度事業計画について	研究企画室
リエゾンIマッチングフェア	R4.11.14	盛岡市 (盛岡市産学官連携研究センター)	最近の研究シーズ18件のプレゼンテーション	研究企画室

※1 令和4年度リエゾンIマッチングフェアでプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
低コストRTK-GNSSシステムの農業分野への応用	生産システム



## 6 現地試験の実施

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
水稲奨励品種決定現地調査 (粳)	雫石町	長山	生産基盤研究部 水田利用
(粳)	紫波町	大巻	
(粳)	岩手町	土川	
(粳)	花巻市	鍋倉	
(粳)	西和賀町	沢内前郷	
(粳)	奥州市	江刺稻瀬	
(粳)	一関市	菽荘	
(粳)	大船渡市	日頃市	
(粳)	遠野市	上郷町	
(粳)	山田町	豊間根	
(粳)	洋野町	種市	
(粳)	二戸市	安比	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺田原 玉山	
地下かんがい及びほ場水管理システムの利用技術の確立	花巻市 花巻市	石鳥谷町新堀 宮野目	
岩手県における水稲無コーティング種子の代かき同時浅層土中播種栽培技術の実証	矢巾町		生産基盤研究部 生産システム
りんご育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 滝沢市 盛岡市 奥州市 一関市 一関市	金田一 内の沢 元村 黒川 江刺米里 花泉町金沢 舞川	園芸技術研究部 果樹
各地域に適したりんご早期成園化技術の実証	紫波町	長岡	
岩手ワインヒルズ推進事業に係る現地品種比較試験	陸前高田市 野田村	米崎町 根井	
「農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究現場ニーズプロジェクト」果樹等の幼木期における安定生産技術の開発	奥州市	江刺鴨沢	
りんごのJM台木利用樹における樹勢衰弱症状対策技術の現地実証	花巻市	石鳥谷町滝田	
ブルーベリー簡易剪定法の現地実証	軽米町	観音林	

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
「施設栽培における効率的な炭酸ガス施用技術の開発」 (局所施用システムの現地実証)	盛岡市 八幡平市 奥州市 一関市 宮古市 大槌町	猪去 松尾 胆沢 大東 田鎖 大槌	園芸技術研究部 野菜
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (切り花向け有望系統の現地適応性試験)	奥州市 一戸町	衣川 小友	園芸技術研究部 花き
「産地を強化するりんどうの品種育成」 (鉢花向け有望系統の現地適応性試験)	北上市	岩崎	
「革新的な土壌データの取得方法およびデータ高付加価値化手法の開発」	八幡平 紫波町	西根 草刈	生産環境研究部 土壌肥料
「岩手県南部における耐倒伏性の強い小麦の品種特性を生かした多収肥培管理技術の確立」	一関市	舞川	
新農薬の効果試験と防除指針作成 ①ねぎ小菌核病 ②りんどう黒斑病	①花巻市 ②一関市 ③八幡平市	①新堀 ②川崎 ③平笠	生産環境研究部 病理昆虫
省力的IPMを実現する病害虫予報技術の開発 (現地調査)	盛岡市	好摩	
殺虫剤だけに頼らない斑点米カメムシ総合防除体系の検討 (現地調査)	雫石町	①御明神 ②晴山	
JM7台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明 (現地調査)	①奥州市 ②一関市	①江刺 ②藤ノ沢	(園芸技術研究部 果樹)
りんご褐斑病を中心とした春季の防除体系の再検討 (現地調査)	盛岡市	東中野	
りんご園地における下草管理とカブリダニ類等土着天敵の関係 (現地調査)	花巻市	東和	
ホップ生産における病害虫防除に関する包括的研究(気象変動を考慮したハダニ類防除技術の検討)	①奥州市 ②遠野市 ③軽米町	①江刺 ②上郷 ③晴山	(県北農業研究所 園芸)
ペレニアルライグラス晩生優良品種の特性確認(追播技術の実証)	滝沢市	相の沢	畜産研究所 家畜飼養・飼料
黒毛和種育成牛のTMR給与技術の現場普及	八幡平市	寺田	畜産研究所 外山畜産
県北地域のきゅうり等栽培に適したCO <sub>2</sub> 施用法の開発	二戸市	舌崎	県北農業研究所 園芸
キャベツ根こぶ病抵抗性品種及び罹病性品種の発病程度の比較	八幡平市	細野	
水稻奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	二戸市 久慈市	安比 宿戸	県北農業研究所 作物
収量・品質に優れた雑穀新品種の育成	軽米町 花巻市	上館 諏訪	
大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査(東北190号)	軽米町	上館	
雑穀類対応コンバインの開発	軽米町 青森県	長倉 八戸市南郷	

### Ⅲ 試験研究の成果



### Ⅲ 試験研究の成果

#### 1 試験研究成果

##### (1)令和4年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理		7			7
2 生産工学	1	1			2
3 水稲	1	2	4	2	9
4 畑作物	1	1			2
5 特産作物	1				1
6 果樹	2	1			3
7 野菜	2	8			10
8 花き	1	1	2	2	6
9 土壌作物栄養		3		1	4
10 病害虫制御	2	4		1	7
11 乳用牛				1	1
12 肉用牛	1	2	5	5	13
13 中小家畜(豚・鶏)					0
14 草地・飼料作物		2		1	3
15 畜産環境					0
[ 計 ]	12	32	11	13	68

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和4年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
生産工学	R4-普-01	活用しよう！農業分野で利用する低コストRTK-GNSS導入マニュアル	生産システム
水稻	R4-普-02	岩手県の水稲主要3品種における刈取時期と品質・食味との関係	生産システム
畑作物	R4-普-03	縞萎縮病に強く多収で、製麺適性に優れる日本麺用小麦品種「ナンブキラリ」	水田利用
特産作物	R4-普-04	短稈・多収の糯あわ新品種「アワ岩手糯11号」の育成と品種特性を活かした栽培法	県北作物
果樹	R4-普-05	着色良好で果実品質に優れる中生のりんご品種「錦秋」	果樹
果樹	R4-普-06	果汁が多く食味良好な早生の西洋なし品種「ジェイドスイート」	果樹
病害虫制御	R4-普-07	リンゴ黒星病とモニリア病を同時防除できる重点防除時期「花蕾着色期」	病理昆虫
野菜	R4-普-08	収量が多く、収穫・調製労力が軽減可能な促成栽培用いちご品種「恋みのり」	南部園芸
野菜	R4-普-09	夏秋どり栽培向け四季成り性いちご品種「夏のしずく」	南部園芸
花き	R4-普-10	りんどう早生品種「いわて夏のあい」における千鳥疎植栽培の軽労・増収効果	花き
病害虫制御	R4-普-11	リンドウ黒斑病の発生生態と重点防除時期	病理昆虫
肉用牛	R4-普-12	黒毛和種県産種雄牛「百合花智(ゆりはなとも)」、「菊百合福(きくゆりふく)」、「星乃栄(ほしのさかえ)」の作出	種山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	R4-指-01	集落営農法人の人材確保・育成における実態と課題	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-02	若手世代の集落営農法人への従事可能性と求める条件	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-03	集落営農法人における人材確保・定着に向けたポイント	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-04	農林業センサス個票データを用いた「地域農業分析支援シート」	農業経営
生産工学	R4-指-05	根出し無コーティング種子を利用した代かき同時浅層土中播種栽培の特徴と管理のポイント	生産システム
水稻	R4-指-06	令和4年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稻	R4-指-07	ほ場でも容易に実施できる無人航空機(ドローン)を利用した水稻リモートセンシング技術	生産システム
土壌作物栄養	R4-指-08	県内水田における灌漑水からの硫黄供給量	土壌肥料
病害虫制御	R4-指-09	クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴	病理昆虫
畑作物	R4-指-10	小麦種子検査の発芽試験のための休眠打破方法	水田利用

分野	成果番号	成果名	担当研究室
病害虫制御	R4-指-11	りんご園における土着カブリダニ類保護のための下草管理が樹体生育および果実品質等へ及ぼす影響	果樹
果樹	R4-指-12	ぶどう「サニールージュ」の早期ジベレリン処理技術における適正着房数	果樹
病害虫制御	R4-指-13	りんご幼木における急性衰弱症の診断ポイントと改植時での当面の対策	病理昆虫
農業構造・経営管理	R4-指-14	水田転換畑を活用した野菜作導入・検討のための参考資料	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-15	先進産地の取組実態からみる野菜産地支援のポイント	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-16	地域農業分析支援シートを用いた野菜産地の構造分析手法	農業経営
野菜	R4-指-17	雨よけ夏秋栽培ピーマンでの低コスト環境制御技術導入による増収効果	野菜
野菜	R4-指-18	ピーマンの収穫初期（5～6月）における、収穫後に発生する尻腐れ果の混入低減対策	野菜
野菜	R4-指-19	秋まきたまねぎ栽培における基肥窒素量減肥の可能性と追肥開始時期	野菜
野菜	R4-指-20	県南部の秋まきたまねぎ栽培に適する品種と定植時期	野菜
野菜	R4-指-21	秋まきたまねぎ栽培の1球重推定が可能となる生育指標	野菜
野菜	R4-指-22	秋まきたまねぎ栽培における畦間かん水の効果	野菜
野菜	R4-指-23	いちご低コスト閉鎖型高設栽培システムにおける培地無加温条件に対応するための改修方法	南部園芸
土壌作物栄養	R4-指-24	春まきたまねぎ栽培における窒素追肥の最適時期	土壌肥料
土壌作物栄養	R4-指-25	水田転換畑での春まきたまねぎ栽培におけるリン酸施肥効果	土壌肥料
病害虫制御	R4-指-26	転炉スラグを用いた土壌pH改良によるピーマン青枯病の被害軽減	病理昆虫
野菜	R4-指-27	施設きゅうりににおける小型光合成促進機の導入効果	県北園芸
花き	R4-指-28	りんどう千鳥疎植栽培における株の肥大効果	花き
肉用牛	R4-指-29	黒毛和種における分娩間隔短縮のための寒冷期飼料給与プログラム	家畜育種
肉用牛	R4-指-30	黒毛和種における繁殖成績向上のための分娩後の子宮環境回復指標と早期回復技術	家畜育種
草地・飼料作物	R4-指-31	高温期を回避したオーチャードグラスの刈取管理法	家畜飼養・飼料
草地・飼料作物	R4-指-32	放牧地の移動距離の増加を目安とした転牧指標	外山畜産

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	R4-行-01	令和4年度における水稲奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果	水田利用
水稲	R4-行-02	令和5年度水稲奨励品種決定調査 本調査・現地調査に新たに供試する系統	水田利用
水稲	R4-行-03	令和5年度水稲奨励品種決定予備調査に新たに供試する「岩手151号」、「岩手152号」	作物育種
水稲	R4-行-04	業務用チルド米飯用途向け新規系統「岩手153号」、「岩手154号」、「岩手155号」、「岩手156号」	作物育種
花き	R4-行-05	令和4年度りんどう奨励品種決定試験・現地適応性試験結果	花き
花き	R4-行-06	令和5年度りんどう奨励品種決定試験・現地適応性試験に新たに供試する系統	花き
肉用牛	R4-行-07	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	R4-行-08	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	R4-行-09	岩手県内黒毛和種集団における脂肪交雑の細かさ(新細かさ指数)に係る遺伝的パラメーターおよび育種価の推定	家畜育種
肉用牛	R4-行-10	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	R4-行-11	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	R4-研-01	人工衛星を利用したリモートセンシングシステム「ザルビオ®」による水稲生育把握の可能性	生産システム
水稲	R4-研-02	水稲栽培における中干しが玄米品質に及ぼす影響	生産システム
土壌作物栄養	R4-研-03	水稲の速効性肥料利用追肥体系における基肥施用から荒代かきまでの日数が水稲生育に及ぼす影響	土壌肥料
病害虫制御	R4-研-04	県北地域で発生しているキャベツ根こぶ病菌の病原型判別	県北園芸
花き	R4-研-05	りんどう未受精胚珠培養の改良	花き
花き	R4-研-06	りんどう極早生品種「いわて夢あおい」の全茎収穫栽培法における開花期前進効果の解析	花き
肉用牛	R4-研-07	ふすま給与が日本短角種牛肉嗜好性へ及ぼす影響	家畜育種
肉用牛	R4-研-08	岩手県内黒毛和種集団におけるウチモモの脂肪交雑割合と目視評価の関係及びモモ抜けの遺伝的パラメーターの推定	家畜育種
肉用牛	R4-研-09	黒毛和種去勢肥育牛における良好な発育を確保するための肥育前期飼養管理手法の検討	家畜育種
草地・飼料作物	R4-研-10	採草地における耕起や除草剤散布に対するワルナスビの生態反応	家畜飼養・飼料
乳用牛	R4-研-11	反芻行動のモニタリングによる乳用経産牛の周産期疾病早期予測の可能性	家畜飼養・飼料



分野	成果番号	成果名	担当研究室
肉用牛	R4-研-12	加速度、位置情報をもとにした日本短角種放牧雌牛の交配日推定	外山畜産
肉用牛	R4-研-13	日本短角種妊娠牛における乳汁中及び血清中PAG（妊娠関連糖蛋白：Pregnancy Associated Glycoprotein）濃度の推移と分娩日予測	外山畜産

## 2 追跡評価

○令和4年度追跡評価の実施結果

### (1) 評価対象

令和元年度<sup>\*</sup>公表の普及区分7成果及び指導区分30成果

<sup>\*</sup>新品种の評価等の理由により、外部評価には令和元年度以前の成果も含まれる。

### (2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者
内部	共通	各部・所
外部	普及	生産者・JA、普及センター
	指導	普及センター

### (3) 評価結果

#### ア 内部評価

令和元年度に公表した37成果の評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H21～30平均
普及	A	9	14	8	9	10	10	6	8	6	5	7	8.5
	B	2	1	1		2	1						1.4
	C		1			1							1.0
	D												
指導	A	31	33	26	21	35	32	18	36	41	37	30	31.0
	B	2	1	2		1	1	1					1.3
	C	2	1										1.5
	D												

A:現在でも有効

B:既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C:後年度の成果に反映

D:無効(Bに含まれないもの)

#### イ 外部評価

##### (ア) 成果区分「普及」

###### a 生産者・JA評価

- ① 活用状況は、「現在も活用している」が64.7%、「以前活用していたが、今は活用していない」が35.3%。活用していない主な理由として、すでに成果の内容を理解しているためとの回答があった。
- ② 満足度は、「満足」が17.6%、「おおむね満足」が52.9%、「あまり満足できない」が23.5%、「その他」が6.3%。「あまり満足できない」の理由として、成果に記載通りにならなかったというものがあった。

###### b 普及センター評価

- ① 経営体での活用は、「よく活用されている・活用されている」が87.5%、「あまり活用されていない・活用されていない」が12.5%。
- ② 活用されていない理由として、成果の内容が現地の実情に合わないとの回答があった。

##### (イ) 成果区分「指導」

###### a 普及センター評価

- ① 指導上の参考は、「大いに参考になった・参考になった」が88.6%、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が11.4%
- ② 指導効果は、「大いに得られた・得られた」が70.9%、「あまり得られなかった・得られなかった」が29.1%

③ 指導効果が得られなかった理由として、成果の内容が現地の実情に合わないため、活用場面がなかったとの回答が多かった

表 追跡評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者・JA	80.9%	成果の活用	活用している 活用していない	64.7% 35.3%
			成果の満足度	満足 概ね満足 あまり満足できない その他	17.6% 52.9% 23.5% 6.3%
	普及セ	100%	経営体での活用	よく活用されている 活用されている あまり活用されていない 活用されていない	62.5% 25.0% 8.3% 4.2%
指導	普及セ	100%	指導上の参考	大いに参考になった 参考になった あまり参考にならなかった 参考にならなかった	38.0% 50.6% 10.1% 1.2%
			指導効果	大いに得られた 得られた あまり得られなかった 得られなかった	29.1% 41.8% 21.5% 7.6%

### 3 東北農業研究成果

< 研究成果情報 >

#### (1) 研究成果数

推進部会名	野菜花き	計
研究成果数	1	1

#### (2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
野菜花き	一重咲き鉢花向け赤紫色リンドウ新品種「Bzc-1 mut1(仮称)」の育成	研究	花き

## IV 試験研究成果の発表



## IV 試験研究成果の発表

### 1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
企画管理部			
経営R4-No.1	地域農業分析支援シートを用いた野菜産地の構造分析手法	R5.3	41
経営R4-No.2	令和4年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	R5.3	75
生産基盤研究部			
基盤 R4-No.1	令和3年度 試験研究成績書(生産システム研究室)	R4.10	105
基盤 R4-No.2	令和3年度 生産基盤研究部 水田利用研究室 試験成績書	R4.10	137
園芸技術研究部			
園芸 R4-No.1	令和4年度 野菜関係試験成績書(野菜研究室)	R5.3	300
	岩手県育成 鉢花向け八重咲きりんどう 「いわて八重の輝きブルー」栽培マニュアル Ver.2.0	R5.3	18
園芸 R4-No.1	令和4年度 試験研究成績書(南部園芸研究室)	R5.3	52
生産環境研究部			
環境 R4-No.1	令和2年度 試験成績書(土壌肥料研究室)	R5.3	171
病害虫防除部			
	令和4年度 植物防疫事業年報	R5.3	220
畜産研究所			
畜産 R4 No.1	令和4年度 試験成績書(畜産研究所)	R5.3	130
県北農業研究所			
県北 R4 No.1	令和3年度 試験研究成績書(園芸研究室)	R4.5	123

## 2 研究レポート(令和4年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
1063	活用しよう！農業分野で利用する低コストRTK-GNSS導入マニュアル	生産システム
1064	岩手県の水稲主要3品種における刈取時期と品質・食味との関係	生産システム
1065	集落営農法人における人材確保・育成の実態と課題	農業経営
1066	若手世代の集落営農法人への従事可能性と求める条件	農業経営
1067	集落営農法人における人材確保・定着に向けたポイント	農業経営
1068	グラフで見る「地域農業分析支援シート」	農業経営
1069	根出し無コーティング種子を利用した代かき同時浅層土中播種栽培の特徴と管理のポイント	生産システム
1070	令和4年岩手県産水稲の作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
1071	ほ場でも容易に実施できる無人航空機(ドローン)を利用した水稲リモートセンシング技術	生産システム
1072	県内水田における灌漑水からの硫黄供給量	土壌肥料
1073	クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴	病理昆虫
1074	縞萎縮病に強く、多収で良質な日本麺用小麦品種「ナンブキラリ」	水田利用
1075	短稈で多収の黄色い糯あわ品種「アワ岩手糯11号」	作物(県北)
1076	小麦種子検査の発芽試験のための種子休眠打破方法	水田利用
1077	着色良好で果実品質に優れる中生のりんご品種「錦秋」	果樹
1078	果汁が多く食味良好な早生の西洋なし品種「ジェイドスイート」	果樹
1079	りんご黒星病とモニリア病を同時防除できる重点防除時期「花蕾着色期」	病理昆虫
1080	りんご園における土着カブリダニ類保護のための下草管理が樹体生育および果実品質等へ及ぼす影響	果樹
1081	ぶどう「サニールージュ」の早期ジベレリン処理技術における適正着房数	果樹
1082	りんご幼木における急性衰弱症の診断ポイントと改植時での当面の対策	病理昆虫
1083	多収で省力的な促成栽培用いちご品種「恋みのり」	南部園芸
1084	夏秋どり栽培向け四季成り性いちご品種「夏のしずく」	南部園芸
1085	水田転換畑を活用した野菜作導入・検討のための参考資料	農業経営
1086	先進産地の取組実態からみる野菜産地支援のポイント	農業経営
1087	地域農業分析支援シートを用いた野菜産地の構造分析手法	農業経営
1088	夏秋ピーマンの環境制御技術導入効果	野菜



No.	試験研究成果名	担当研究室
1089	ピーマンの収穫初期(5~6月)における尻腐れ果の混入低減対策	野菜
1090	秋まきたまねぎ栽培における基肥窒素量減肥の可能性と追肥開始時期	野菜
1091	県南部の秋まきたまねぎ栽培に適する品種と定植時期	野菜
1092	秋まきたまねぎ栽培の1球重推定が可能となる生育指標	野菜
1093	秋まきたまねぎ栽培における畦間かん水の効果	野菜
1094	いちごの低コスト閉鎖型高設栽培システムにおける培地無加温条件に対応するための改修方法	南部園芸
1095	春まきたまねぎ栽培における窒素追肥の最適時期	土壌肥料
1096	水田転換畑での春まきたまねぎ栽培におけるリン酸施肥効果	土壌肥料
1097	転炉スラグを用いた土壌pH改良によるピーマン青枯病の被害軽減	病理昆虫
1098	施設きゅうりににおける小型光合成促進機の導入効果	園芸(県北)
1099	りんどう早生品種「いわて夏のあい」における千鳥疎植栽培の軽労・増収効果	花き
1100	リンドウ黒斑病の発生生態と重点防除時期	病理昆虫
1101	りんどう千鳥疎植栽培における株の肥大効果	花き
1102	黒毛和種県産種雄牛「百合花智(ゆりはなとも)」「菊百合福(きくゆりふく)」「星乃栄(ほしのさかえ)」の作出	種山畜産
1103	黒毛和種における分娩間隔短縮のための寒冷期飼料給与プログラム	家畜育種
1104	黒毛和種における分娩後の子宮環境回復指標と早期回復技術	家畜育種
1105	高温期を回避したオーチャードグラスの刈取管理法	家畜飼養・飼料
1106	放牧地の移動距離の増加を目安とした転牧指標	外山畜産

### 3 学会等研究報告

#### (1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

##### 東北農業研究

○藤澤真澄・前山 薫 集落営農法人における人材確保・育成上の課題と対応方向 東北農業研究 75:89-90
○田村和彦・吉田 宏 岩手県的小麦奨励品種における種子休眠の品種間差 東北農業研究 75:29-30
伊藤信二・○山口貴之 無人航空機(ドローン)で撮影した可視光画像から得られた植生指数(VARI値)による水稻栄養診断の可能性 東北農業研究 75:35-36
○佐々木達史・横田 啓 春まきタマネギ栽培における地干し乾燥時の収穫開始の目安 東北農業研究 75:65-66
○横田紀雄 無償衛星データによる水稻の田植え・稲刈りの進捗判断の可能性の検討 東北農業研究 75:15-16
○桐山直盛・高橋良学1・伊藤美穂2 可給態硫黄含量が低い土壌における水稻の生育の収量と硫黄資材の施用効果 (1 農業振興課・2 岩手県生物工学研究所) 東北農業研究 75:23-24
○尾張利行 測位情報から算出した放牧牛の散らばり及び移動距離と牧草草丈の関係 東北農業研究 75:43-44
○齋藤浩和 岩手県の乳用牛群検定成績における乾乳日数と産乳・繁殖成績の関係 東北農業研究 75:47-48

##### 北日本病害虫研究会報

岩館康哉・西村穂花・砂子田慎一郎1・藤崎恒喜2・三澤知央3 (1 八幡平普及セ(岩手)・2 岩手生工研セ・3 北海道総研法人本部) <i>Rhizoctonia solani</i> AG-2-1 およびAG-2-2IV によるキャベツ苗立枯病 北日本病害虫研究会報 73:26-31
西村穂花・岩館康哉・佐藤陽菜1 (1 久慈普及セ) マンゼブ水和剤の使用時期・回数がダイズ紫斑病の防除効果に及ぼす影響 北日本病害虫研究会報 73:43-47
岩館康哉 ナス褐色斑点病および果実小陥没症に対する抵抗性遺伝資源の探索 北日本病害虫研究会報 73:102-107
吉田雅紀・大友令史1・柄澤真梨歩1 (1 大船渡普及セ) 岩手県沿岸におけるクモヘリカメムシの発生状況 北日本病害虫研究会報 73:126-130
加藤真城 リンゴ幼木におけるミヤコカブリダニ製剤少量放飼によるハダニ防除の試み 北日本病害虫研究会報 73:147-152
羽田 厚 SSRマーカーによるリンゴ黒星病菌菌圃場分離集団の遺伝的分化の解析 北日本病害虫研究会報 73:70-75

## (2)学会発表(発表要旨)

東北農業経済学会新潟大会(2022.8.27～28開催・新潟食料農業大学(オンライン))

○小向昌啓・寺谷 諒1・安江紘幸2

(1 農研機構本部・2 農研機構東北農業研究センター)

機械学習による農業経営体数予測

—農林業センサスの調査個票と岩手県八幡平市の農地情報を用いた分析—

第58回東北農業経済学会新潟大会報告要旨集

園芸学会(令和4年度秋季大会:2022.9.7～13開催 山形大学・オンライン開催)

○山口貴之・千葉慎吾1・本多英視2

(1 釜石鉱山(株)、2 日鉄鉱業(株))

品種の違いが低温暗黒条件下におけるホワイトアスパラガス栽培に及ぼす影響

2022.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 21(別2): 176.

○横田 啓・佐々木達史・熊野貴宏1・木下貴文2

(1 ベジージュアパン(株)・2 農研機構東北農研)

タマネギセット栽培におけるセット球径が生育と収量に及ぼす影響

2022.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 21(別2): P177.

園芸学会(令和5年度春季大会:2023.3.15～22開催 滋賀県 龍谷大学・オンライン開催)

○横田 啓・佐々木達史

岩手県の秋まきタマネギ栽培における1球重推定のための生育指標の検討

2023.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 22(別1): 166.

○小澤 傑・内藤善美

リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」の全茎収穫栽培法における翌年の開花期前進効果の解析

2023.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 22(別1): 201.

第76回北日本病害虫研究発表会(2022.2.21～22 札幌市、北日本病害虫研究会報.74:印刷中)

○横田 啓・佐々木達史

春まきタマネギ栽培における倒伏期以降の殺虫剤散布がネギアザミウマと病害の発生に及ぼす影響(予報)

園芸学会アスパラガス研究小集会(令和4年度秋季大会:2022.9.8開催 オンライン開催)

○山口貴之

気候変動で顕在化している近年のアスパラガス課題の解決に向けて「課題を解決するために必要な取り組みについての意見交換」

2022.園学研. (Hort. Res. (Japan)) 21(別2): P14.

日本作物学会(2023.3.29～30開催 東京農工大学)

○藤岡智明1・高橋加菜子1・阿部 陽2

(1 岩手農研セ・2 岩手生工研)

「ひとめぼれ」ゲノム背景における農業形質関連遺伝子領域の多発現効果

日本作物学会第255回講演会要旨集,2023年3月

日本農業気象学会東北支部大会(2022.11.20開催 秋田市生涯学習センター)

○舛谷悠祐1, 熊谷悦史2, 屋比久貴之1, 安江紘幸1, 田中洋貴3, 伊禮風沙3, 安次富厚4, 大野 豪4, 藤岡智明5, 渡邊麻由子5

(1 農研機構東北農研・2 農研機構農環研・3 沖縄農研名護支所・4 沖縄農研石垣支所・5 岩手農研)

東北地方における新規多収低アミロース米系統のアミロース含有率推定による栽培適地判定

日本農業気象学会東北支部大会要旨集, 2022年11月

日本農芸化学会(2023.3.14～17開催 広島大学、オンライン開催)

○辻井 良政1、菱川 美千代1、小館 琢磨2、藤岡 智明2、渡邊 麻由子2  
(1 東京農業大学、2 岩手農研)  
チルド米飯に適する超多収低アミロース米系統の米胚乳酵素活性量について  
日本農芸化学会2023年度大会(広島)要旨集, 2023年3月

令和4年度日本植物病理学会東北支部会(2022.9.27～28開催 福島市 コラッセふくしま)

○猫塚修一・近藤賢一・藤田剛輝2・横田 誠3・佐藤 裕4  
(1 長野県試・2 福島総農セ果樹研・3 山形防除所・4 秋田果試)  
気象データを用いたリンゴ褐斑病の子のう胞子飛散ピークの推定  
日本植物病理学会報 89(1):41(講要)

第39回農薬環境科学研究会(2022.9.29開催 岐阜市ホテルグランパール岐山)

○猫塚修一  
都道府県レベルでの化学農薬使用量(リスク換算)の試算  
農薬環境科学研究第29号「第39回農薬環境科学研究会シンポジウム講演集」

第76回北日本病害虫研究発表会(2023.2.21～22 札幌市開催 北海道立道民活動センターかでの2・7、北日本病害虫研究会報.74:印刷中)

○吉田雅紀・田中真衣1  
(1 中部普及セ(遠野))  
殺虫剤だけに頼らない斑点米カメムシ類防除の検討

○猫塚修一・藤田章宏1  
(1 岩手防除所)  
リンゴ褐斑病の一次感染の早期化が秋期の広域的な発生に及ぼす影響

○村上珠利・藤沢 巧  
タバココスミカメでトマト果実の白ぶくれ症を抑制できるか:ヒラズハナアザミウマとの戦い

○及川優介・藤田章宏・大友令史  
岩手県で多発したキンモンホソガの発生要因解析

○羽田 厚  
岩手県北地域で発生しているキャベツ根こぶ病菌に対する数種キャベツ品種の抵抗性評価

第67回日本応用動物昆虫学会大会(2023.3.13～15開催 大阪府枚方市 摂南大学枚方キャンパス、講要(72))

○吉田雅紀  
岩手県における1kmメッシュ農業気象データを活用した斑点米カメムシ類の発生時期の推定

令和5年度日本植物病理学会大会(2023.3.27～29開催 オンライン開催)

○猫塚修一  
リンゴ胴枯細菌病の内部病徴と台木地上部の不定根および木部に対する*Dickeya dadantii* の病原性

○岩館康哉  
施設栽培における空気伝染性病害のAIを用いた発病予測と防除

第35回日本微生物生態学会(2022.10.31～11.3開催 札幌コンベンションセンター)

○佐藤元映1・武部紘明2・安田潤平3・大石風人2・熊谷 元・廣岡博之2、吉田天士2  
(1 宇都宮大大学院・2 京都大院農・岩手農研セ畜研)  
ウシのルーメンウイルスゲノムカタログの構築

東北畜産学会 第71回宮城大会 (2022.8.30開催 オンライン開催)

○山形広輔1・安田潤平1・高杉 亘1・細川泰子1・鈴木啓一2・蘆 尚建2・上本吉伸2・須田義人3・昆野 勝1 (1 岩手農研セ畜研・2 東北大学・3 宮城大学) 日本短角種における牛肉中イノシン酸濃度の遺伝的パラメータの推定及び改良の検討 東北畜産学会報 第71回大会号:15
○安田潤平・米澤智恵美・細川泰子・昆野 勝 (岩手農研セ畜研) 育成期から肥育前期に高蛋白飼料を給与した黒毛和種去勢牛の早期出荷における収益性 東北畜産学会報 第71回大会号:15
○米澤智恵美・安田潤平・細川泰子・昆野 勝 (岩手農研セ畜研) 分娩前後の栄養水準および季節の違いが黒毛和種繁殖雌牛の子宮内膜回復および繁殖成績に及ぼす影響 東北畜産学会報 第71回大会号:15
○新井勇児1・佐々木康仁2・細川泰子1・山口直己1 (1 岩手農研セ畜研・2 岩手県畜産課) 日本短角種妊娠牛における乳汁中及び血清中PAG濃度の推移と分娩日予測 東北畜産学会報 第71回大会号 14

日本育種学会第143回講演会 (2023.3.17～18開催 静岡大学静岡キャンパス)

○吉津祐貴 1, 高草木雅人 1,2, 菅 広和 1,2, 大里達朗 1, 阿部 陽 3, 清水元樹 3, 伊藤和江 3, 寺内良平 3,4 (1 岩手県農業研究センター県北農業研究所, 2 現:岩手県庁, 3 岩手生物工学研究センター, 4 京都大学農学部) 短稈・多収アワ品種「アワ岩手糯11号」の育成およびその特性
--

## 4 雑誌等掲載

### (1) 専門雑誌等

#### グリーンレポート(全国農業協同組合連合会)

横田 啓  
「ネギアザミウマ防除によるタマネギ腐敗病抑制と増収効果」  
2022年8月号 No.638. 16-18

#### アリスタ通信(アリスタライフサイエンス株式会社)

横田 啓  
「タマネギのネギアザミウマに対する各種殺虫剤の評価」  
2023年2月 第54号. 5-7

#### 果実日本(日本園芸農業協同組合連合会)

猫塚修一  
「岩手県におけるリンゴ黒星病の一次感染の早期化と今後の防除対策」  
第77巻(2022年)8月号

#### 月刊「植物防疫」(一般社団法人 日本植物防疫協会)

岩館康哉・西村穂花・森 万菜実1・三澤知央2  
(1 北海道総研中央農試、2 北海道総研農研本部)  
岩手県の畑ワサビに発生した*Rhizoctonia solani* による苗立枯れ症状と同種による既知病害との異同  
2022年10月号 (第76巻第10号)

川戸善徳  
研究室紹介  
2022年10月号 (第76巻第10号)

### (2) 岩手の畜産(令和4年5月号～令和5年3月号)

5月号	齋藤浩和	乳用牛群検定データの集計・分析情報の利用について
7月号	篠崎 創	県有種雄牛「飛良美継」、「菊福秀」の後継牛として「百合花智」、「星乃栄」、「菊百合福」が新たにデビュー
11月号	飯村太一	乾物収量に優れた飼料用トウモロコシ極早生品種、早生品種
1月号	安田潤平	育成期から肥育前期に飼料中の粗蛋白質濃度を高めた黒毛和種去勢牛の早期出荷技術
3月号	尾張利行	放牧牛の移動距離の増加を目安とした転牧指標

### (3) その他の雑誌等

#### 作物生産と土づくり

桐山直盛  
電子レンジでのマイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌養分の簡易評価手法  
一般財団法人 日本土壌協会 2022年10・11月号

#### 技術と普及

桐山直盛  
マイクロ波抽出と簡易測定キットによる土壌養分の簡易評価手法  
一般社団法人全国農業改良普及支援協会, 2023年1月号

#### グリーンレポート

佐々木俊祐  
岩手県における大豆栽培に適した緑肥作物の導入とその効果  
JA全農 耕種総合対策部, アグリ情報室, No.646, 2023年4月号

#### 肉牛ジャーナル

種山畜産研究室

種雄牛広告(「百合花智」「菊百合福」「星乃栄」)

令和4年11月号

#### 養牛の友

種山畜産研究室

種雄牛広告(「百合花智」「菊百合福」「星乃栄」)

令和4年9月号

## 5 新聞等掲載

部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日	
<b>企画管理部</b>				
<b>研究企画室</b> <b>総務課</b> <b>農業科学博物館</b>	来月3日に一般公開デー 県農業研究センター	岩手日日新聞	R4.8.31	
	試験成果紹介、栽培相談も 北上 県農研センターで一般公開デー	岩手日日新聞	R4.9.4	
	交通事故・違反根絶へ一丸 県農研センター誓約書提出	岩手日日新聞	R4.6.3	
	害虫防除の歴史に焦点 農業科学博物館企画展 昭和30年代散布機並ぶ	岩手日日新聞	R4.8.24	
<b>生産基盤研究部</b>				
<b>生産システム研究室</b>	衛星測位活用 自作で安く	日本農業新聞(全国版)	R4.7.15	
<b>園芸技術研究部</b>				
<b>果樹研究室</b> <b>野菜研究室</b> <b>花き研究室</b>	注目品種入賞決まる JA全農いわて純情りんごコン第1部	岩手日日	R4.10.14	
	最優秀賞に(いわて中央)都南青年部B	岩手日日	R4.11.25	
	低コストで環境制御 普及促進へ圃場視察	日本農業新聞	R4.7.8	
	収量、品質向上へ優良品種選定 春まきタマネギ全日本審査会	岩手日日新聞	R4.8.3	
	第73回野菜品種審査会・岩手県農研センター 「E-134」(七宝)が1等特	日本種苗新聞	R4.9.11	
	試験場の挑戦 岩手県農業研究センター	日本種苗新聞	R5.2.1	
	成果事例こぼれ話41 珍しい八重咲きの誕生でリンドウの用途が拡大	生研支援センターHP	R4.11.30	
	新奇性の高い鉢花向け八重咲きリンドウ「いわてDfG PB-1号」の育成	日本種苗新聞	R5.2.1	
<b>生産環境研究部</b>				
<b>土壌肥料研究室</b> <b>病理昆虫研究室</b>	減肥可能か自宅で判定 簡易キット+塩+レンジ 短時間で土壌評価 岩手県農業研究センターが普及	日本農業新聞	R4.7.31	
	みどり戦略 実現に向けた技術 土壌の窒素、リン酸、カリ簡易・迅速な評価手法	全国農業新聞	R5.3.24	
	リンゴ 下草を高刈り 土着天敵の隠れ家に ハダニ類の発生を抑制 農薬のコスト削減にも 岩手県農業研究センター	農業共済新聞	R4/9/29	
	リンゴ黒星病 来月から重点防除期間 岩手 薬剤の散布前倒し 温暖化で感染早期化	日本農業新聞	R5/3/17	
<b>病害虫防除部</b>				
<b>病害虫防除課</b>	リンゴ黒星病適期防除を	日本農業新聞	R4.4.6	
	リンゴハダニに注意	日本農業新聞	R4.4.6	
	小麦赤かび病に注意	日本農業新聞	R4.5.14	
	水稲防除速報で草刈り徹底強調	日本農業新聞	R4.5.18	
	カメムシ類多発で「注意報」 県、防除徹底呼びかけ	岩手日報	R4.7.15	



部所名	記事見出し	掲載紙	掲載年月日
<b>畜産研究所</b>			
<b>家畜育種研究室</b>			
	和牛飼料工夫で短期肥育	岩手日報	R5.1.10
	進む実証、24か月で仕上げ	日本農業新聞	R4.12.7
	南部かしわ普及へ力～高校生、生産者ら研究会	岩手日報	R5.3.3
	南部かしわ食卓に届ける	岩手日報	R5.3.4
<b>種山畜産研究室</b>			
	岩手県 新たに基幹種雄牛選抜 「百合花智」BMS9.1	日本農業新聞	R4.8.10
	トップ級種雄牛新選抜 百合花智 菊百合福 「霜降り」歴代1、2位 黒毛「県有」、星乃栄も	岩手日報	R4.8.14
<b>県北農業研究所</b>			
<b>作物研究室</b>			
	「アワ」新品種開発中	日本農業新聞(地方版)	R4.9.10
	スマ農事業で発表会 岩手県 自動操舵は有効 播種・除草の精度を研究	農経しんぼう	R5.2.6
	雑穀を未来へつなぐ 地域ぐるみで生産振興	農業共済新聞	R5.2.15
	ポッカが本県産の雑穀を使ったミルクPR	岩手日報	R5.3.10
	植物性ミルクで健康に ポッカ 県産雑穀100%飲料販売	岩手日日新聞	R5.3.21
	茎短いアワ新品種 県農業研究センター開発	岩手日報	R5.3.24

## 6 テレビ・ラジオ放送

### (1) テレビ

部所名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
(放送なし)				

### (2) ラジオ

部所名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
病虫害防除部	りんごの黒星病及びリンゴハダニの注意報について	NHK-FM (岩手ローカル ニュース)	R4.4.11	有

## 7 指導資料等掲載

部所・研究室名	タイトル	掲載資料名	発行年月
企画管理部 農業経営研究室	稲作経営対策 (農業普及技術課と共著)	令和4年度稲作指導指針	R5.3
生産基盤研究部 水田利用研究室	雑草防除(水稲)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	雑草防除(畑作物)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
生産システム研究室	活用しよう！農業で利用する低コストRTK-GNSS導入マニュアル	研究成果関連マニュアル「活用しよう！農業で利用する低コストRTK-GNSS導入マニュアル」	R5.3
	ほ場ですぐにわかる水稲リモートセンシング技術	研究成果関連マニュアル(ほ場でも容易に実施できる無人航空機(ドローン)を利用した水稲リモートセンシング技術)	R5.2
	令和4年度稲作指導指針	令和4年度稲作指導指針	R5.3
園芸技術研究部 果樹研究室	雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針(果樹)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
野菜研究室	雑草防除及び成長調整剤使用指針(野菜)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
花き研究室	雑草防除及び成長調整剤使用指針(花き)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	令和5年度 花き栽培技術指針	令和5年度 花き栽培技術指針	R5.3
生産環境研究部 土壌肥料研究室	いわてアグリフロンティアスクール講義資料「土壌管理(土壌・肥料)」	植物の栄養と土、岩手県における環境にやさしい土壌施肥管理技術	R4.6.22
	令和4年度稲作指導指針	令和4年度稲作指導指針	R5.3
病理昆虫研究室	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	防除指導資料(野菜病害)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	防除指導資料(野菜害虫)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	防除指導資料(果樹・花き病害)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	防除指導資料(果樹・花き害虫)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	病害虫の防除対策	令和4年度版稲作指導指針	R5.3

部所・研究室名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室 (続き)	近年問題となっている病害虫(病害)	令和5年度花き栽培技術指針	R5.3
	近年問題となっている病害虫(害虫)	令和5年度花き栽培技術指針	R5.3
病害虫防除部 病害虫防除課	農薬安全使用指針	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
畜産研究所 家畜飼養・飼料 研究室	防除指導資料(牧草・飼料作物)	令和5年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	R5.3
	今こそ自給飼料を増産しましょう[監修]	飼料増産リーフレット	R4.8
	岩手県における乳用牛群検定成績	岩手県における乳用牛群検定成績のまとめ～令和2年度～	R4.8
	岩手県における乳用牛群検定成績	岩手県における乳用牛群検定成績のまとめ～令和3年度～	R5.3
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和4年5月(全県版、市町村版)	R4.5
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和4年7月(全県版、市町村版)	R4.7
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和4年8月(全県版、市町村版)	R4.8
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和4年10月(全県版、市町村版)	R4.10
	地域別乳用牛群検定成績	乳用牛群検定成績の速報値 令和4年12月(全県版、市町村版)	R4.12
	酪農経営に潜む落とし穴	2023酪農技術カレンダー	R4.12
県北農業研究所	(該当なし)		

## 8 ホームページ

### (1) 記事入力件数

項目	入力件数	内 訳
研究レポート	44	令和4年度発行分(No.1063～1106)
試験研究成果	45	令和4年度試験研究成果書 お手軽スマート農業シリーズ
らぼ・れたあ	52	No. 1～52(研究室だより)
行事予定	3	一般公開デー、研究成果発表会
各種資料	16	令和3年度業務年報、各種成果マニュアル
農業科学博物館	5	企画展第88～89回開催案内、農業ふれあい公園だより 第30号
その他	2	プレスリリース

### (2) アクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
トップページ	1,822	2,002	1,876	3,024	2,201	1,736	1,278	1,068	1,531	1,910	1,565	1,768	21,781
総ページビュー	13,572	13,608	16,534	17,165	24,244	22,616	10,967	10,476	12,394	15,419	13,120	12,520	182,635

## 9 SNS(Twitter、Facebook)

### (1) Twitter

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ツイート数	26	32	27	41	28	35	17	20	13	10	14	50	313
フォロワー純増数	-1	41	16	29	3	16	-3	5	11	-5	2	4	118
ツイートインプレッション	20,059	26,629	14,361	25,246	15,659	45,746	14,410	15,002	6,504	5,464	9,154	15,325	213,559
エンゲージメント数	547	981	634	962	788	1,687	518	482	189	160	406	404	7,758

### (2) Facebook

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
投稿記事数	23	21	16	29	19	25	12	15	4	6	9	18	197
新規フォロワー数	9	2	7	1	4	1	0	1	5	6	3	2	41
リーチ	4,346	3,655	3,347	5,562	4,292	4,700	2,057	2,635	700	2,102	2,124	3,322	38,842
いいね！及びリアクション	243	171	165	233	278	258	67	109	28	91	90	137	1,870

## 10 研究室だより

### (1) らぼ・れたあ

発行日	標題	部所名
R4.4.1	田中義一氏(元・農業研究センター所長)が叙勲&叙位	企画管理部 総務課
R4.4.1	菊池次男氏(元・繭検定所所長)が「瑞宝双光章」受章	企画管理部 総務課
R4.4.5	令和3年度第2回職員衛生委員会を開催しました	企画管理部 総務課
R4.4.6	頼もしい先輩ふたりが大船渡から古巣に復帰！	生産環境研究部
R4.4.14	スマ農ツール「農業用無人車」を実演！	生産環境研究部
R4.4.18	今年もたまねぎを植えました～ 土壌肥料研究室編	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R4.4.19	農業ふれあい公園にも春がやってきました	企画管理部 総務課
R4.5.9	基幹種雄牛「百合花智」「星乃栄」を新たに選抜！！	畜産研究所 種山畜産研究室
R4.5.17	日本短角種の改良に期待の新戦力！	畜産研究所 家畜育種研究室
R4.5.19	令和4年度の環境美化活動が始まりました	企画管理部 総務課
R4.6.7	多収で倒伏や病害虫に強いデントコーン品種はどれだ？！	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R4.6.8	好天に恵まれスタート順調！～ 今年も1番草の収穫が始まりました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R4.6.20	イネいもち病の基本を学ぶ～ 若手向け病害虫防除指導者研修会を開催	病害虫防除部 病害虫防除課
R4.6.23	農薬の正しい知識で事故防止！～「農薬危害防止運動出発式」を開催	病害虫防除部 病害虫防除課
R4.7.1	りんどう栽培の常識が変わる！？～ イイこといろいろ「千鳥疎植栽培法」	園芸技術研究部 花き研究室
R4.7.11	加藤真城(前) 上席専門研究員が「全国農業関係試験研究場所長会研究功労者表彰」を受賞	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R4.7.12	キレイな花には天敵(ムシ)がいる～ トマトハウス内でタバコカスミカメが活躍中	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R4.7.13	南部かしわの肉量アップに向けて～ 母系素材鶏を改良した南部かしわの特性及び長期飼育技術の確立	畜産研究所 家畜育種研究室
R4.7.21	すぐ使える！研究成果が盛りだくさん～ 令和4年度研究成果発表会を開催	企画管理部 研究企画室
R4.7.26	国産ホップを下支えする最後の砦として	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R4.8.3	環境美化活動、継続中です！	企画管理部 総務課
R4.8.8	春まきタマネギでは本州初！～ タマネギ品種審査会(春まき極早生)が開催されました	園芸技術研究部 野菜研究室
R4.8.9	3部会で東北農業試験研究協議会論文賞を受賞しました	企画管理部 研究企画室
R4.8.18	のびのび・すくすく・大きく育て～ 牛馬の寄託放牧事業	畜産研究所 外山畜産研究室
R4.8.25	暑い夏には生ビール！ 国産ホップを守ります！！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R4.8.29	どんな色が好き？～ いちご電照処理試験実施中	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R4.8.29	環境美化+ウォーキングで健康づくり～ 構内一斉清掃を行いました	企画管理部 総務課
R4.8.30	県をまたいで成果を普及！？～ 宮城県加美郡りんご協議会視察対応	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R4.9.3	無人航空機で使用できるダイズ紫斑病防除剤を増やしたい！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R4.9.8	「待ってたよ！」令和4年度畜産研究所参観デー開催	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R4.9.13	作物の生育に必要な肥料の「三要素」って知ってますか？	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R4.9.14	令和4年度一般公開デーを2年ぶりに開催！	企画管理部 研究企画室
R4.10.4	令和4年度第1回 岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R4.10.4	岩館康哉上席専門研究員が日本植物病理学会東北部会「地域貢献賞」を受賞！！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R4.10.17	安全・安心な草地の利用を目指して～ 未除染草地の現地調査が行われました	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
R4.10.24	遅ればせながら「農薬適正販売・使用研修会」を開催しました！	病害虫防除部 病害虫防除課
R4.11.1	「継続は力なり」～ 恒例の土壌調査に取り組んでいます	生産環境研究部 土壌肥料研究室

発行日	標題	部所名
R4.11.2	令和4年度ET講習会を2年ぶりに開催！！	畜産研究所 家畜育種研究室
R4.11.8	農薬について知りたい！～総合的な学習の時間	病害虫防除部 病害虫防除課
R4.11.9	本年度唯一の新採用職員、着々とスキルアップし奮闘中！	園芸技術研究部 野菜研究室
R4.11.14	牛の管理上の創意工夫をPR！～農家団体の視察見学を受け入れました	畜産研究所 外山畜産研究室
R4.11.14	畜産の未来を担う後継者育成を～農業大学校の学生研修を受け入れました	畜産研究所 外山畜産研究室
R4.11.15	家畜への感謝・慰霊と職員の安全祈願を～畜産研究所で「畜霊祭」を開催	畜産研究所 総務課
R4.11.16	新たなスマ農実証がスタート！データ活用による奥州地域ピーマン産地の課題解決を支援	企画管理部 農業経営研究室
R4.12.6	農家研修、行ってきました！	畜産研究所 家畜育種研究室
R5.1.10	「温故知新」センター設立時のよもやま話を伝えるセミナー開催	生産環境研究部 土壌肥料研究室
R5.1.30	「北いわてスマート農業プラットフォーム創造事業成果発表会」が開催されました	県北農業研究所
R5.2.27	あわ新品種&スマート農業について紹介しました～令和4年度二戸地方雑穀研修会	県北農業研究所 作物研究室
R5.2.28	猫塚修一上席専門研究員が3回目の北日本病害虫研究会賞受賞！	生産環境研究部 病理昆虫研究室
R5.3.6	令和4年度第2回 岩手県農業研究センター所長表彰を行いました	企画管理部 研究企画室
R5.3.7	日本短角種現場後代検定肥育牛の枝肉調査を行いました	畜産研究所 家畜育種研究室
R5.3.31	岩手のりんどうに新しい風を！～盛農生のりんどうプロジェクト活動をバックアップ	園芸技術研究部 花き研究室

(計52件)

## (2) ふおとらぼ

発行日	標題(内容)	部所名
R4.4.13	(水稻原原種・原種の育苗を行っています)	生産基盤研究部 生産システム研究室
R4.4.14	(ピーマンの定植作業を行いました)	園芸技術研究部 野菜研究室
R4.4.14	(春まきたまねぎの苗定植を行いました)	園芸技術研究部 野菜研究室
R4.4.14	(農業科学博物館・季節の展示コーナー模様替え)	企画管理部 研究企画室
R4.4.21	(農業科学博物館「科学技術週間」入館無料)	企画管理部 研究企画室
R4.4.26	(水稻乾田直播ほ場均平作業実施)	生産基盤研究部 生産システム研究室
R4.5.6	(水稻乾田直播播種作業)	生産基盤研究部 生産システム研究室
R4.5.13	きゅうりの収穫が始まりました	県北農業研究所 園芸研究室
R4.5.17	(農業科学博物館・第87回企画展「みの(蓑)とけら(虻)」開催中)	企画管理部 研究企画室
R4.5.23	(水稻作況試験ほ場田植え)	生産基盤研究部 生産システム研究室
R4.5.24	(水稻乾田直播ほ場の生育状況)	生産基盤研究部 生産システム研究室
R4.5.26	(陸前高田市米崎町浜田地区の一斉草刈り参加)	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R4.5.27	(小麦原種・原原種の異株抜きを実施)	生産基盤研究部 水田利用研究室
R4.6.6	所内一丸・一斉田植え	生産基盤研究部 作物育種研究室
R4.6.20	(水稻乾田直播ほ場ドローンで追肥)	生産基盤研究部 生産システム研究室
R4.6.21	黄金に色づく実りの季節到来♪小麦栽培研修会を実施しました	生産基盤研究部 水田利用研究室
R4.6.27	畑で稲の種まき(葉いもち圃場抵抗性検定試験)	生産基盤研究部 作物育種研究室
R4.7.1	北いわてスマート農業サロン現地研修会を開催！	県北農業研究所 園芸研究室
R4.7.14	(試験用いちごの育苗開始)	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R4.7.14	(農業科学博物館・夏休み体験学習会の開催案内)	企画管理部 研究企画室
R4.7.25	(農業科学博物館・第88回企画展「むかしの害虫とのたたかい」開催中)	企画管理部 研究企画室
R4.7.29	(職員有志で駐輪場整備)	企画管理部 総務課

発行日	標題	部所名
R4.8.22	大豆原種・原原種ほ場の異株抜き	生産基盤研究部 水田利用研究室
R4.8.29	一般公開デー2022①「いろいろな虫を見てみよう！」	企画管理部 研究企画室
R4.8.30	一般公開デー2022②「宇宙から帰還したお米『銀河のしずく』」	生産基盤研究部
R4.8.31	一般公開デー2022③「季節の農産物はいかがですか？」	園芸技術研究部
R4.9.2	一般公開デー2022④「会場設営もいよいよ大詰め」	企画管理部 研究企画室
R4.9.2	一般公開デー2022⑤「ビオトープも土の養分も、どちらも大切です！」	生産環境研究部
R4.9.2	一般公開デー2022⑥「いろいろな話題が盛りだくさん！（ミニセミナー）」	企画管理部 研究企画室
R4.9.2	一般公開デー2022⑦（研究成果展示コーナーの準備の様子について）	企画管理部 研究企画室
R4.9.3	一般公開デー2022⑧（場内農産物販売）	企画管理部 研究企画室
R4.9.3	一般公開デー2022⑨（研究成果展示コーナー）	企画管理部 研究企画室
R4.9.3	一般公開デー2022⑩（「役に立つミニセミナー」開催中）	企画管理部 研究企画室
R4.9.3	一般公開デー2022⑪（農業技術相談&病害虫診断コーナー）	企画管理部 研究企画室
R4.9.3	一般公開デー2022⑫（農業科学博物館「農の生け花展」）	企画管理部 研究企画室
R4.9.3	一般公開デー2022⑬（農業科学博物館「チョウの標本&まゆ細工づくり体験」）	企画管理部 研究企画室
R4.9.6	農業科学博物館・季節展示コーナー「秋祭りと神輿」	企画管理部 研究企画室
R4.9.20	園芸技術研究部「部内ゼミ」開催	園芸技術研究部 花き研究室
R4.10.21	所内の環境整備 進行中です	企画管理部 総務課
R4.11.9	（農業ふれあい公園で採れた木の実を展示中）	企画管理部 研究企画室
R4.11.22	麦類耐寒雪性特性検定試験の播種	生産基盤研究部 水田利用研究室
R4.12.19	園芸技術研究部「部内ゼミ」開催	園芸技術研究部 花き研究室
R5.2.6	小麦新品種「ナンブキラリ」を使用したうどんの食味官能評価	生産基盤研究部 水田利用研究室
R5.2.8	（農業科学博物館・季節展示コーナー「昔と今のひな人形」）	企画管理部 研究企画室
R5.2.13	今年も「たまねぎ」の「たねまき」が始まりました	園芸技術研究部 野菜研究室
R5.3.3	（JAいわて平泉主催のいちご栽培指導会で試験研究成果の説明）	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R5.3.8	環境制御ハウスにきゅうり苗を定植しました！	県北農業研究所 園芸研究室
R5.3.27	これまでの仕事に感謝を込めて～感謝状贈呈式が行われました	園芸技術研究部 南部園芸研究室
R5.3.31	（りんどう新品種候補の苗を育苗中）	園芸技術研究部 花き研究室

(計49件)



## V 指導・啓発活動



## V 指導・啓発活動

### 1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内容	参集人員
農産園芸課主催				
県北農業研究所 園芸研究室	R5.1.31	盛岡市 (サンセール盛岡)	令和4年度施設園芸高度化セミナー ・きゅうりにおける環境制御の取組について	63名
農業普及技術課主催				
企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 生産システム研究室 園芸技術研究部 野菜研究室 県北農業研究所 園芸研究室	R4.8.26	滝沢市 (岩手産業文化センターアピオ)	令和4年度いわてスマート農業推進シンポジウム ・低コストRTK-GNSSデータロガーの活用について ・北いわて地域における 施設きゅうりの環境制御の取組について	-
園芸技術研究部 野菜研究室 県北農業研究所 園芸研究室	R4.11.11	花巻市 (現地ほ場)	葉菜類水耕栽培技術現地研修会	35名
県北農業研究所 園芸研究室	R4.6.28	軽米町(県北農業研究所)、二戸市(現地試験ほ場)	北いわてスマート農業サロン現地研修会(環境制御分科会) ・県北農業研究所における試験研究の状況等について ～県北地域の施設きゅうり等に適した環境制御技術の開発～	51名
県北農業研究所 作物研究室	R4.9.29	軽米町(県北農業研究所、現地ほ場)	北いわてスマート農業サロン現地研修会(自動操舵分科会) ・自動操舵関連の試験研究の状況について	45名
県北農業研究所 園芸研究室 作物研究室	R5.1.20	軽米町 (県北農業研究所)	令和4年度北いわてスマート農業プラットフォーム創造事業 成果発表会 ・施設きゅうりの環境制御技術に関する試験研究結果について ・自動操舵技術に関する試験研究結果について	60名
園芸技術研究部 野菜研究室 県北農業研究所 園芸研究室	R4.9.15	軽米町 (県北農業研究所)	ほうれんそうミスト実証に係る現地検討会 ※普及員調査研究活動中間検討会	8名
園芸技術研究部 野菜研究室 県北農業研究所 園芸研究室	R4.9.28	北上市 (農業研究センター)	低コスト環境制御技術調査研究活動中間検討会 ※普及員調査研究活動中間検討会(環境制御) ・北いわて地域における 施設きゅうりの環境制御の取組	10名
県北農業研究所 園芸研究室	R4.12.16	北上市 (農業研究センター)	低コスト環境制御技術調査研究活動実績検討会 ※普及員調査研究活動実績検討会(環境制御)	8名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
県産米戦略室主催				
生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室	R4.7.4	北上市 (農業研究センター)	令和4年度第1回稲作技術対策会議	138名
	R4.12.19		令和4年度第2回稲作技術対策会議 ・水稲の生育状況と追肥対応 ・水稲の作柄要因解析	109名
生産環境研究部 土壌肥料研究室 県北農業研究所 作物研究室				
生産基盤研究部 生産システム研究室	R4.4.8	奥州市(奥州合庁)	令和4年度第1回金色の風栽培研究会役員会	20名
	R4.8.5 R5.2.10	奥州市(江刺合庁) 奥州市(奥州合庁)	令和4年度第2回金色の風栽培研究会役員会 令和4年度第3回金色の風栽培研究会役員会	22名 22名
	R4.4.12 R4.7.21 R5.2.15	北上市 (農業研究センター)	令和4年度第1回銀河のしずく栽培研究会役員会 令和4年度第2回銀河のしずく栽培研究会役員会 令和4年度第3回銀河のしずく栽培研究会役員会	30名 41名 51名
盛岡広域振興局農政部主催				
県北農業研究所 園芸研究室	R4.9.29		盛岡地域環境制御技術研究会 研修会 ・県北地域の施設きゅうりに適したCO <sub>2</sub> 施用技術の開発 ※資料提供のみ	
【新技術・普及活動検討会】(農業普及技術課主催)				
企画管理部 農業経営研究室	R5.3.3	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(経営) ・令和4年度試験研究成果の活用について	19名
園芸技術研究部 果樹研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課	R5.1.23	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(果樹)	30名
企画管理部 農業経営研究室 園芸技術研究部 野菜研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	R5.1.25	北上市 (農業研究センター)  オンライン会場	令和4年度新技術・普及活動検討会(野菜)	44名
園芸技術研究部 花き研究室 生産環境研究部 病理昆虫研究室	R5.1.25	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(花き)	21名
企画管理部 農業経営研究室 生産基盤研究部 水田利用研究室 生産システム研究室 作物育種研究室 生産環境研究部 土壌肥料研究室 病理昆虫研究室 病害虫防除部 病害虫防除課 県北農業研究所 作物研究室	R5.1.30	北上市 (農業研究センター)	新技術・普及活動検討会(作物)	34名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
<b>畜産研究所</b> 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室 種山畜産研究室	R5.1.30	滝沢市 (畜産研究所)	令和4年度新技術・普及活動検討会(畜産)	22名
<b>【普及指導員専門技術研修】(農業普及技術課主催)</b>				
<b>企画管理部</b> 農業経営研究室	R4.11.25	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(雇用型野菜経営体支援) ・雇用型施設野菜経営体の工程管理のポイント ・集落営農組織における野菜作導入・管理のポイント	3名
<b>生産基盤研究部</b>  水田利用研究室	R4.6.16 R4.8.18 R4.10.11 R4.11.14	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ) " (作物Ⅱ) " (作物Ⅲ) " (作物Ⅳ)	各2名
生産システム研究室	R4.6.16  R4.8.19  R4.10.12  R4.10.20  R4.7.25  R5.1.30	北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)  普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)  普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)  普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅳ)  スマート農業実践研修(ドローン利用)  スマート農業実践研修(ドローン利用)	2名  2名  2名  9名  8名  25名
作物育種研究室	R4.8.18  R4.11.14	北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)  普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	2名  2名
<b>園芸技術研究部</b>  果樹研究室	R4.5.17～20 R4.6.21～24 R4.9.13～16 R4.10.11～14 R4.12.6～8  R4.6.22 R4.12.7 R5.2.7  R4.6.16 R5.2.9  R5.2.15	北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)  北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹 第Ⅰ～Ⅴ期)  スペシャリスト養成研修(りんご 第Ⅰ～Ⅲ期)  スペシャリスト養成研修(醸造用ぶどう 第Ⅰ・Ⅲ期)  スペシャリスト養成研修(地域特産果樹 第Ⅲ期)	2名  1名  3名  3名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
野菜研究室	R4.7.29	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜養液栽培)	3名
	R4.6.8～10	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅰ期)	9名
	R4.7.28～29	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅱ期)	9名
	R4.10.19～20	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅳ期)	9名
花き研究室	R4.6.21～22	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(花き 第Ⅰ期)	3名
	R4.9.14	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(花き 第Ⅱ期)	3名
	R4.10.11～12	北上市 (農業研究センター)	専門技術基本研修(花き 第Ⅲ期)	3名
南部園芸研究室	R4.9.15	陸前高田市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜 第Ⅲ期)	10名
<b>生産環境研究部</b>				
土壌肥料研究室	R4.8.23	北上市 (農業研究センター)	土壌簡易分析研修	24名
	R4.6.8 R4.10.19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	10名
	R5.1.30	北上市 (農業研究センター)	新技術普及活動検討会	34名
病理昆虫研究室	R4.6.17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	1名
	R4.8.29	一関市	スペシャリスト養成研修(果樹)	14名
	R4.9.2	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・難防除病害虫)	3名
	R4.9.13 R4.9.16	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	10名
	R4.11.9	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(花き)	1名
<b>病害虫防除部</b>				
病害虫防除課	R4.6.9	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ期)	10名
	R4.6.21	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅱ期)	2名
	R4.8.8	北上市 (農業研究センター)	普及指導員スペシャリスト養成研修(野菜・難防除病害虫)	3名
	R4.9.13	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅡ期)	3名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
病害虫防除課(続き)	R4.12.5	北上市・オンライン (農業研究センター)	普及職員新任者研修Ⅰ及び普及活動基本研修Ⅰ	11名
<b>畜産研究所</b>				
家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	R4.7.25～29	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所、外山畜産研究室)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ期)	1名
家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 種山畜産研究室	R4.9.5～9	滝沢市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅱ期)	1名
家畜飼養・飼料研究室	R4.9.5	滝沢市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(飼料作物)	1名
種山畜産研究室	R4.10.18	住田町 (種山畜産研究室)	スペシャリスト養成研修(肉用牛)	1名
<b>県北農業研究所</b>				
園芸研究室	R4.7.1	軽米町(県北農業研究所)	スペシャリスト養成研修(野菜・環境制御技術、第2回)	6名
	R4.9.14	軽米町 (県北農業研究所)	専門技術基本研修(野菜 第Ⅲ期)	9名

【岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会】(農業普及技術課主催)

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
<b>園芸技術研究部</b>				
花き研究室	R4.6.24	北上市 (農業研究センター)	技術対策部会 りんどう有望系統(極早生種)の特性 千鳥疎植栽培	24名
	R4.12.14	北上市 (農業研究センター)	技術対策部会 りんどう有望系統の現地適応性 各地域の実証圃結果検討 りんどう八重咲き系統アンケート調査結果	30名
野菜研究室	R4.11.11	北上市 (農業研究センター)	技術対策部会 令和4年度第2回果菜類生産技術高度化セミナー	63名

【病害虫防除に関する研修】(岩手県病害虫防除所主催)

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
<b>病害虫防除部</b>				
病害虫防除課	R4.12.14	北上市 (農業研究センター)	病害虫防除実績検討会【花き部会】 (対象:同上)	30名
	R4.12.16	北上市 (農業研究センター)	病害虫防除実績検討会【果樹部会】 (対象:同上)	63名

担 当 部 所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
病虫害防除課(続き)	R4.12.19	北上市、軽米町 (農業研究センター、 県北研オンライン)	病虫害防除実績検討会【農産部会】 (対象:同上)	83名
	R4.12.23	北上市 (農業研究センター)	病虫害防除実績検討会【野菜部会】 (対象:同上)	43名



## 2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>企画管理部</b>				
<b>農業経営研究室</b>				
	岩手GAP推進チーム会議(第1回)	R4.7.5	農業普及技術課	盛岡市
	岩手GAP推進チーム会議(第2回)	R4.8.19	農業普及技術課	盛岡市
	岩手GAP推進チーム会議(第3回)	R4.9.27	農業普及技術課	盛岡市
	第52回特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)審査委員会	R4.12.26	農産園芸課	盛岡市
	第52回特産農作物生産振興共進会(葉たばこ部門)審査委員会	R5.3.27	農産園芸課	盛岡市
	令和4年度岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	R4.7.25	農村計画課	盛岡市
	令和4年度第1回いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	R4.5.25	農業振興課	盛岡市
	令和4年度全国豆類経営改善共励会岩手県審査委員会	書面開催	農産園芸課	-
	中部農業改良普及センター職場研修(スマート農業関連実証事業等における取組概要と農業DXの取組方向について)	R4.12.1	中部農業改良普及センター	北上市 (農研センター)
<b>生産基盤研究部</b>				
<b>水田利用研究室</b>				
	令和4年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	R5.1.18 R5.1.24	農業普及技術課	花巻市 (岩手県農業共済中部地域センター) 滝沢市 (産業文化センター)
	令和5年農薬適正販売使用研修会	R5.1.27	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市 (八幡宮)
<b>生産システム研究室</b>				
	農業大学校事例研究講師(スマート農業の活用事例)	R4.6.13	農業大学校	北上市 (農研センター)
	一関遊水地若手農業者研修会(スマート農業)	R4.7.29	一関研農同志会	一関市 (古戦場)
	いわてスマート農業シンポジウム	R4.8.26	農業普及技術課	滝沢市 (アピオ)
	リエゾンマッチングフェア	R4.11.14	岩手大学	盛岡市 (コラボMIU)
	INSいわてコーディネイト研究会	R4.11.16	岩手大学	盛岡市 (コラボMIU)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>作物育種研究室</b>				
	農業大学校講師(研究現場の育種)	R4.10.18	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
<b>園芸技術研究部</b>				
<b>果樹研究室</b>				
	令和4年度ぶどう栽培流通研修会	R4.5.26	JA全農いわて	花巻市 (葡萄が丘研究所)
	令和4年度第1回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R4.6.14	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和4年度第2回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R4.7.14	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	ぶどう大粒種検討会	R4.10.4	JA全農いわて	花巻市 (葡萄が丘研究所)
	2022いわて純情りんごコンテスト第1部審査	R4.10.13	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	R4.10.25	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	2022いわて純情りんごコンテスト第2部審査	R4.11.24	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和4年度りんごセミナー	R5.3.1	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
<b>野菜研究室</b>				
	令和4年度県南地区ピーマン生産者のつどい 「尻腐れの原因と対策」	R5.2.24	JA全農いわて	奥州市
	JA高山ほうれんそう部会中間検討会 「夏秋雨よけほうれんそうのミスト加湿による高温対策について」	R4.11.14	JA高山ほうれんそう部会	オンライン
	第1回果菜類生産技術高度化セミナー	R4.6.28	農産園芸課	軽米町 (県北農業研究所)
	第2回果菜類生産技術高度化セミナー	R4.11.11	農産園芸課	北上市 (農研センター)
	令和4年度第1回ブロッコリー担当者会議	R4.6.21	JA全農いわて	矢巾町
	令和4年度第2回ブロッコリー担当者会議	R5.3.24	JA全農いわて	矢巾町
	低コスト環境制御モデル実証圃現地検討会	R4.6.15	一関農業改良普及センター	一関市大東町
<b>花き研究室</b>				
	りんどう育苗状況調査	R4.4.21	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	一戸町、九戸村ほか
	いわてフラワーコンテスト2022審査会	R4.9.2	全農岩手県本部	花巻市 (おっほの館)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>花き研究室(続き)</b>				
	農業大学校 講師(作物増殖・花き)	R4.9.28	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	園芸育種研究会りんどう部会研修会	R4.10.7	農産園芸課 農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	調査研究中間検討会	R4.10.19	農業普及技術課(農業革新支援担当)	北上市 (農研センター)
<b>南部園芸研究室</b>				
	リアスターファーム勉強会(全5回)	R4.4.26 6.28 7.26 9.26 R5.1.16	(株)リアスターファーム	大船渡市
	陸前高田市大規模施設園芸団地栽培打合せ(全9回)	R4.4.13 5.13 8.9 9.8 11.2 12.6 R5.2.13 3.8 3.17	陸前高田市(施設管理受託者Hsファーム)	陸前高田市
	JAいわて平泉いちご生産部会 いちご栽培指導会	R5.3.1	JAいわて平泉いちご生産部	一関市
<b>生産環境研究部</b>				
<b>土壌肥料研究室</b>				
	いわてアグリフロンティアスクール	R4.6.22	いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局(岩手大学農学部地域連携推進室)	盛岡市 (岩手大学)
	加美郡りんご協議会 先進地視察研修会	R4.8.24	加美郡りんご協議会	北上市 (農研センター)
	中山間大東町猿沢集落研修	R4.11.15	中山間大東町猿沢集落研修	北上市 (農研センター)
	滝沢市農業委員会研修	R4.12.8	滝沢市農業委員会	北上市 (農研センター)
	令和4年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	R4.11.11	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	令和4年度土づくり施肥改善研修会(専門)	R4.11.18	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	令和4年度土づくり・施肥改善研修会(処方箋作成)	R4.11.22	農業普及技術課	北上市 (農研センター)

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>病理昆虫研究室</b>				
	いわてアグリフロンティアスクール 「病害虫管理(防除・農薬)」	R4.6.9	岩手大学農学部地域連携推進室	盛岡市
	令和4年度岩手県病害虫防除指導者研修会	R4.6.10	病害虫防除所 (一社)岩手県植物防疫協会	北上市 (農研センター)
	令和4年度第1回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R4.6.14	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	農業大学校 講師「スマート農業」	R4.6.30	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	令和4年度第2回りんご病害虫防除及び栽培研修会	R4.7.14	JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和4年度JAいわて中央りんご部会都南支部研修会	R4.8.5	JAいわて中央りんご部会	盛岡市
	令和4年度農業農村指導士協会果樹部会研修	R4.8.23	岩手県農業農村指導士協議会果樹部会長	盛岡市
	農業大学校 講師「植物病理学」	R4.10.3	農業大学校	北上市 (農研センター)
	ウリ科野菜を取り巻く現状と今後の課題 「ホモブシス根腐病対策の現状と展望」	R4.10.26	農研機構野菜花き研究部門 (一社)日本種苗協会	三重県津市
	令和4年度第2回果菜類生産技術高度化セミナー 「スマート農業ソリューション”プラテクト”の施設内環境測定・AIによる病害発生予測について」	R4.11.11	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会 農業普及技術課	北上市 (農研センター)
	令和4年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	R4.11.16	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
	いわて花き生産者のつどい	R4.12.9	全農いわて	花巻市
	令和4年度花巻農協花巻地域野菜生産部会 「ねぎ次年度推進方策並びに病害研修会」	R4.12.13	花巻農業協同組合花巻地域野菜生産部会ねぎ専門部	花巻市
	令和4年度病害虫防除実績検討会(花き部会)	R4.12.14	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和4年度病害虫防除実績検討会(作物部会)	R4.12.19	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	令和4年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	R4.12.16	病害虫防除所 JA全農いわて	北上市 (農研センター)
	令和4年度盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R4.12.22	盛岡地方農業農村振興協議会 盛岡農業改良普及センター	滝沢市
	令和4年度病害虫防除実績検討会(野菜部会)	R4.12.23	病害虫防除所	北上市 (農研センター)
	筑紫女学園中学校冬期講習(オンライン)	R4.12.23	筑紫女学園中学校	北上市 (農研センター)
	令和5年度一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	R5.1.11	一関地方農林業振興協議会	一関市 (千厩分庁舎)
	令和4年度農薬管理使用アドバイザー養成研修	R5.1.18 R5.1.24	農業普及技術課	花巻市 盛岡市

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>病理昆虫研究室(続き)</b>				
	令和5年農薬適正販売使用研修会	R5.1.27	岩手県農薬小売卸商業協同組合	盛岡市
	唐丹地区営農組合総会	R5.2.26	大船渡農業改良普及センター	釜石市
	JA江刺りんご部会冬期講習会	R5.2.15	JA江刺りんご部会 岩手江刺農業協同組合	奥州市
	第126回東京農業大学総合研究所研究会農薬部会セミナー	R5.3.17	東京農業大学	東京都
	令和4年度カメムシ類難防除害虫の発生状況と防除対策に関する検討会	R5.3.30	農研機構 植物防疫部門	つくば市 (オンライン参加)
<b>病害虫防除部</b>				
<b>病害虫防除課</b>				
	農業大学校新規就農者研修	R4.5.27	農業大学校	金ケ崎町 (農業大学校)
	岩手県植物防疫関係者技術研修会	R4.11.16	(一社)岩手県植物防疫協会	花巻市
	農薬管理使用アドバイザー更新研修	R4.10.4 ～12.8	農業普及技術課	二戸市・釜石市・ 盛岡市・北上市・ 奥州市
	農薬管理使用アドバイザー養成研修	R5.1.18 R5.1.24	農業普及技術課	滝沢市・花巻市
	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	R4.12.22	盛岡地方農業農村振興協議会	滝沢市
	一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	R5.1.11	一関地方農林業振興協議会	一関市
<b>畜産研究所</b>				
<b>家畜育種研究室</b>				
	農業研究センター一般公開デ ミニセミナー	R4.9.3	農業研究センター	北上市 (農研センター)
	家畜人工授精講習会	R4.11.1	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R4.11.15	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R4.11.18	畜産課	金ケ崎町 (農業大学校)
	家畜商講習会	R4.11.18	流通課	盛岡市
	令和4年度いわて肉用牛生産性向上研修会	R4.12.13	ツガワ未来館アピオ	滝沢市
	令和4年度公設試験研究機関等による庁内職員 向け活動発表会	R5.2.9	科学・情報政策室	盛岡市

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>				
	二毛作・アルファルファ栽培技術向上研修会	R4.7.29	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	家畜人工授精講習会	R4.10.31	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R4.11.2	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜商講習会	R4.11.17	流通課	盛岡市
	獣医畜産業績発表会(特別発表)	R5.1.20	畜産課	盛岡市
	コントラクター意見交換会	R5.2.6	いわてコントラクター等利用推進協議会、畜産課	滝沢市
	次世代酪農家の集い②ワークショップ	R5.2.24	全農いわて	盛岡市
<b>外山畜産研究室</b>				
	家畜人工授精講習会	R4.11.18	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
	一関公共牧場放牧技術研修会	R5.3.14	いわて平泉農業協同組合 一関地方農林業振興協議会 畜産部会	一関市
<b>種山畜産研究室</b>				
	農業大学校講義	R4.6.6	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
	家畜人工授精講習会	R4.11.4 R4.11.7 R4.11.10 R4.11.11 R4.11.16	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校) 住田町 (種山畜産研究室)
	家畜人工授精及び家畜体内受精卵移植に関する講習会	R4.9.2	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
	牛の博物館企画展関連事業講演会 「種雄牛改良最前線」	R4.9.4	奥州市牛の博物館	奥州市
	JA新いわて南部和牛改良組合の研修会	R4.11.8	JA新いわて南部営農経済センター	雫石町
	気仙地域畜産若手農業者技術向上研修会	R4.11.21	大船渡市農業協同組合他	住田町及び大船渡市
	令和4年度いわて肉用牛生産性向上研修会	R4.12.13	ツガワ未来館アピオ	滝沢市
	花北地域畜産技術向上研修会講師	R4.12.22	花巻市農業振興対策本部他	花巻市
	遠野地方和牛改良組合青笹上郷班研修会	R5.2.21	遠野農林振興センター	遠野市

担当部所	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>県北農業研究所</b>				
<b>園芸研究室</b>				
	北いわてスマート農業サロン現地研修会(環境制御分科会)	R4.6.28	農業普及技術課(農業革新支援担当)	軽米町(県北農業研究所)、二戸市
	令和4年度いわてスマート農業推進シンポジウム	R4.8.26	農業普及技術課(農業革新支援担当)	滝沢市 (岩手産業文化センターアビオ)
	低コスト環境制御技術調査研究活動中間検討会	R4.9.28	農業普及技術課(農業革新支援担当)	北上市 (農業研究センター)
	令和4年度北いわてスマート農業プラットフォーム創造事業成果発表会	R5.1.20	農業普及技術課(農業革新支援担当)	軽米町(県北農業研究所)、オンライン会場(Teamsウェビナー)
	令和4年度施設園芸高度化セミナー	R5.1.31	農産園芸課	盛岡市 (サンセール盛岡)
<b>作物研究室</b>				
	二戸地方農林水産振興協議会農産園芸部会 令和4年度二戸地方雑穀生産部会研修会	R4.9.2	協議会農産園芸部会	軽米町(県北農業研究所)
	北いわてスマート農業サロンシンポジウム(自動操舵分科会)	R4.9.29	農業普及技術課(農業革新支援担当)	軽米町(県北農業研究所)、軽米町現地
	令和4年度北いわてスマート農業プラットフォーム創造事業成果発表会	R5.1.20	農業普及技術課(農業革新支援担当)	軽米町(県北農業研究所)、オンライン会場(Teamsウェビナー)
	二戸地方農林水産振興協議会農産園芸部会 令和4年度二戸地方雑穀研修会	R5.2.22	協議会農産園芸部会	軽米町(県北農業研究所)

### 3 視察者、見学者の受け入れ状況

区分	来所者数	公開デー来場者数	合計	備考
本部	1,718 人	692 人	2,410 人	令和4年4月～令和5年3月
南部園芸研究室	32 人	- 人	32 人	
畜産研究所	117 人	200 人	317 人	
種山畜産研究室	63 人	- 人	63 人	
県北農業研究所	200 人	- 人	200 人	
計	2,130 人	892 人	3,022 人	

### 4 春季一般公開及び一般公開デー

名称	開催期日	開催場所	参集人員
春季一般公開(ふれあい公園)	R4.4.20～24	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	73 名
一般公開デー(本部)	R4.9.3	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	692 名
参観デー(畜産研究所)	R4.8.25～27	ツガワ未来館「アピオ」	200 名

### 5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
R4.6.10	北上市(本部)	岩手県病害虫防除指導者研修会	36名	病害虫防除部
R4.10.21	北上市(さくらホール)	農薬適正使用研修会	167名	病害虫防除部

### 6 農業科学博物館、農業ふれあい公園の利用者

項目	主な内容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	3,746名	
		農業研究センター春季一般公開	R4.4.20～24 (73名)	
		農業研究センター一般公開デー	R4.9.3 (242名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に年1～2回展示紹介		-
		第88回「むかしの害虫とのたたかい」	R4.7.6～R4.11.30	
	イベント	夏休み体験学習会「まゆ細工 ふわ・もこ・ひつじをつくろう！」	R4.8.7	7名(3組)
	その他	学校教育支援活動(社会科実習、校外学習等の受入)	-	464名(11校)
	高齢者、障害者支援活動(障害福祉施設等)	-	23名(3団体)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	8,245名 (306件)	



## 7 研修生の受け入れ

### (1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

### (2) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

### (3) 視察・体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(定植)	15	県北農業研究所	R4.6.17
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(収穫)	15	県北農業研究所	R4.10.20

イ 高等学校、大学等の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手大学農学部	水稻の品種開発について	30	作物育種研究室 他	R4.7.13
農業大学校果樹専攻	果樹の栽培技術等に関する研究取組状況の視察	20	果樹研究室	R4.5.12
農業大学校新規就農者研修	りんごに関する研究取組状況の視察	15	果樹研究室 研究企画室	R4.6.24
農業大学校事例研修	施設園芸におけるスマート農業の先進的な取組について	52	野菜研究室	R4.4.22
農業大学校新規就農者研修	野菜に関する研究取組状況の視察	15	野菜研究室 研究企画室	R4.6.24
農業大学校新規就農者研修	りんどうに関する研究取組状況の視察	15	花き研究室 研究企画室	R4.6.24
岩手県立盛岡農業高等学校	りんどうの栽培・販売・取組状況について	10	花き研究室 研究企画室	R4.8.3
岩手県立盛岡農業高等学校	りんどうの新品種開発について	11	花き研究室 研究企画室	R5.3.24
岩手県立花巻北高等学校 1年生	総合学習 ～農薬の必要性、環境への影響等について～	3	病害虫防除部	R4.10.27
岩手大学農学部共同獣医学科6年	畜産研究所の概要及び施設について	20	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R4.6.8

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
県立農業大学校畜産学科1年	畜産研究所の概要及び施設について 酪農、肉用牛における飼養管理技術 について	16	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R4.6.17
東京農工大学獣医学科4年	畜産研究所の業務紹介(繁殖検診)	1	家畜育種研究室	R4.8.26
日本大学動物資源科学科3年	畜産研究所の業務紹介 日本短角種放牧牛の衛生検査作業体 験	9	家畜育種研究室 外山畜産研究室	R4.10.4
県立農業大学校酪農経営科1年	牛群検定、BCS、TMRについて	5	家畜飼養・飼料研究室	R4.10.7
県立農業大学校肉畜経営科1年	黒毛和種の飼養管理 日本短角種の飼養管理、放牧技術 試験研究成果	11	外山畜産研究室	R4.10.7
県立農業大学校畜産学科 2年	・乳、肉用牛の一般管理 ・肥育試験方法について ・肥育試験牛の調査と記録他 ・サイロ調製、飼料作物の調査	1	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R4.9.5～9
岩手大学動物科学科 2年	畜産研究所の概要及び施設について	27	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R4.10.11
岩手県立農業大学校 農産園芸研究科 野菜経営科 (1・2年、職員)	野菜に係る試験研究状況	30	県北農業研究所	R4.9.9

ウ その他の視察・研修等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
永沢土地改良区	大豆の連作障害対策について	10	水田利用研究室	R5.2.7
JAいわて花巻(しらゆり米生産部 会)	水稻の生育と除草対策について	15	水田利用研究室 生産システム研究室	R4.7.6
北海道空知振興局	ドローンによる鳥害防除について	7	生産システム研究室	R4.10.27
久慈市中核農家クラブ	スマート農業技術と水稻品種開発につ いて	15	生産システム研究室	R4.12.2
農事)浜通農産物供給センター (福島県)	水稻高温障害、スマート農業、カメムシ 対策について	7	生産システム研究室	R4.12.5
滝沢市農業委員会	水稻、土壌肥料の研究状況について	15	生産システム研究室 土壌肥料研究室	R4.12.8
佐賀県農業試験研究センター	スマート農業、アスパラガスについて	2	生産システム研究室	R4.9.12
農林水産部新採用職員研修	水稻育種について	25	作物育種研究室	R4.5.27
加美郡りんご協議会(宮城県)	岩手県農業研究センターにおける最 近のりんご栽培に関する研究成果につ いて	20	果樹研究室 土壌肥料研究室	R4.8.24
JAこまち青年部	越冬トマト栽培について	5	野菜研究室	R5.3.2
中山間大東町猿沢集落	試験研究の実施状況等について	11	野菜研究室	R4.11.15
農林水産省大臣官房デジタル戦略 グループ	環境制御ハウスについて	1	野菜研究室	R4.11.10
(術)大道古川農園	野菜栽培研究について	1	野菜研究室	R4.11.4

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
生産者(陸前高田市)	自動灌水装置の設定方法について	1	南部園芸研究室	R4.6.9
生産者(山形県)	夏秋いちごについて	1	南部園芸研究室	R4.8.8
生産者(盛岡市) 東日本機電開発(株)	いちご閉鎖型高設栽培システムについて	1	南部園芸研究室	R4.8.25
生産者(盛岡市) 東日本機電開発(株)	いちご閉鎖型高設栽培システム及び定植作業について	4	南部園芸研究室	R4.8.25
生産者(盛岡市) 東日本機電開発(株)	いちご閉鎖型高設栽培システム及びいちご品種について	4	南部園芸研究室	R5.1.30
生産者(盛岡市、山形県) 東日本機電開発(株)	いちご閉鎖型高設栽培システムについて	7	南部園芸研究室	R5.2.28
農林水産部新採用職員研修試験 研究機関見学	畜産研究所の概要及び施設について	22	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	R4.5.27
玉山和牛繁殖研究会	黒毛和種及び日本短角種の飼養管理方法、研究成果について	5	外山畜産研究室	R4.10.5
岩手県議会デジタル社会・DX推進調査特別委員会	県北農業研究所におけるスマート農業推進の取組について	14	県北農業研究所	R4.6.7
県北広域振興局長ほか	県北農業研究所におけるスマート農業推進の取組について	10	県北農業研究所	R4.6.7
岩手アグリフロンティアスクール受講生	環境制御技術の研究状況～ハウスの施設概要について	35	県北農業研究所	R4.7.28
佐賀県東松浦農業振興センター、 (株)森光商店	雑穀の移植栽培技術について 他	2	県北農業研究所 作物研究室	R5.3.8

## 8 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	ふるさと振興部科学・情報政策室
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 企画管理部長 生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農林水産企画室
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産基盤研究部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 水田利用研究室長 生産システム研究室長 野菜研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農業管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 生産環境研究部長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長) 次長兼園芸研究室長(県北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	生産基盤研究部長	団体指導課
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会	幹事	生産基盤研究部長	県産米戦略室
いわての大豆普及推進協議会	委員	生産基盤研究部長	流通課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	サブリーダー	農業経営研究室長	農業振興課
岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 病理昆虫研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 園芸技術研究部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	農村計画課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	生産基盤研究部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員	主任技能員 (生産基盤研究部、園芸技術研究部、生産環境研究部)	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員 委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長	農産園芸課
岩手県野菜生産振興計画策定に関する策定チーム	チーム員	農業経営研究室長 野菜研究室長	農産園芸課
岩手県花き振興計画策定に関する策定チーム	チーム員	農業経営研究室長 花き研究室長	農産園芸課
岩手県版GAP審査委員会	委員	農業経営研究室長	農業普及技術課
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業(リーディング経営体育成型)経営発展計画審査会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員 理事	所長 企画管理部長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	水田利用研究室長	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農業振興協議会 農産園芸部会	構成員	専門研究員 (南部園芸研究室)	大船渡農業改良普及センター
陸前高田市総合農政推進協議会	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員 委員	農業経営研究室長 南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	幹事	南部園芸研究室長	住田町
久慈地方農業農村活性化推進協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 次長兼園芸研究室長	久慈市
二戸地方農林水産振興協議会	委員 幹事	県北農業研究所長 作物研究室長(県北研)	二戸市
東北農業試験研究協議会	理事	所長	農研機構・東北農業研究センター
日本農業経営学会	理事	農業経営研究室長	日本農業経営学会
東北農業経済学会	理事、評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
農業情報学会	評議員	農業経営研究室長	九州大学大学院農学研究院
園芸学会東北支部	評議員	野菜研究室長	秋田県立大学
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	生産環境研究部長 畜産研究所長 生産システム研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 土壌肥料研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	園芸技術研究部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	園芸技術研究部長 花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	水田利用研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (大豆・ホップ・そば) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委員	技師 (病害虫防除所) 主査専門研究員 (生産システム研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主査 (病害虫防除所) 水田利用研究室長 主査 (病害虫防除所) 水田利用研究室長 主査 (病害虫防除所) 野菜研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	水田利用研究室長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
(一社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	生産基盤研究部長 園芸技術研究部長 生産環境研究部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 水田利用研究室長 果樹研究室長 野菜研究室長 花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(一社)岩手県植物防疫協会
岩手県病害虫防除連絡協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合
胆江広域病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合胆江地域センター
岩手中部病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長) 病害虫防除所主査 (病害虫防除課主査)	岩手県農業共済組合中部地域センター
岩手北部病害虫防除協議会	役員 幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長) 病害虫防除所技師 (病害虫防除課技師)	岩手県農業共済組合北部地域センター
遠野地方病害虫防除推進協議会	幹事	病害虫防除次長 (病害虫防除課長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター
気仙地方水稲病害虫防除協議会	理事	病害虫防除所長 (病害虫防除部長)	岩手県農業共済組合東南部地域センター (気仙支所)
種子価格設定委員会	委員	水田利用研究室長 生産システム研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	水田利用研究室長 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
全日本ホルスタイン共進会岩手県出品対策委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
いわてコントラクター等利用推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	いわてコントラクター等利用推進協議会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(一社)岩手県畜産協会
江刺和牛生産改良組合	理事	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長	江刺和牛生産改良組合
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所



## VI 職員研修



## VI 職員研修

### 1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 高村 聡美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	除染草地におけるカリ施肥と牧草中の放射性セシウムの関係に関する研究	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	R3.10.1～

### 2 海外派遣・研修

(該当なし)

### 3 国内研修への派遣

#### (1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 工藤 大和	畜産研究所 種山畜産研究室	家畜生産性向上のための育種改良技術に関する研究	農研機構畜産研究部門乳牛精密管理研究領域及び食肉用家畜研究領域	R4.5.9～8.5

#### (2) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
園芸技術研究部長 菊池 真奈美	園芸技術研究部	研究リーダーとして必要な知見の習得	Web会議	R4.6.23～24

#### (3) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

(該当なし)

#### (4) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 藤澤 真澄	企画管理部 農業経営研究室	中堅研究者研修	Web会議	R5.1.19～20
主査専門研究員 及川 奈実絵	企画管理部 農業経営研究室	スマート農業技術の経営評価手法に関する研究会	Web会議	R4.10.31～ 11.1
専門研究員 高橋 祐也	生産基盤研究部 水田利用研究室	農林水産関係若手研究者研修	リモート	R4.9.28～29
主任専門研究員 新井 勇児	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修会(肉用牛生産技術指導者養成(1))	中央畜産技術研修所	R4.6.27～7.1
専門研究員 佐々木 貴法	県北農業研究所 作物研究室	農林水産関係若手研究者研修	リモート	R4.9.28～29

## (5) その他

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
東北果樹研究会	盛岡市	R4.9.28	園芸技術研究部 果樹研究室	4
全国果樹産地の担い手・労働力に関するシンポジウム	オンライン開催	R5.2.3	園芸技術研究部 果樹研究室	1
論理的思考力向上講座(e-ラーニング)	オンライン開催	R4.12	園芸技術研究部 果樹研究室	1
園芸学会秋季大会	山形大学・オンライン開催	R4.9.7～13	園芸技術研究部 野菜研究室	5
園芸学会春季大会	龍谷大学・オンライン開催	R5.3.15～22	園芸技術研究部 野菜研究室	6
第65回東北農業試験研究発表会	青森市	R4.8.2	園芸技術研究部 野菜研究室	1
北日本病害虫研究発表会	札幌市	R5.2.21～22	園芸技術研究部 野菜研究室	3
施設園芸総合セミナー	東京都	R5.2.9～10	園芸技術研究部 野菜研究室	1
第26回農林害虫防除研究会東京大会	オンライン開催	R4.8.26	生産環境研究部 病理昆虫研究室	3
EBC研究会ワークショップ2022	オンライン開催	R4.9.12	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
日本植物防疫協会シンポジウム「新しい時代に向けた病害虫防除体系を考える」	東京都 (オンライン参加)	R4.9.20	生産環境研究部 病理昆虫研究室	3
令和4年度日本植物病理学会東北部会	福島市	R4.9.27～28	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
第3回農薬の新施用技術検討協議会	オンライン開催	R4.9.28	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
第39回農業環境科学研究会	岐阜市	R4.9.29～30	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
農林水産省第1回オンラインセミナー「グリーンな栽培体系を学ぶ」	オンライン開催	R4.10.26	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
農研機構北海道農業研究センター技術研修	札幌市	R4.11.14～15	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
令和4年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	花巻市	R4.11.16	生産環境研究部 病理昆虫研究室	6
土づくり推進フォーラムシンポジウム	オンライン開催	R4.12.21	生産環境研究部 病理昆虫研究室	3
第2回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム	静岡市 (オンライン参加)	R4.12.22	生産環境研究部 病理昆虫研究室	3
日本植物防疫協会シンポジウム「農業生産現場が直面する病害虫防除の課題を考える」	東京都 (オンライン参加)	R5.1.17	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
第76回北日本病害虫研究発表会	札幌市	R5.2.21～22	生産環境研究部 病理昆虫研究室	5
第4回日本生物防除協議会シンポジウム	オンライン開催	R5.3.3	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
第67回日本応用動物昆虫学会大会	大阪府枚方市	R5.3.13～15	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2
第70回日本生態学会大会	オンライン開催	R5.3.17～21	生産環境研究部 病理昆虫研究室	1
令和5年度日本植物病理学会大会	オンライン開催	R5.3.27～29	生産環境研究部 病理昆虫研究室	2

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
シンポジウム「新しい時代に向けた病害虫防除体系を考える」 (日本植物防疫協会)	オンライン開催	R4.9.20	病害虫防除部	1
農薬適正使用研修会(病害虫防除部、岩手県植物防疫協会)	北上市さくらホール	R4.10.12	病害虫防除部	7
岩手県植物防疫関係者技術研修会(岩手県植物防疫協会)	花巻市志戸平温泉	R4.11.16	病害虫防除部	8
第16回植物病害診断教育プログラム(日本植物病理学会)	秋田県立大学	R4.8.22～26	病害虫防除部	1
第26回農林害虫防除研究会・東京大会	オンライン開催	R4.8.26	病害虫防除部	4
シンポジウム「農業生産現場が直面する病害虫防除の課題を考える」 (日本植物防疫協会)	オンライン開催	R5.1.17	病害虫防除部	6
東北農業試験研究推進会議・病害虫研究会(農研機構)	盛岡市アイーナ会議室	R5.1.19～20	病害虫防除部	6
東北地区病害虫防除所職員技術研修会(東北農政局)	仙台市 合庁	R5.1.25	病害虫防除部	1
果樹病害・虫害研究会(農研機構)	オンライン開催	R5.2.2～3	病害虫防除部	2
第76回北日本病害虫研究発表会	札幌市	R5.2.20～21	病害虫防除部	4
農作業安全に関する指導者向け研修	オンライン開催	R5.1.25	病害虫防除部	1
ツマジロクサヨトウ研究成果発表会(農研機構)	オンライン開催	R5.3.22	病害虫防除部	2
第32回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム(殺菌剤耐性菌研究会)	オンライン開催	R5.3.30	病害虫防除部	5
カメムシ類等難防除害虫対策検討会(農研機構)	オンライン開催	R5.3.30	病害虫防除部	2
国際シンポジウム開催「畜産におけるアニマルウェルフェアへの取り組みについて」	オンライン開催	R5.1.16～2.3	畜産研究所	10
岩手県フリーストール・フリーバーン酪農研究会県内研修会	葛巻町	R4.7.13	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
牛舎設計支援技術者育成研修会	盛岡市玉山	R4.8.29	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
第12回北東北しゃくなげ会セミナー	盛岡市、オンライン	R4.10.27	畜産研究所	8
草地難防除雑草研修会	オンライン	R4.10.31	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会、分科会	盛岡市	R5.1.25～26	畜産研究所	19
飼料設計研修会	盛岡市	R5.2.2～3	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	1
令和4年度鳥インフルエンザ等家畜防疫作業支援班長研修会	中央家畜保健衛生所	R4.11.21	畜産研究所	2
中堅職員研修	エスポワールいわて	R4.6.7～8	畜産研究所 種山畜産研究室	1
文書管理主任研修	オンライン	R4.7.22	畜産研究所 種山畜産研究室	1
会計事務担当職員及び若手職員等研修	奥州市	R4.7.28	畜産研究所 種山畜産研究室	1
ファシリテーションスキル養成講座	エスポワールいわて	R4.9.1	畜産研究所 種山畜産研究室	1
ゲノミック評価手法普及・啓発セミナー	オンライン	R5.3.3	畜産研究所 種山畜産研究室	3

研修名	開催場所	開催期間	所属部所・研究室	参加人数
受精卵移植関連新技術全国会議	オンライン	R5.3.16	畜産研究所 種山畜産研究室	1
アーク溶接特別教育講習	岩手労働基準協会	R4.12.15～16	畜産研究所 総務課	1
家畜人工授精師講習会	岩手県立農業大学校	R4.10.31～11.25	畜産研究所 総務課	1
植物工場人材育成プログラム	オンライン開催	①R4.7.6 ②R4.9.15 ③R4.12.7 ④R4.12.20	県北農業研究所 園芸研究室	2
環境制御技術勉強会(誠和環境制御セミナー)	オンライン開催	R5.7.12	県北農業研究所 園芸研究室	3
園芸学会秋季大会	オンライン開催	R5.9.8～11	県北農業研究所 園芸研究室	2
日本バイオスティミュラント協議会第5回講演会	オンライン開催	R5.9.8～9	県北農業研究所 園芸研究室	1
日本植物病理学会 EBC研究会ワークショップ2022	オンライン開催	R4.9.12	県北農業研究所 園芸研究室	4
日植防シンポジウム「新しい時代に向けた病害虫防除体系を考える」	オンライン開催	R4.9.20	県北農業研究所	3
スマートグリーンハウス指導者育成研修	オンライン開催	R4.10.21	県北農業研究所 園芸研究室	2
ファシリテーションスキル養成研修	盛岡市	R4.11.8	県北農業研究所 園芸研究室	1
先進事例調査 (きゅうりの多収生産を可能とする環境制御技術について)	佐賀県	R5.2.8	県北農業研究所 園芸研究室	1
令和4年度全国農業システム化研究会最終成績検討会	オンライン開催	R5.2.21～22	県北農業研究所	4
第76回北日本病害虫研究発表会	札幌市	R4.2.17～18	県北農業研究所 園芸研究室	1
第67回日本応用動物昆虫学会大会	摂南大学	R4.3.20～22	県北農業研究所 園芸研究室	1
園芸学会春季大会	オンライン開催	R5.2.16～20	県北農業研究所 園芸研究室	2
日本植物病理学会大会	オンライン開催	R5.2.27～29	県北農業研究所 園芸研究室	2
雑穀協会セミナー	オンライン開催	R4.7.20	県北農業研究所 作物研究室	2
雑穀協会セミナー	オンライン開催	R4.12.6	県北農業研究所 作物研究室	1
雑穀協会セミナー	オンライン開催	R5.1.27	県北農業研究所 作物研究室	1
日本育種学会 春季大会	静岡大学	R5.3.17～18	県北農業研究所 作物研究室	1

#### 4 所内研修等

研修名	開催場所	開催期間	所属部署・研究室	参加人数
交通安全研修	自席	R4.7.19 ～R4.9.30	企画管理部 総務課	149
ハラスメント防止研修	本部1階中会議室	R4.12.14 R4.12.19 R4.12.20	企画管理部 総務課	73
今わかるみどりの食料システム戦略研修	本部2階中会議室	R4.7.12	企画管理部 研究企画室	29
統計処理研修 ～大学では教えてくれない圃場試験データの統計解析～	本部2階中会議室及びWeb	R5.1.18 R5.1.25	企画管理部 研究企画室	9
令和4年度 岩手県農業研究センター全体研修会	本部2階大会議室	R5.3.1	企画管理部 研究企画室	68
令和4年度 鳥インフルエンザ等防疫作業支援に関わる所内研修	畜産研究所	R4.11.25	畜産研究所 家畜育種研究室	25
畜舎消毒に関わる所内研修	畜産研究所	R4.9.21	畜産研究所 家畜育種研究室	20

## 5 所内セミナー等

研修名	開催場所	開催期間	参加人数
企画管理部 所内ゼミ「Wild Cup 2022 予演会:農業DXの加速化に向けて」	本部2F中会議室	R4.8.8	10
生産基盤研究部 所内ゼミ「東北農業研究事前発表」	本部1F中会議室	R4.7.13	20
生産基盤研究部 所内ゼミ「WildCup 事前発表:いわての農業・農村お宝鑑定団」	本部1F中会議室	R4.8.4	20
生産基盤研究部 所内ゼミ「農業分野で活用するドローンの基礎知識」	本部2F中会議室	R4.10.21	15
生産基盤研究部 所内ゼミ「農業分野で活用するGPS(GNSS)の基礎知識」	本部2F中会議室	R4.12.7	10
園芸技術研究部 部内ゼミ「相互圃場巡回1」	本部圃場	R4.7.15	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「相互圃場巡回2」	本部圃場	R4.9.15	15
園芸技術研究部 部内ゼミ「農家体験研修報告会」	本部1F小会議室	R4.12.15	15
生産環境研究部 所内ゼミ「農業研究センターの成り立ちと土壌」	本部2F中会議室	R4.12.27	40
病虫害防除部 部内ゼミ「栄養バランス・弁当箱でバランスチェック」	本部2F小会議室	R4.5.18	9
病虫害防除部 部内ゼミ「アカスジカスミカメの第3世代は、斑点米を発生させる重要な要因となるのか？」	本部2F小会議室	R4.6.14	9
病虫害防除部 部内ゼミ「ダイズ紫斑病に対するQoI剤感受性低下について」	本部2F小会議室	R4.8.18	9
病虫害防除部 部内ゼミ「きゅうり病害における8月以降の情報発信の重要性について」	本部2F小会議室	R4.9.15	9
病虫害防除部 部内ゼミ ①防除指針について ②気象データを用いたリンゴ褐斑病の子のう胞子飛散ピークの推定	本部2F小会議室	R4.9.15	23
病虫害防除部 部内ゼミ「情報セキュリティのための注意点(不審メール対策等)」	本部2F小会議室	R4.10.18	9
病虫害防除部 部内ゼミ「キンモンホソガの今後の解析について」	本部2F特別会議室	R4.11.25	7
病虫害防除部 部内ゼミ「水稻主要病害の発生予察に係る意見交換会」	本部2F特別会議室	R4.11.25	7
病虫害防除部 部内ゼミ「リンゴ褐斑病の発生生態と防除方法」	病虫害防除部診断室	R4.12.22	9
病虫害防除部 部内ゼミ「発生予察情報・警報の発行について(S53以降8回の発行事例に学ぶ)」	病虫害防除部診断室	R5.1.17	8
病虫害防除部 部内ゼミ「植物図鑑の大改訂・植物の分類が大きく変わる!？」	本部2F小会議室	R5.2.14	8
畜産研究所 所内ゼミ「令和4年度「予備調査予算10万円獲得!農業研究センター所内コンペ」予演	畜産研究所小会議室	R4.4.19	11
畜産研究所 所内ゼミ「東北農業研究発表会予演会」	畜産研究所小会議室	R4.7.7	12
畜産研究所 所内ゼミ「Wild Cup 2022 予演会」	畜産研究所小会議室	R4.7.20	11
畜産研究所 所内ゼミ「第71回東北畜産学会宮城大会予演会」	畜産研究所セミナー室	R4.8.19	15
畜産研究所 所内ゼミ「令和4年度東北農業試験研究推進会議大家畜中小家畜分科会における話題提供に係る予演会」	畜産研究所セミナー室	R5.1.6	13



研修名	開催場所	開催期間	参加人数
畜産研究所 依頼研究員伝達講習	畜産研究所 大会議室	R5.3.3	26
畜産研究所 所内ゼミ「大宮次長講話」	畜産研究所 大会議室	R5.3.6	30
第1回 県北農業研究所内ゼミナール「試験圃場巡回説明会」	県北場内ほ場	R4.7.29	11
第2回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R4.8.24	11
第3回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R4.9.28	11
第4回 県北農業研究所内ゼミナール「研究内容等の紹介」	県北3F中会議室	R4.10.26	12



## **VII 試験研究以外の業務概要**



## Ⅶ 試験研究以外の業務概要

### 1 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原原種の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	生産量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	あきたこまち	5	140	農業研究センター
	どんびしゃり	2	26	〃
	かけはし	2	40	〃
水稻(酒米)	結の香	1	23	〃
水稻(もち)	めんこもち	1	9	〃
小麦	ゆさちから	10	358	〃
大豆	リュウホウ	15	153	〃
	ユキホマレ	0.6	5	〃

### 2 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく原種の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	生産量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻(うるち)	あきたこまち	85	2,440	農業研究センター
	ひとめぼれ	350	11,340	〃
	金色の風	28	960	〃
水稻(飼料用米)	たわわっこ	32	1,000	〃
水稻(酒米)	ぎんおとめ	4	160	〃
	結の香	4	160	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
小麦	ナンブコムギ	195	4,199	農業研究センター
	ゆさちから	140	3,144	〃
大豆	リュウホウ	167	2,382	農業研究センター 北上市二子
	ユキホマレ	6.7	57	〃
あわ	ゆいこがね	0.1	3.6	県北農業研究所

### 3 岩手県主要農作物等原種・原原種の生産等に関する要領に基づく種子・種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち原種 (令和5年採種圃播種用)	かけはし	80	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	いわてっこ	940	〃
	あきたこまち	940	〃
	どんびしゃり	220	〃
	銀河のしずく	1,540	〃
	ひとめぼれ	9,460	〃
	金色の風	180	〃
	ササニシキ	160	〃
酒造好適米原種 (令和5年採種圃播種用)	ぎんおとめ	40	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	60	〃
	結の香	20	〃
水稻非主食用米原種 (令和5年採種圃播種用)	たわわっこ	920	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	つぶゆたか	580	〃
水稻もち原種 (令和5年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,120	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	30	〃
小麦原種 (令和4年採種圃播種用)	ナンブコムギ	4,020	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	5,040	〃
	銀河のちから	520	〃
大豆原種 (令和4年採種圃播種用)	リュウホウ	2,105	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	シュウリュウ	180	〃
	ナンブシロメ	140	〃
	ユキホマレ	32	〃
あわ原種	大槌10	0.1	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆいこがね	0.2	〃
きび原種	ひめこがね	1.0	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	種子系親系統ENg等、10系統	2,000(本)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	栄養系品種「Bzc-1 mut1」	100(株)	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

#### 4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室: 令和5年3月31日現在)

##### (1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊百合福	130	90	80	60	90	147	142	38	40	45	112	111	1,085
花金幸	124	62	160	115	92	105	57	50	90	28	8	6	897
百合花智	117	135	95	60	86	111	82	43	74	35	36	65	939
星乃栄	115	35	55	10	0	15	30	10	10	5	0	26	311
結乃宝	35	50	10	15	3	10	7	113	10	0	0	10	263
百合雲	16	30	33	91	10	0	5	5	10	0	5	27	232
菊勝久	58	20	13	11	10	10	5	10	31	10	0	0	178
安久勝晃	30	5	5	5	5	4	5	15	5	5	43	20	147
美津貴	0	0	0	20	0	0	0	0	0	5	40	10	75
菊福秀	5	2	10	0	5	0	5	10	8	10	3	5	63
菊安舞鶴	0	20	0	0	10	0	0	0	0	20	0	50	100
北昭国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	30
緑乃大地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20
山根雲	0	5	0	0	0	5	0	5	5	0	0	0	20
暁雲	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
晴奈	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
その他	5	5	0	5	15	5	0	9	0	0	7	12	63
計	645	479	461	392	326	412	338	308	283	213	254	342	4,453

##### (2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
藤重波	0	0	0	0	0	36	0	0	36	0	0	0	72
松福	0	5	30	0	0	0	0	0	3	20	12	0	70
兼代29	0	30	0	15	0	0	0	0	0	20	0	0	65
立美	0	0	22	0	0	0	0	6	0	0	12	0	40
秋吉	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	20	0	30
良来	0	0	20	5	0	0	0	0	3	0	0	0	28
その他	0	0	64	24	0	67	0	4	0	0	28	0	187
計	0	35	136	44	0	113	0	10	42	40	72	0	492

## 5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:令和5年3月31日現在)

### (1) 豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	種雌(頭)	種雄(頭)	子豚(頭)	
L	-	-	-	県内養豚農場
B	-	1	50	県内養豚農場
LW	-	-	-	県内養豚農場
その他	-	-	-	県内養豚農場
計	0	1	50	

### (2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	1,602	504	2,106	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

## 6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:令和4年5～10月)

### (1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	47	1	32	80

### (2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	5	1	4	10



## VIII 予算及び財産



## Ⅷ 予算及び財産

### 1 岩手県農業研究センター予算(令和4年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
<b>【農業費】</b>		
人件費(本部)		730,621
人件費(県北)		107,918
庁舎管理費(本部)		110,168
庁舎管理費(本部:施設整備費)		1,287
庁舎管理費(本部:価格高騰対応)		13,920
庁舎管理費(県北)		20,186
ほ場管理費(本部)		46,554
ほ場管理費(本部:価格高騰対応)		146
ほ場管理費(県北)		1,577
ふれあい公園管理運営費		7,854
ふれあい公園管理運営費(価格高騰対応)		903
試験研究費(国庫、委託試験等)		112,899
(1)植物防疫研究費	2,023	
(2)土壌対策研究費	164	
(3)外部資金等農業試験研究費	110,712	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		11,886
主要農作物採種管理費		9,519
令達事業(本部)		22,927
令達事業(県北)		18,851
合 計		1,217,216
<b>【畜産業費】</b>		
人件費(畜産)		426,649
庁舎管理費		71,195
〃(原油高騰分)		9,733
飼育管理費		94,611
〃(原油高騰分)		22,170
管理運営費(種山畜産研究室分)		101,828
試験研究費(国庫、委託試験等)		5,137
農業関係試験研究委託事業	5,137	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		12,405
令達事業		31,472
合 計		775,200
全 体 計		1,992,416

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (R5.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)						建物(m <sup>2</sup> )			
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	31	17		78	16	41	135	80	30,325
北 上	26	22	17		65		36	101	33	19,846
<b>【主な施設面積(内数)】</b>										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整										860
調査棟										716
園芸作物調査棟										608
生産環境調査棟										716
ふれあい公園						16	2	18	8	2,181
南部園芸研究室							1	1	9	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他(胆沢、金ヶ崎、滝沢)		8			8		0	8	5	1,752
畜産研究所		99		1,595	1,694	297	36	2,027	150	36,847
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				111	111	108	0.6	220	15	5,628
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	141	16	1,595	1,785	313	85	2,182	247	75,255

(2) 飼養家畜頭数 (R5.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		26	26	ホルスタイン種 61
	育成牛(子牛含む)		21	21	
肉用牛	(滝沢)	95 (雄35, 去勢60)	43	138	黒毛和種 55、日本短角種 75 (育成牛・子牛を含む)
	(外山)	8 (子牛8)	88 (子牛13)	96	黒毛和種 64、日本短角種 51 (育成牛・子牛を含む)
	(種山)	63 (雄36, 去勢27)	33	96	黒毛和種 96 (育成牛を含む)
	牛 計	166	211	377	
豚	種豚	14	25	39	【種豚の内訳】 パークシャー種 146、デュロック種 1、雑種 36
	その他	-	-	61	
	計	14	25	100	
鶏	種鶏	-	-	1,680	岩手地鶏 279、岩手大型ロード 512、基礎鶏 337、ホワイトロックロード 585、ホワイトロック 33、新ロード 525

## IX 沿革



## 区 沿 革

明治31年	種馬厩を盛岡市に設置。
明治34年	農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。 種馬厩を種畜場と改称。
明治35年	種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
明治36年	農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
大正2年	原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢)に設置。
大正8年	農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺)に設置。
大正11年	原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
大正12年	農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。 外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山)に移転(滝沢は支場となる)。
昭和2年	種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
昭和5年	農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。 蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
昭和10年	農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
昭和12年	種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。 蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
昭和13年	蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
昭和15年	農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
昭和21年	農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
昭和22年	農事試験場遠野試験地が国営に移管。
昭和23年	種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
昭和25年	農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。 農業試験場畜産部を種畜場と併設。 農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。 農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
昭和26年	農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。 農業試験場に遠野試験地が国から移管。 農業試験場に農業経営研究部門設置。 工芸作物原種農場を雫石町に設置。
昭和28年	蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢)龍ヶ馬場に移転。
昭和30年	農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産)。 蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
昭和32年	蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
昭和36年	蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
昭和37年	農業試験場の園芸部、南部試験地及びびぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びびぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。 農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。 種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。 農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。 工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
昭和38年	農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
昭和39年	畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
昭和41年	農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
昭和44年	園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
昭和46年	農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壤改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。 農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。 農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。 園芸試験場に環境部を設置。 園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。 畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
昭和47年	園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
昭和48年	蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
昭和51年	農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
昭和53年	蚕業試験場六原試験地を廃止。 蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
昭和56年	園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。

昭和57年	蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。
平成3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災津波で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。
平成31年	センター本部のプロジェクト推進室及び技術部を生産基盤研究部と園芸技術研究部に再編、5部体制に整備 環境部を生産環境研究部と改称

< 所 在 >

<b>岩手県農業研究センター</b>		
<b>本 部</b>	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ <a href="https://www.pref.iwate.jp/agri/nouken">https://www.pref.iwate.jp/agri/nouken</a> E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
<b>畜産研究所</b>	〒020-0605	岩手県滝沢市砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
<b>県北農業研究所</b>	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp



**令和 4 年度 岩手県農業研究センター年報**

令和 5 年 10 月発行

**岩手県農業研究センター**

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

